

# 武蔵国分寺跡発掘調査概報

34

—東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査—

2009年3月

国分寺市遺跡調査会  
国分寺市教育委員会





1. 北側妻礎石据え方列（北東から）

第 117 次調査区



2. 北側妻より3列目から5列目礎石据え方（南から）

第 414 次調査区



2. 北側妻より6列目から9列目礎石据え方(東から)

第19次調査区



3. 礎石据え方5-3土層断面(東から)

第19次調査区





1. SX57 瓦列（北から）  
伽藍地東辺区画溝に平行して検出

第303次調査区



1. SX58 瓦列（東から）  
伽藍地東辺区画溝に崩れ込んだ状態で検出

第303次調査区



尼寺伽藍地南辺区画溝と土橋状遺構

第 346 次調査区



1. 東山道武蔵路西側溝土層断面(北から)

第217次調査区



1. 東山道武蔵路東側溝土層断面(南から)

第427次調査区



1. 東山道武蔵路東側溝とSD12溝の交点部分平面プラン(北から)  
南北が東山道武蔵路東側溝・東西がSD12溝



2. 同 土層断面(東から)



1. SK840 土坑出土須惠器 (S=1/2) 第 213 次調査区



2. 墨書土器 (S=1/1) 第 303 次調査区



古寺院地東辺区画溝 (SD72) 出土鐘瓦 (S-1/2) 第 281 次調査区



1. 「多上」 第 117 次調査区



2. 「多下」 第 303 次調査区



3. 「刀良」 第 303 次調査区



4. 石製腰帯具(丸柄) 第 303 次調査区





## 序

武蔵国分寺跡の発掘調査が国分寺市教育委員会の主導によって恒常的かつ組織的に実施されるようになったのは、国分寺市の肝煎りによって国分寺市遺跡調査会が発足した昭和49年度以降のことである。それ以前の調査は、日本考古学協会（仏教遺跡調査特別委員会）、武蔵国分寺跡緊急発掘調査団によって実施され、寺域の確認、国分僧・尼寺の主要堂宇跡の部分的発掘による現状の確認が試みられてきた。

国分寺市遺跡調査会の発足と機を一にして国分寺市に埋蔵文化財の担当者が採用された結果、武蔵国分二寺跡とその関連遺跡の発掘が保存範囲の確定・伽藍構成堂宇の規模の把握を目標として進められ、寺域と伽藍地の事態解明の手掛かりが得られるようになってきた。特に、平成15年4月には、国分寺市立歴史公園武蔵国分尼寺跡（国史跡）が開園し、引き続き武蔵国分寺跡の保存整備に伴う発掘調査が継続的に実施されている。

この度、昭和51年度から平成14年度の間に実施された僧・尼寺の寺域の確認・伽藍構成堂宇跡の実情認識および東山道武蔵路跡の発掘結果についての概報を公にすることになった。

かかる一連の発掘は、武蔵国分二寺の保存と活用に関する結果を得ることを目的として実施された国庫補助事業であり、現在、進められている武蔵国分僧寺跡の整備、尼寺跡の範囲確認、さらに東山道武蔵路の実態の把握を目的として行われたものである。

本書の刊行にあたり、ご高配とご指導をいただいた文化庁・東京都教育庁の関係各位、そしてご協力をいただいた地権者各位に対して感謝の意を表すとともに、今後の武蔵国分二寺跡の整備事業の資料として有効に活用されることを願う次第である。

平成21年3月

国分寺市遺跡調査会

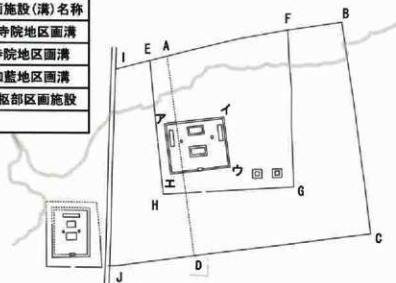
会長 坂詰 秀一



## 例 言

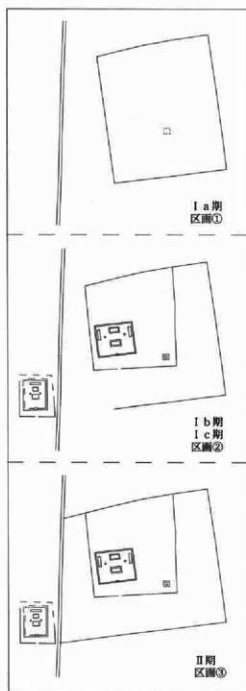
1. 本書は東京都国分寺市西元町・東元町に所在する武蔵国分寺跡において、昭和49年以来実施されている発掘調査の内、国庫補助事業として昭和51年～平成14年度に行った寺域確認調査および個人住宅建設等に伴う事前調査、開発工事に先立つ確認調査等の成果をまとめたものである。
2. 本書の作成作業は平成20年4月1日から国分寺市遺跡調査会で行い、平成21年3月31日の刊行とした。
3. 本書の執筆・編集は、各調査区の担当調査員の所見を基に小野本教が行い、上敷領久・中道誠がこれを助けた。
4. 本書の挿図・表等の作成、全体の編集は小野本が行った。本書の作成にはマイクロソフト社「ワード」「エクセル」、アドビー社「イラストレーター」「フォトショップ」「インデザイン」の各ソフトを用いた。
5. 遺物観察表の作成は立川明子が行った。
6. 図版作成作業は小野本の指示の下、主に桂弘美・佐藤令・佐藤緋佐子・相馬しのぶが行った。
7. 本遺跡の出土遺物、調査記録、データは国分寺市教育委員会が保管している。
8. 武蔵国分寺の規模・構造にかかわる名称は、以下のように統一している。
9. 武蔵国分寺の盛衰については、昭和40年代からの調査事例の累積によって、次のような変

区画範囲	名称	区画施設(溝)名称
ABCD	古寺院地	古寺院地区画溝
IBCJ	寺院地	寺院地区画溝
EFGH	伽藍地	伽藍地区画溝
アイウエ	中樞部	中樞部区画施設
周辺集落分布域	寺地	



第1図 武蔵国分寺の構造と名称

遷を辿ることが判明しており、本書においても以下の時期区分を使用する。



【第Ⅰ期】8世紀中葉の創建期を中心とする時期。七重塔を中心とする区画①を取るⅠa期と、区画①の西辺を埋め戻して金堂・講堂を中心とする区画②に変更し、尼寺の造営も開始されるⅠb期、二寺の造営が完了するⅠc期に細分する。

【第Ⅱ期】僧寺寺院地を西へ拡張して東山道武蔵路と接続する区画③を取る時期。承和12年(845)の七重塔再建に伴う寺院の整備・拡充期と捉えられ、おおむね9世紀代に相当する。

【第Ⅲ期】区画変更は行われず、寺院地内に堅穴住居跡が増加する衰退期。10・11世紀代に相当する。

第2図 武蔵園分寺変遷図

## 凡 例

### 共通

1. 遺構は遺跡をとおしてほぼ発見順に連続番号を付し下記の遺構記号を冠して表示する。縄文時代の遺構については末尾に「J」を付けた。また、本文中においては「SI131 住居」のように記述した。

SB 掘立柱建物・礎石建物 SI 住居 SD 溝 SK 土坑 SA 掘立柱塀  
SX 特殊遺構（硬質面・瓦列・道路状遺構等） P 小穴

2. 遺物は各調査において種別毎に連続番号を付し、下記の遺物記号を冠して表示する。

土器類	瓦・埴類	石製品類	
PH 土師器	KA 釜瓦	KG 鬼瓦	GN 石帯
PK 須恵器	KB 宇瓦	KH 埴	
PL 土師質土器	KC 男瓦		
PN 灰釉陶器	KD 女瓦		
PP 緑釉陶器	KE 熨斗瓦		

3. 遺物の記述については一覧表とした。

- (1) 表は遺物毎にまとめ、原則として調査次数順に列記してある。
- (2) 出土遺物一覧表の表記方法はvi項を参照のこと。
- (3) 遺物の分類については「武蔵国分寺跡発掘調査概報XIV」に拠った。
- (4) 今回報告する調査の出土遺物の総数は天箱にして282箱にのぼるため、紙幅の都合上、土器類については遺構出土で年代判定の材料となるもの、瓦についてはそれに加えて文字瓦等の掲載にとどめざるを得なかった。掲載方法についても同様の理由から、文字瓦は基本的に拓本のみを提示し、その他の属性は一覧表とした。

### 図面・図版

#### 1. 遺構

- (1) 遺構配置図表示（グリッド）の数字は発掘基準線中心点（僧寺金堂・講堂間の中心点、本書中では僧寺中心点と記述する）からの距離を表す。発掘基準中心点と僧寺金堂中心点の位置関係は、前者の南北基準線上中心点南26.276mに後者がある。また、僧寺中軸線の

方位は発掘南北基準線と一致し、真北から $7^{\circ} 7' 01''$ 、磁北から $0^{\circ} 37' 01''$ それぞれ西偏する。

- (2) 断面図表示の数字は水系レベルで海拔高を示す。
- (3) 遺構のスクリーントーンの指示は次のとおりである。

III b 層 III c 層 IV・V 層

柱穴跡 瓦・瓦葺き 硬質面 攪乱

- (4) 図面の縮尺は次のとおりに統一した。

遺構配置図 1/150 遺構個別図 1/60

- (5) 遺構配置図・遺構個別図（平面図）は特記のないものは図上が僧寺中軸線の北である。
- (6) 調査区外へ続く遺構（礎石建物・掘立柱塼等）は、調査区内の南西端を基準に柱穴番号等を与え、今後調査区外で当該遺構の続きを検出した時点で柱穴番号等を変更するものとする。
- (7) 土層注記については一部に表記の不統一や欠失があるが、調査時の表現のまま掲載した。

## 2. 遺物

- (1) 遺物のスクリーントーンの指示は以下のとおりである。

灰釉陶器（施釉部分） 灰釉陶器（断面）

緑釉陶器（断面） 墨書 朱墨書

- (2) 遺物図面中の数字は、図面番号・遺物番号・遺構名の順とした。
- (3) 遺物図版中の数字は、図版番号・遺物番号の順とした。
- (4) 遺物の縮尺は、特記のないものは次のとおりである。

土器類 1/3 墨書土器 1/1 瓦・埴類（全体） 1/4 石製品 1/1

瓦・埴類（押印・押型・へら書き） 図面 1/4 図版 1/1

## 出土遺物一覧表の表記方法

### (1) 各遺物共通

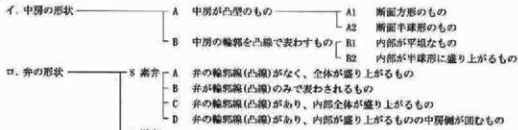
- イ. 出土位置の「カマド」はカマド構築土・崩壊土およびカマド覆土、「床直」は床面直積出土を示す。  
 ロ. 計測単位は、cmで表す。記号なしは整数値、【】は復元数値、()は埋存数値、○は計測不可を示す。

### (2) 土器類

- イ. 種別 土: 土師器 須: 還元焼成須恵器 須B: 酸化焼成須恵器 土師質: 土師質土器 灰: 灰輪陶器 緑: 緑輪陶器

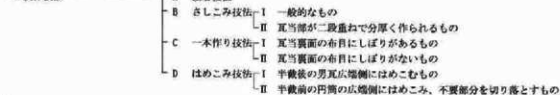
### (3) 瓦

#### 甍瓦



ハ. 外区文様 a=素文、b=珠文、c=その他、などがあり、内・外縁の区別がないものは外縁側に記入。

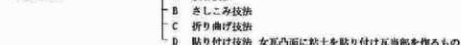
#### 二. 製作技法



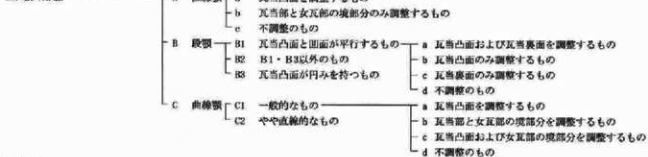
#### 宇瓦

イ. 内区文様 G=重弧文、JK=均整滑草文、HK=偏行滑草文、H=ヘラ書文、K=格子文、J=調文、N=無文、O=その他  
 ロ. 上・下区、扇区文様 a=素文、b=珠文、c=長円珠文、d=圓縁文、e=短素文、f=凸縁文、g=その他

#### ハ. 製作技法



#### 二. 型の形態



#### 男瓦・女瓦

#### イ. 製作技法

男瓦 <ul style="list-style-type: none"> <li>I-1-A1技法 有段粘土細桶巻き作り</li> <li>I-1-B技法 有段粘土板桶巻き作り</li> <li>I-2-A1技法 無段陶座粘土細桶巻き作り</li> <li>I-3-A1技法 無段粘土細桶巻き作り</li> <li>I-3-B技法 無段粘土板桶巻き作り</li> </ul>	女瓦 <ul style="list-style-type: none"> <li>I-A1技法 粘土細桶巻き作り</li> <li>I-B技法 粘土板桶巻き作り</li> <li>II-1-A1技法 凸面型粘土細桶一枚作り</li> <li>II-1-A2技法 凸面型粘土細桶一枚作り</li> <li>II-1-B技法 凸面型粘土板一枚作り</li> <li>II-2-B技法 凹面型粘土板一枚作り</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### ロ. 布目本数

3cm四方内での側縁線に並行する糸数を表す

#### ハ. 隅叩き本数

3cm四方内での隅数を表す

#### ニ. 糸の振り

L 縄圧底が右上がり左下がりの傾斜をなすもの

R 縄圧底が左上がり右下がりの傾斜をなすもの

#### ホ. 粘土板合せ目

佐原分類のS・Zによる(佐原1972)

#### ヘ. 布合せ目

ホに準ずる

#### ト. 叩き締め円弧

A 叩き締めの円弧が一方向

B 叩き締めの円弧が「ハ」字状をなすもの

# 目 次

## 本文目次

序 .....	i
例言 .....	iii
凡例 .....	v
I 調査に至る経緯と発掘経過 .....	1
II 調査地区の概観	
第1節 地理的・歴史的環境 .....	5
第2節 基本層序 .....	5
III 検出遺構と出土遺物	
第1節 僧寺地区の調査 .....	7
第2節 尼寺地区の調査 .....	9
第3節 東山道武蔵路の調査 .....	10
IV 小結	
第1節 東僧坊と伽藍中核部の構造 .....	14
第2節 寺院地・伽藍地確認調査の成果 .....	14
第3節 東山道武蔵路の再検討 .....	15
V 総括 .....	19
参考文献 .....	20
遺物観察表 .....	21

## 挿図・表目次

第1図 武蔵国分寺の構造と名称 .....	iii
第2図 武蔵国分寺変遷図 .....	iv
第3図 遺跡の位置 .....	2
第4図 調査区的位置 .....	3
第5図 基本層序 .....	6
第6図 第317・605次調査区 .....	18
第1表 調査回数一覧 .....	1
第2表 道路A側溝検出調査区一覧 .....	15



## 図面目次

- 図面 1 第 19・117・414 次調査 遺構配置図  
 図面 2 第 19・117・414 次調査 SB38、SA2、SD26・27、SK130・131・674、SX1  
 図面 3 第 303・418 次調査 遺構配置図  
 図面 4 第 273・542 次調査 遺構配置図  
 図面 5 第 303 次調査 SI391・392  
 図面 6 第 273・303・418 次調査 SD17・23、SX57・58  
 図面 7 第 265・281・388・440・512 次調査 遺構配置図  
 図面 8 第 265・281・388・440・512 次調査 SB103、SD23・42・72・203、SK1375  
 図面 9 第 346・356・379 次調査 遺構配置図  
 図面 10 第 187・390・652 次調査 遺構配置図  
 図面 11 第 187・346・356 次調査 SD34・44・180、SK773  
 図面 12 第 379・390・552 次調査 SD34・101・264・267、SK1378、SX199  
 図面 13 第 217・263・427 次調査 遺構配置図  
 図面 14 第 182・213・278・374 次調査 遺構配置図  
 図面 15 第 182・213・217・263・278・427 次調査 SD178・179・187・189・201・202、SK840・842  
 図面 16 第 182・213・278 次調査 SI313・330・335・375、SK840・841  
 図面 17 第 213 次調査 SI330・335 カマド  
 図面 18 第 144・210・247・297 次調査 遺構配置図  
 図面 19 第 49・321 次調査 遺構配置図  
 図面 20 第 144・210・321 次調査 SB109、SI402J、SD46、SK648・818  
 図面 21 第 49・321 次調査 SB109・110、SI140、SD51・86、SX8  
 図面 22 第 321 次調査 SB108・110  
 図面 23 第 317・438 次調査 遺構配置図  
 図面 24 第 317・438 次調査 SD12・13・300・329・331、SK1771・1773、P-1・P-6  
 図面 25 土師器  
 図面 26 須恵器 (1)  
 図面 27 須恵器 (2)  
 図面 28 須恵器 (3)  
 図面 29 須恵器 (4)、土師質土器、灰釉陶器、緑釉陶器  
 図面 30 甕瓦 (1)  
 図面 31 甕瓦 (2)  
 図面 32 甕瓦 (3)  
 図面 33 甕瓦 (4)、宇瓦 (1)  
 図面 34 宇瓦 (2)  
 図面 35 宇瓦 (3)  
 図面 36 宇瓦 (4)  
 図面 37 男瓦 (1)  
 図面 38 男瓦 (2)  
 図面 39 男瓦 (3)、女瓦 (1)  
 図面 40 女瓦 (2)  
 図面 41 女瓦 (3)  
 図面 42 女瓦 (4)  
 図面 43 女瓦 (5)  
 図面 44 女瓦 (6)  
 図面 45 女瓦 (7)、製斗瓦、鬼瓦  
 図面 46 文字・記号集成 押印 (1)  
 図面 47 文字・記号集成 押印 (2)  
 図面 48 文字・記号集成 押印 (3)  
 図面 49 文字・記号集成 押印 (4)  
 図面 50 文字・記号集成 押印 (5)、押型 (1)  
 図面 51 文字・記号集成 押型 (2)、ヘラ書き (1)  
 図面 52 文字・記号集成 ヘラ書き (2)  
 図面 53 文字・記号集成 ヘラ書き (3)  
 図面 54 文字・記号集成 ヘラ書き (4)、模骨 (1)  
 図面 55 文字・記号集成 模骨 (2)、石製品

## 図版目次

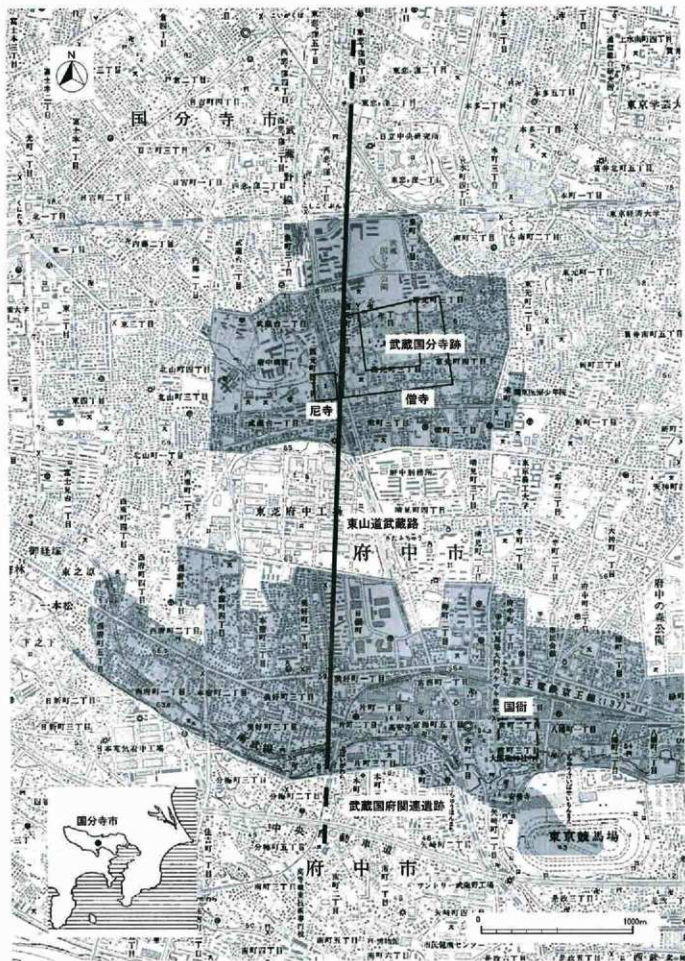
- 巻頭図版 1 東僧坊 (1)  
巻頭図版 2 東僧坊 (2)  
巻頭図版 3 僧寺伽藍地東辺  
巻頭図版 4 尼寺伽藍地南辺  
巻頭図版 5 東山道武蔵路 (1)  
巻頭図版 6 東山道武蔵路 (2)  
巻頭図版 7 須恵器  
巻頭図版 8 甕瓦  
巻頭図版 9 文字瓦・石製品  
図版 1 第 19・117・414 次調査 (1)  
図版 2 第 19・117・414 次調査 (2)  
図版 3 第 303 次調査  
図版 4 第 281・346・512 次調査  
図版 5 第 187・346・427・552 次調査  
図版 6 第 217・263・427 次調査  
図版 7 第 182・213・217・278 次調査  
図版 8 第 210・213・321 次調査  
図版 9 第 49・317・321 次調査  
図版 10 第 317・438 次調査  
図版 11 土師器、須恵器 (1)  
図版 12 須恵器 (2)  
図版 13 須恵器 (3)、土師質土器 (1)  
図版 14 土師質土器 (2)、灰輪陶器、緑釉陶器、墨書須恵器  
図版 15 甕瓦 (1)  
図版 16 甕瓦 (2)、宇瓦 (1)  
図版 17 宇瓦 (2)、女瓦・鬼瓦  
図版 18 押印瓦 (1)  
図版 19 押印瓦 (2)  
図版 20 押型瓦  
図版 21 ヘラ書き瓦 (1)  
図版 22 ヘラ書き瓦 (2)、石製品

## I 調査にいたる経緯と発掘経過

本書で報告するのは、国分寺市遺跡調査会が昭和51年度以降に国庫補助によって行った発掘調査の内、武蔵国分僧寺・尼寺・東山道武蔵路の周辺における調査成果である。各調査区の調査年度・目的・地番・期間・面積・検出遺構・遺物箱数・担当調査員は第1表の通りである。なお本書では記述の便宜上、調査年度ごとではなく、「僧寺地区」「尼寺地区」「東山道武蔵路」の3地区に分けて報告する。

第1表	調査年度	調査回数	目的	調査地番	調査期間	調査面積 (㎡)	検出遺構	遺物箱数	担当調査員	地区名
1	S61	19次	個人宅造	西元町3-1093-5	S61. 8. 9 ~S61. 8. 31	132.03	SA2, SB38, SD26・SD27, SK130・SK131, SK1	67	西脇	僧寺
2	S62	49次	個人宅造	西元町2-1671	S62. 8. 27 ~S62. 8. 27	106.27	SH2件(礎石のみ), S1132~S1134・S1140, S061 SK197・SK2151, S193(仏具埋藏のみ), P多数	6	有吉	東山道 武蔵路
3	S65	117次	個人宅造	西元町3-31-12	S65. 7. 21 ~S65. 12. 18	107.70	SA2, SB36, SK574	17	有吉	僧寺
4	S67	144次	個人宅造	西元町2-2545-8	S67. 8. 17 ~S67. 8. 29	18.20	SK648	1	上村	東山道 武蔵路
5	S68	182次	個人宅造	西元町2-2545-18, 20	S59. 9. 12 ~S59. 10. 27	23.60	S1313, SD178・SD179, P-1~P-3	1	上村	東山道 武蔵路
6	S68	187次	個人宅造	西元町4-1380-4, 6, 8	S58. 11. 21 ~S58. 12. 7	21.60	SB180, SK773	1	上村	尼寺
7	S68	216次	個人宅造	西元町2-2546	S59. 9. 3 ~S59. 9. 28	39.63	SD46, SK317・SK318, P-1~P-5	1	上村	東山道 武蔵路
8	S69	213次	個人宅造 共同住宅	西元町2-2545-2, 14	S59. 10. 24 ~S60. 3. 22	52.05	S1330・S1335・S1336, SD187, SK640~SK642	15	上村	東山道 武蔵路
9	S69	217次	個人宅造	西元町2-2544-37, 43	S59. 11. 19 ~S59. 12. 4	26.50	SD185・SD189, SK857	1	上村	東山道 武蔵路
10	S60	247次	個人宅造	西元町2-2548-74	S61. 2. 27 ~S61. 3. 13	10.90	なし	0.5	上村	東山道 武蔵路
11	S60	263次	個人宅造	西元町2-2544-96, 74	S61. 9. 8 ~S61. 10. 3	29.10	SD188・SD201・SD202・SK47	3	上村	東山道 武蔵路
12	S61	265次	個人宅造	西元町2-2150-15	S61. 10. 2 ~S61. 10. 24	17.73	SH193・SH72・S1203・SD204	0.5	上村	僧寺
13	S61	273次	個人宅造	西元町3-1528	S61. 12. 18 ~S61. 12. 25	16.78	SD23, P-1~P-10	1	上村	僧寺
14	S61	278次	共同住宅	西元町2-2644-4	S62. 4. 1 ~S62. 4. 20	21.90	S1376, SD188・SD201・SD202, SK1014	1	上村	東山道 武蔵路
15	S62	281次	寺域確認	西元町1-1625-1外	S62. 4. 9 ~S62. 6. 13	36.00	SD23・SD72	5	有吉	僧寺
16	S62	297次	個人宅造	西元町2-2545-5	S62. 9. 24 ~S62. 10. 8	18.50	なし	0.1	上村	東山道 武蔵路
17	S63	303次	寺域確認	西元町2-1640, 1642	S63. 11. 30 ~S63. 11. 30	152.90	SI391・SI392, SK1106・SK1107・SK1111・ SK1114・SK1115・SK1119・SK1120~SK1128・ SK1130~SK1133・SK1143, S029, S387・S338	109	福田	僧寺
18	HI	317次	個人宅造	西元町2-2571-1外	HI. 6. 4 ~HI. 6. 18	41.90	SD12・SD13・SD31	1	上敷田	東山道 武蔵路
19	HI	321次	個人宅造	西元町2-2548-88, 2548-11	HI. 6. 7 ~HI. 7. 24	77.60	SB108~SB110, S1402J, SD46, P-1~P-17	1	上敷田	東山道 武蔵路
20	HI	346次	寺域確認	西元町4-2294-1, 2296-1	HI. 11. 22 ~HI. 11. 22	328.60	SD4, SK5, P-1~P-22	6	福田	尼寺
21	HI	356次	個人宅造	西元町4-2-24	HI. 4. 10 ~HI. 4. 18	4.90	SD44	0	徳島	尼寺
22	HI	374次	個人宅造	西元町2-2545-16	HI. 6. 20 ~HI. 6. 27	9.90	P-1	2	上敷田	東山道 武蔵路
23	HI	379次	個人宅造	西元町4-5-19	HI. 2. 1 ~HI. 2. 8	15.90	SD161・SD264	1	上敷田	尼寺
24	HI	388次	共同住宅	西元町2-2545	HI. 7. 6 ~HI. 7. 8	7.90	SK1375, SD42, P-1	1	水下	僧寺
25	HI	390次	個人宅造	西元町4-2297-10, 20	HI. 8. 17 ~HI. 8. 28	7.90	SD4, SK1376, P-1	1	水下	尼寺
26	HI	414次	個人宅造	西元町3-1990-1, 31-9	HI. 7. 24 ~HI. 8. 9	79.30	SA2, SB38, SD26, SK1546, SK1, P-1・P-2	15	水下	僧寺
27	HI	418次	個人宅造	東元町4-1863-19	HI. 11. 13 ~HI. 11. 15	2.36	SD17	0.1	水下	僧寺
28	HI	427次	共同住宅	西元町2-17-17	HI. 8. 19 ~HI. 2. 10	46.10	SD201・SD202	0.6	水下	東山道 武蔵路
29	HI	435次	宅地造成	西元町3-2211~1~4 2212-1, 3, 4	HI. 1. 30 ~HI. 2. 10	461.67	SH29~SH31, SK1771~SK1773, SF1・SF10	1	上敷田	東山道 武蔵路
30	HI	440次	個人宅造	西元町2-2545-10	HI. 4. 7 ~HI. 4. 11	6.00	SD42, SK1810~SK1811, P-1	0.1	水下	僧寺
31	HI	512次	個人宅造	西元町2-14-18	HI. 8. 9 ~HI. 12. 6	55.73	SD42, SK2507	1	上敷田	僧寺
32	HI	542次	個人宅造	東元町4-1960-2, 1501-2	HI. 3. 9. 17 ~HI. 3. 28	20.24	S1728, S262	1	水下	僧寺
33	HI	562次	個人宅造	西元町4-1-11	HI. 7. 3 ~HI. 4. 7, 17	17.24	SA19, SD207, SK1999・SK2000, P-1~P-5	1	上敷田	尼寺

第1表 調査回数一覧



第3図 遺跡の位置



I 調査にいたる経緯と発掘経過

国分寺市遺跡調査会構成員名簿(平成21年3月31日現在)

——役員および監事——

会 長	坂詰秀一	国分寺市文化財保護審議会委員長
副 会 長	関口雄基臣	国分寺市文化財保護審議会副委員長
理 事	星野信夫	国分寺市長
理 事	内田 修	国分寺市教育委員会委員長
理 事	松井敏夫	国分寺市教育委員会教育長
理 事	星野亮雅	元国分寺市社会教育委員
理 事	北原 進	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	坂本克治	国分寺市文化財保護審議会委員
理 事	小菅政治	東京都教育庁生涯学習部計画課長
専務理事	竹内 悟	国分寺市教育委員会教育次長兼教育部長
監 事	榎戸 潔	元国分寺市社会教育委員
監 事	岡崎亮樹	東京都教育庁地域教育支援部管理課埋蔵文化財係長

——武蔵国分寺跡調査・研究指導委員会——

委 員 長	坂詰秀一	(考古学)	立正大学名誉教授
委 員	藤井恵介	(建築史)	東京大学大学院工学系研究科准教授
委 員	佐藤 信	(古代史)	東京大学大学院人文社会系研究科教授
委 員	酒井清治	(考古学)	駒沢大学文学部教授

——事務局——

事務局 長	福田信夫	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課長
事務局 員	田中明仁	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財保護係長
事務局 員	太田和子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課文化財普及担当係長
事務局 員	松田亜紀子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
事務局 員	中倉まり子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
事務局 員	佐々木徳明	国分寺市遺跡調査会

——調査団——

団 長	坂詰秀一	立正大学名誉教授
主任調査員	上敷領久	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡主任
調査員	小野中教	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課史跡係員
調査員	中道 誠	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員
調査員	立川明子	国分寺市教育委員会教育部ふるさと文化財課嘱託係員

## II 調査地区の概観

### 第1節 地理的・歴史的環境

国分寺市は、通称「ハケ」と呼ばれる国分寺崖線を境に南北に分けられる。国分寺崖線は武蔵野台地を古多摩川が浸食することで形成された崖で、崖上を武蔵野段丘、崖下を立川段丘と呼称する。崖線沿いには付近の湧水を集めた野川が東流しているが、段丘面形成期には武蔵野段丘側からこれに注ぐ流れがあり、いくつもの開削谷を残している。市域にはこうした豊かな自然環境のもと、旧石器・縄文時代の生活痕跡が多数残されている。

しかし縄文時代を最後に、市域での土地利用痕跡は希薄となる。そうした中、奈良時代に入って突如として出現するのが武蔵国分寺とそれに伴う集落である。武蔵国分二寺は北に国分寺崖線を背負い、東山道武蔵路を挟んで東に僧寺、西に尼寺の伽藍を構える。弥生時代以来ほとんど無住の地であった当地が国分寺の建設地に選ばれたのは、上記の地理的環境が、天平13年の国分寺造営の詔に云う「好处」と見なされたためであろう。

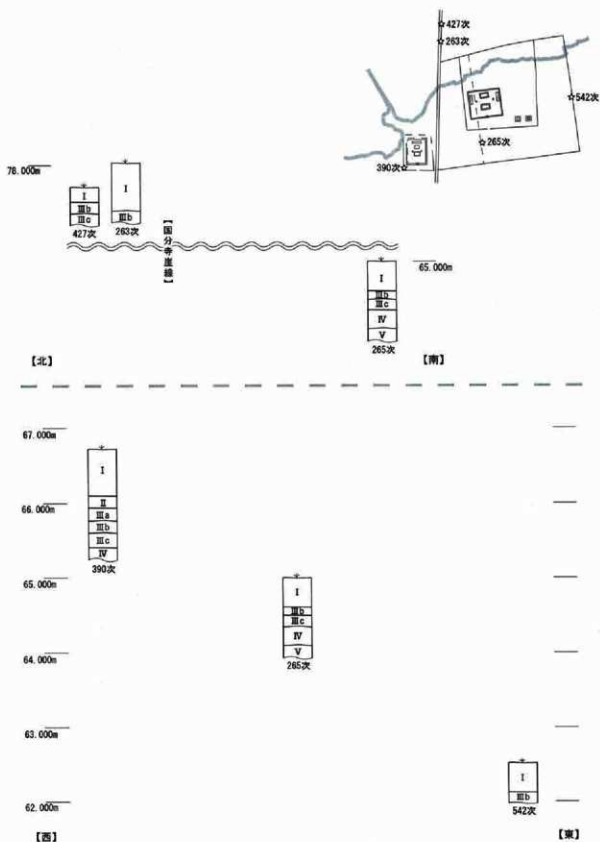
### 第2節 基本層序

国分寺市遺跡調査会で用いる層位区分は、表土（I層）下の黒色土が2枚に細分され、これをII層・III層と呼称している。従って下位のローム層の呼称については、一般的な立川ローム層の区分とはズレが生じている。今回報告する調査区は国分寺崖線の上下に跨る。第5図に示すように第263次調査区と第265次調査区間の約13mもの比高差は国分寺崖線によるものだが、第390次調査区と第542次調査区間にも約3mの比高差があり、崖線下では西がやや高い地形となっている。堆積土は下記の通りほぼ共通した層序を示す。

- I層 表土および耕作土。
- II層 黒褐色土。粒子が粗い。しまりやや弱い。粘性弱い。歴史時代の遺構内の堆積土に似る。
- III a層 暗褐色土。粒子はやや粗い。粘性やや弱い。II層・III b層との境は漸移的。
- III b層 暗褐色土。III a層より明度高い。本層の上面で歴史時代の遺構が検出しやすくなる。縄文時代の遺物を包含する。
- III c層 茶褐色土。ローム漸移層。本層の上面で縄文時代の遺構が検出しやすくなる。上部に縄文時代の遺物を包含する。
- IV層 暗黄褐色ローム。ソフトローム。
- V層 黄褐色ローム。ハードローム。



II 調査地区の概観



第5図 基本層序



## III 検出遺構と出土遺物

## 第1節 僧寺地区の調査

## (1) 東僧坊地区(第19・117・414次調査、図面1・2、図版1・2)

SB38 礎石建物 東僧坊である。僧寺中心点より北16.2m～40.1m、東61.7m～71.8mの範囲で確認した。礎石据え方は平面形が1辺約1.1m～1.5mの隅丸方形で、深さは約0.8mを測る。5-3の礎石がSK131土坑内に落ち込んで検出された以外は、すべて失われているが、確認面には根石が残存している。底面から黒色土とローム土および川原石を突き固めた地業を行っている。梁行4間の二面庇建物である。桁行3間毎に坊間を設ける。建物の主軸は、僧寺中軸線に並行する。柱間は、梁行きが身舎1間8尺(1尺≒30cm、以下同じ)・庇1間7尺、桁行が1間10尺である。

SA2 掘立柱塀 伽藍中柵部を囲う掘立柱塀である。僧寺中心点より北15.9m～54.7m、東77.0m～81.3mの範囲で確認した。東僧坊東側柱心からの距離は東へ約6.9mである。柱穴は平面形が1辺約1.0m～1.2mの隅丸方形で、深さは約0.8mを測る。柱間は8尺である。柱穴列の主軸は、僧寺中軸線に並行する。

SK1 硬質面 SA2 掘立柱塀の上面で検出された硬質面である。SA2 掘立柱塀の上面を約20cm～30cm掘り込んで整地し、黄褐色土と黒褐色土を積み上げている。最下層以外の堆積土は非常に緻密で硬質である。上面幅は約1.5m～2.5mを測る。

SD26 溝・SK130 土坑 僧寺中心点より北15.9m～31.6m、東72.4m～75.9mの範囲で確認した。同一遺構と考えられる。長方形の土坑が南北に連なったような形状を呈する。第414次調査区において1回の掘り直しが認められる。上面幅は最大で約3.2m、深さ約1.2mを測る。溝の主軸は、僧寺中軸線に並行する。覆土中からは須恵器・土師質土器および大量の瓦が出土している。

SD27 溝 僧寺中心点より北16.3m～24.0m、東79.4m～81.7mの範囲で確認した。上面幅約2.1m、深さ約1.6mを測る。溝の主軸は、僧寺中軸線に並行する。覆土中からは多量の瓦が出土している。

SK131 土坑 僧寺中心点より北20.4m～23.9m、東70.7m～73.5mの範囲で確認した。長軸約3.7m、短軸約3.0mを測り不正円形を呈する。深さは約0.8mを測る。SB38 礎石建物の礎石据え方を切る。覆土中からは多量の瓦が出土している。

## (2) 伽藍地区面溝(第273・303次調査、図面3～6、図版3)

SD23 溝 伽藍地区面溝である。第303次調査区において僧寺中心点より北55.0m～77.1m、西104.9m～108.8mで西辺を、第273次調査区において僧寺中心点より北22.7m～24.1m、東258.6m～260.9mで東辺を確認した。規模は西辺が上面幅約3.1m、底面幅約1.4m、深さ約1.9m。東辺が上面幅約2.8m、底面幅約1.9m、深さ約1.3mを測り、ともに断面は逆台形状を呈する。覆土の堆積状況から、それぞれ2回の掘り直しが認められる。溝底面のロームブロックによる埋め込み土層は、西辺では確認できたが東辺には認められなかった。覆土中からは瓦が出土している。

SI391 住居 第303次調査区において、僧寺中心点より北58.0m～61.1m、西104.5m～106.3mの範囲で確認した。住居の西側約1/2が検出され、東側は調査区外に及ぶ。南北約3.0m、深さ約20cmを測る。調査区内ではカマドは確認されていない。SD23溝の埋没後に構築されている。覆土中からは瓦・緑軸陶器が出土している。

SI392 住居 第303次調査区において、僧寺中心点より北62.7m～65.8m、西107.4m～110.5mの範囲で確認した。住居の東側約4/5が検出され、西側は調査区外に及ぶ。南北約3.0m、深さ約30cmを測る。SD23溝の埋没後に構築されている。床面直上からは完形の石製丸靴が、覆土中からは瓦が出土している。

SX57 瓦列・SX58 瓦列 第303次調査区において、SX57瓦列は僧寺中心点より北66.6m～71.3m、西109.5m、SX58瓦列は僧寺中心点より北66.7m～67.7m、西104.7mの範囲で確認した。SD23溝に並行して西にSX57瓦列、東にSX58瓦列が位置する。SX57瓦列の主軸は、僧寺中軸線北に対して約2°40'東偏する。SX58瓦列は一部SD23溝に崩れ落ちるように検出された。SX57瓦列に使用された瓦はすべて完形の女瓦であり、凸面を上にし両端面を接して並べられている。SX58瓦列には男瓦と女瓦が使用されている。

## (3) 寺院地区面溝(第265・281・388・418・440・512・542次調査、図面3～8、図版4-1～4-5)

SD23溝・SD42溝 ともに寺院地北辺区面溝である。第281・388・440・512次調査区において、僧寺中心点より北221.7m～243.0m、西52.0m～183.4mの範囲で確認した。伽藍地区面溝を兼ねるSD23溝とSD42溝では前者の規模が大きい。SD23溝は上面幅約2.6m、底面幅約1.4m、深さ約1.1mを測り、断面は逆台形状を呈する。SD72溝と重複しこれより新しい。SD42溝は上面幅約1.3m～2.2m、底面幅約1.1m～90cm、深さ約60cm～80cmを測り、断面は逆台形状を呈する。第388次調査区では底面にロームブロックの整地層が確認できる。SD23溝の覆土中からは須恵器・瓦が出土している。

SD72 溝 僧寺の区画変更によって埋め戻された古寺院地西辺区画溝である。第265・281次調査区において、僧寺中心点より北240.6m～南210.2m、西45.0m～54.0mの範囲で確認した。上面幅約1.4m～2.0m、底面幅約1.0～1.2m、深さ約70cm～90mを測り、断面は逆台形状を呈する。覆土上面は人為的に埋め戻されている。溝底面にはロームブロックによる埋め込み土層が確認された。第281次調査区では鍔瓦5点・宇瓦1点・男瓦9点・女瓦16点・隅切り瓦1点が出土した。鍔瓦はいずれも素弁八葉蓮華文で、一本作り技法のものとして差し込み技法のものがある。いずれも南比企窯跡群の製品である。女瓦には桶巻き作りのものと一枚作りのものがある。

SB103A・B 掘立柱建物 第265次調査区において、僧寺中心点より北212.7m、西48.5mで確認した2基の柱穴である。第36次調査区（国分寺市遺跡調査会1989）で検出されたSB103A・B掘立柱建物の北東隅柱と考えられる。

## 第2節 尼寺地区の調査

（第187・346・356・379・390・552次調査、図面9～12、図版4-6～5-5）

SD34 溝 尼寺の伽藍地区画溝である。第346次調査区において南辺を、第390次調査区において西辺を確認した。南辺は上面幅約2.7m、底面幅約75cm、深さ約1.2mで断面は逆台形状を呈する。堆積土は3層に大別でき、2度掘り直されている。下層はロームブロックと黒色土の混合層で出土遺物はない。下層上部を整地・転圧してSX5通路状遺構を構築している。中層は粘性の高い黒褐色土でSX5通路状遺構を被覆する。武蔵国分寺Ⅱ期の瓦片が出土する。上層は黒褐色土で平安時代後期の土器が出土する。西辺は上面幅約2.0m、深さ約45cmで断面はV字状を呈する。覆土上層には焼土炭化物を含む。

SD180 溝 尼寺中門推定地の東側に延びる東西溝である。第187次調査区において確認した。上面幅はSK773土坑に切られており不明である。底面幅・深さは約1.0mを測り、断面は逆台形状を呈する。底面から約10cmにはロームブロックによる埋め込み土層が確認できる。出土遺物はない。

SD264 溝 尼寺中門推定地の西側に延びる東西溝である。第379次調査区において確認した。上面幅約1.0m、深さ約20cmを測る。出土遺物はない。

SD267 溝 尼寺中核部の内側を巡る溝（東辺）である。第552次調査区において確認した。A・Bの2時期が確認され、Aが古い。平面確認のみにとどめたため深さは不明であるが、上面幅はA期が約1.3m、B期が約2.0mを測る。A期は調査区北側で途切れる。土器片・瓦片が少量出土している。

**SD447 溝** 尼寺中柵部の外側を巡る溝（南辺）である。第356次調査区において確認した。上面幅約1.2m、底面幅約70cm、深さ約1.0mで断面は逆台形状を呈する。土器片がわずかに出土しているが時期を特定できるものはない。

**SA19-19 柱穴** 尼寺中柵部を区画する掘立柱塼（東辺）の柱穴である。第552次調査区において確認した。中柵部南東端より5つ目の柱穴と推定される。一部を検出したのみで規模・形態は不明であるが、平面形は隅丸方形を呈し一辺90cm程度と考えられる。

**SX5 通路状遺構** SD34溝（南辺）を跨ぐ硬質面である。第346次調査区において確認した。長軸は約4.6mを測る。中央部は溝上面より約40cm下がり、幅も約40cmと最も狭くなる。構築土はローム粒を多く含む黒褐色土である。構築土中からは武蔵国分寺Ⅱ期の瓦片が出土する。なお、当遺構に繋がるような道路状遺構は調査区内では確認できなかった。

**SX199・SX200 特殊遺構** SD267溝の東側を平行に走る土坑状の落ち込みである。第552次調査区において確認した。上面幅約80cm、深さ約20cmを測る。

### 第3節 東山道武蔵路の調査

国分寺市内では、昭和50年代から僧寺・尼寺の中間を南北に貫く道路跡の存在が注目されていた。道路跡は東西に側溝を有し、道幅12mを測る大道であり、国分寺市遺跡調査会ではこれをSF1道路として調査を継続してきた。その後、府中市内でも検出例が増加し、さらに所沢市東の上遺跡（飯田1991）においてSF1道路の延長線上で同様の特徴をもつ道路跡が検出されたことにより、この道路が『続日本紀』に記された東山道の支路である「東山道武蔵路」である可能性が指摘されることとなった。国分寺市の旧鉄道学園跡地の調査では（西国分寺地区遺跡調査会1999・東京都埋蔵文化財センター2003）、東山道武蔵路が約400mにわたって検出され、4時期の変遷が確認されている。

本節では東山道武蔵路周辺の調査成果を報告するが、調査次数ごとに道路側溝の遺構番号が異なる場合がある。これは個々の溝跡が一連の道路側溝であるという認識にいたるまでに如上の調査事例の蓄積を必要としたためである。本報告では遺構番号は調査時のままとし統一は行っていないが、記述上の便宜を図るために道路遺構の名称については以下の通り統一した。

**道路A** 東西に側溝を有し、道幅約12mを測るSF1道路。旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第1期に相当する。

**道路B** 道路Aに並行して走る側溝によって認識される道路跡。旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第3期に相当する。

**道路C** 第438次調査区で検出された、僧寺中軸線に対して約33°51′西偏するSF1道路。

(1) 武蔵国分寺以北（第182・213・217・263・278・374・427次調査、図面13～17、図版5-6～8-2）

**道路A** SD202溝・SD178溝を東側溝、SD188溝を西側溝とする。第182・217・263・278・427次調査区において確認した。

側溝の形状は、深さが一定でなく、所々途切れる箇所があり、長楕円形の土坑が連結した形状となる。連結部分は階段状を呈する。SD178溝は長軸約3.7mの独立した長楕円形土坑となる。

側溝の規模は、上面幅約1.5m～80cm、底面幅約30cm～50cmを測り、深さは深い部分では約1.0m、浅い部分では約40cmである。断面形状は逆台形または「Y」字状を呈する。覆土は基本的に溝の最低面にロームブロックを主体とする層があり、中位に黒褐色土層が入る。さらに上層には暗黄褐色の硬くしまった層が堆積する。上層は旧鉄道学園跡地の東山道武蔵路第2期に相当するものと考えられる。底の浅い部分ではロームブロックの整地層は見られない。

路面は、第263次調査区においてSX47硬質面を検出した。道路Bに伴う路面である可能性も否定できないが、道路Aの外側まで硬質面が広がらず、道路Aに伴う路面の可能性が高い。その他の調査区では路面にあたる硬質部は面的には検出されず、ブロック状に残存していた。

いずれの調査区においても遺物は僅少であるが、第278次調査区の西側溝（SD188溝）より鏡瓦・熨斗瓦が出土している。

**道路B** SD201溝を東側溝、SD189溝を西側溝とする。第217・263・278次調査区において確認した。

側溝の断面形は逆台形または「U」字状を呈し、上面幅約80cm～90cm、深さ約40cmを測る。底面は平坦で、道路Aのように長楕円形土坑を連ねたような形状とはならない。いずれの調査区からも遺物は検出されていない。

**SD187溝** 第213次調査区において、道路B西側溝推定通過ラインのわずかに外側で確認した。上面幅約60cm、底面幅約40cm、深さ約20cmを測る。覆土の最下層は非常に硬質であることから、道路面と考えられる。覆土中から須恵器底部周縁ヘラ削りの坏2点が出土している。

**SK840土坑** 第213次調査区において、SD187溝の南で確認した。東西約4.0～5.0m、南北8.0m以上、深さ約1.6mを測る。図示していないが須恵器底部周縁ヘラ削りの坏が出土しており、SD187溝と同時期と考えられる。

**S1313住居** 第182次調査区において確認した。南北約3.0m、深さ約30cmを測る。調査区内でカマドは検出されていない。遺物は覆土より須恵器坏が出土している。

**S1330住居** 第213次調査区において確認した。南北約3.0m、深さ約30cmを測る。東壁にカマドを2基有し、建て替えまたはカマドの造り替えがあったと考えられる。遺物は床面直上から土師器坏・須恵器坏・土師質土器坏が出土している。

**SI335 住居** 第 213 次調査区において確認した。住居の南東部分約 1/4 が検出され、残りは調査区外に及ぶ。東壁にカマドを有する。遺物はカマド内から土師器甕・須恵器皿などが出土している。

**SI375 住居** 第 278 次調査区において確認した。住居の東側約 1/4 が検出され、残りは調査区外に及ぶ。道路 A の東側溝 (SD202 溝) の西側立上り部分に東壁を接している。調査区内でカマドは検出されていない。遺物は酸化焰焼成の須恵器坏・埴が出土している。

(2) 寺院地内 (第 49・144・210・247・297・321 次調査、図面 18～22、図版 8-3～9-5)

**道路 A** 第 210 次調査区において確認した SK818 土坑を東側溝とする。調査区内においては単独の土坑であるが、両調査区の北側で行った第 48 次調査 (国分寺市遺跡調査会 1982) で検出された道路 A との関係によって、その東側溝であることが判明する。東西約 0.8m、南北約 1.0m、深さ約 0.6m を測る。

第 144 次調査区・第 247 次調査区・第 297 次調査区は道路跡 A 側溝の推定通過ライン上に位置するものの、遺構は検出されなかった。

第 49 次調査区において確認した SD86 溝は、第 291 次調査区 (整理中) で検出した SD191 溝 (道路跡 A 西側溝の推定通過ライン上に存在する) から東へ 11.4m の距離にあることから、道路 A の東側溝と判明する。SX8 地業遺構によって上面が削平される。溝底面幅は約 40cm を測る。出土遺物はない。

**SX8 地業遺構** 第 49 次調査区において確認した。確認面から約 60cm を掘り込み、暗褐色土・黄褐色土を用いて 4cm～16cm ほどの厚さで突き固めている。周辺遺構との新旧関係は、(旧)SD86 溝→SX8 地業遺構→SI140 住居 (新) である。

**SD51 溝** 第 49 次調査区において確認した。上面幅約 2.2m、底面幅約 1.4m、深さ約 40cm を測る。SX8 地業遺構と重複しないことから、SX8 地業遺構を道路面・SD51 溝を東側溝とする道路遺構の可能性がある。SX8 地業遺構・SD51 溝のいずれからも遺物は出土していない。

**SD46 溝** 第 210・321 次調査区において、計 4 箇所を確認した。第 48 次調査区 (国分寺市遺跡調査会 1982) で確認された溝跡の南側延長部分にあたる。上面幅約 1.8m、深さ約 30cm を測る。北側は道路 A の範囲に含まれるが、南へ行くほど蛇行しながら東へ逸れていく。覆土は非常に硬質であることから、時期は確定できないものの東山道武蔵路に伴う路面と考えられる。出土遺物はない。

**SB108 掘立柱建物** 第 321 次調査区において 5 基の柱穴を確認した。柱穴の深さは約 40cm を測る。隅柱の柱穴掘り方の平面形は「L」字状を呈し、その他は隅丸長方形を呈する。梁行き 2 間・桁行き 2 間以上で南側は調査区外へ続く。柱間は、梁行き・桁行とも 1 間 8 尺である。

建物の主軸は、僧寺中軸線にほぼ並行する。出土遺物はない。

**SB109 掘立柱建物** 第321次調査区において7基の柱穴を確認した。建物の主軸は、僧寺中軸線にほぼ並行する。柱穴掘り方の平面形は隅丸長方形で深さは約45cmを測る。梁行き2間・桁行き3間以上で南西側は調査区外へ続く。出土遺物はない。

**SI140 住居** 第49次調査区において確認した。SX8地業遺構を切つて構築されている。住居の北側約1/2が検出され、残りは調査区外に及ぶ。南北約3.3m、深さ約60cmを測る。北壁にカマドを有する。遺物は土師器甕・須恵器坏などが出土している。

(3) 寺院地南辺区画溝との交点部分(第317・438次調査、図面23・24、図版9-6～10-5)

**道路A** 第317・438次調査区において確認した。SD76溝・SD330溝・SD331溝を東側溝とする。SD331溝はSD330溝より約1.3m道路側側に寄る。僧寺中心点より南310m、西278mの地点でSD12溝と重複し、これに切られている。出土遺物はない。

**道路C** 第438次調査区において確認した。SD329溝を西側溝とする。西側溝の規模は上面幅約40cm、深さ約10cmを測る。検出された道路長は約4.5mである。路面中央には、進行方向に直交して長軸90cm～1.4m・短軸40cm～60cm、深さ10cm前後の掘り込みが15cm前後の間隔で並び(P-1～P-7)、「波板状」を呈する。掘り込みの覆土は小砂利や瓦片を含み、非常に硬質である。またP-4とP-5からは同一個体の須恵器蓋片が出土している。

**SD12溝** 第317次調査区において確認した。上面幅約1.6m、底面幅約30cm、深さ約80cmを測り、断面は逆三角形を呈する。掘り直しの形跡は認められない。道路Aの東側溝(SD76溝)と重複し、これより新しい。西側は道路Aの路面部分へと続いている。出土遺物はない。

**SD13溝** 第317次調査区において確認した。上面幅約1.0m、底面幅約50cm、深さ約40cmを測り、断面は逆台形状を呈する。掘り直しの形跡は認められない。出土遺物はない。

**SK1771～SK1773土坑** 第438次調査区において確認した。いずれも平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸約1.5m・短軸約1.3m・深さ約30cm(SK1771土坑)、長軸約1.7m・短軸約1.6m・深さ約60cm(SK1772土坑)、長軸約1.5m・短軸約1.1m・深さ約10cm(SK1773土坑)を測る。出土遺物はない。

## IV 小結

### 第1節 東僧坊と伽藍中枢部の構造

東僧坊 SB38 礎石建物については、すでに『国分寺市史上巻』において一部紹介していたが、第414次調査区を加えたことで全体像がより明らかとなった。以下に各部の規模を示す。

桁行き：8間（1間＝10尺）＝24m以上

梁行き：4間（両庇含む。1間＝7.5尺）＝9m

第414次調査の成果より、桁行3間毎で坊を区切っていることが判明した。梁行き・柱間間隔・3間を一坊とする点は、尼坊 SB54 礎石建物と同一の規模・構造である。桁行きも尼坊と同様であるとすると、3間からなる坊が5つ連なった桁行き15間（45m）の切妻式礎石建物に復元できる。この場合、尼坊は尼寺講堂の北側に1棟であるのに対し、僧坊は金堂・講堂の東西に1棟ずつ配置されることから、僧坊・尼坊とも一坊につき2名の僧侶が起居していたと考えれば、国分寺造営の詔に云う「僧廿人、尼十人」の定員に一致する。

東僧坊 SB38 礎石建物の東側を南北に走る SA2 掘立柱塀は、中門に取り付いて東西に延びる SA33 掘立柱塀の東辺である。『国分寺市史上巻』では、SA2 掘立柱塀の上面を被覆する SX1 硬質面を「通路状遺構」としていた。これは、SX1 の硬質土が層状にはなく面的に広がっており、その上面が当時の使用面と捉えられるという調査所見によるものである。しかし、近年の中門地区および中枢部区画施設南辺地区での調査では、東辺と同様に掘立柱塀の上面を切る地菜遺構が検出され、築地塀の跡であることが確認されている（国分寺市遺跡調査会 2006、SX249 築地塀跡）。本書では、調査所見を重視して従来通り SX1 を通路状遺構とみているが、掘立柱塀の上面を掘り込んで整地した上に暗褐色土と黒色土の互層積みを行う点は SX249 築地塀跡と類似しており、今後再確認の機会を待ちたい。

また、SA2 掘立柱塀の西側に平行して検出された SD26 溝・SK130 土坑は、本書でも一部報告した尼寺伽藍地の掘立柱塀の内側を巡る SD267 溝と規模や形状が類似している。

### 第2節 寺院地・伽藍地確認調査の成果

次に寺院地・伽藍地の構造解明のための学術調査の成果についてまとめる。

第281次調査は、武蔵国分寺 I a 期の古寺院地西辺区画溝（SD72 溝）の国分寺崖線上での横相、および寺院地北辺区画溝（SD23 溝）との関係を解明するために行った。調査の結果、



SD72 溝は SD23 溝に切られ、以北には伸びないことが確認された。I a 期の北辺区画溝については SD72 溝が SD23 溝より浅いため不明であるが、第 43 次調査区（『例言』第 1 図 F 地点）では SD23 溝に先行する北辺区画溝（SD63 溝）が検出されていることから（国分寺市遺跡調査会 1982）、SD23 溝と一部重複して存在した可能性が高い。また SD72 溝は全体的に埋め戻しが行われており、覆土上層から南比企産の一本作り鯉瓦や桶巻作り女瓦など古相の瓦が出土する点などは、これまでの調査結果と同様であった。

第 303 次調査は、僧寺中枢部を区画する溝や塀の北辺が当該調査区付近で SD23 溝と接続すると想定し、その様相を探るために行った。調査では、中枢部区画施設は検出されなかった。すなわち、中枢部区画施設は『例言』第 1 図 A 地点で南へ折れ、上述の東僧坊付近でのあり方も勘案すると、第 1 図アイウエとなり中枢部の周囲をめぐる可能性が高くなった。

尼寺南方地域では、第 45 次調査（国分寺市遺跡調査会 1989）において、SD34 溝とこれを埋め込み通路とした SX5 通路状遺構が検出されていたものの、想定された南門跡は確認できなかった。そこで第 346 次調査では、既往の調査区を南東に拡張し、南門跡の有無の再確認および通路状遺構の全体像の把握を目指した。調査の結果、SD34 溝の南側には小穴が数基あるのみで、南門跡や通路状遺構の延長は確認できなかった。従って、南門の存在する可能性は SD34 溝の北側に絞られた。また、III で述べたように SD34 溝の堆積土は SX5 通路状遺構より下位の 1 層と上位の 2 層の計 3 層に分けられる。各層の特徴や出土遺物の様相から、SD34 溝の開削当初は SX5 通路状遺構は存在せず、武蔵国分寺 II 期かそれをやや遡る時期に SX5 通路状遺構が敷設され、武蔵国分寺 III 期には SD34 溝が埋没するという変遷が考えられる。

### 第 3 節 東山道武蔵路の再検討

東山道武蔵路については、本書によって武蔵国分寺跡での調査事例については大半の報告を終えた。ここで改めて武蔵国分寺周辺における東山道武蔵路の様相を整理する。

第 2 表には、武蔵国分寺跡の範囲内で国分寺市遺跡調査会が調査した道路 A (SF1) の側溝を挙げた。最北端の第 503 次調査区の北側には恋ヶ窪谷が入り、道路 A は谷に向かって切り通し状に走っている。第 503 次調査区と第 427 次調査区の間は、III で述べた通り西国分寺地区遺跡調査会および東京都埋蔵文化財センターの調査で道路 A が検出されている。

ここで指摘できるのは、西側溝では N4.9 ~ N217.9、東側溝では N5.8 ~ N211.1 までの約 200m にわたり、両側溝が検出されない区間が存在する点である。本書で報告した中では第 247 次調査と第 297 次調査がこの区間に相当する。これ以外にもこの区間は下水道の設置に伴う調査が網の目状に行われているにもかかわらず側溝が検出されていないことから、本来側溝が存

調査区	西側溝		東側溝		掲載
	X座標	Y座標	X座標	Y座標	
503次	N815.0	W110.0	N812.0	W100.3	概報29
427次			N407.3	W167.1	概報34
616次	N366.1	W185.0	N363.6	W174.1	整理中
263次			N319.3	W181.8	概報34
217次	N320.8	W193.1			概報34
278次	N292.3	W198.1	N275.4	W189.3	概報34
182次			N266.1	W190.3	概報34
48次	N229.3	W208.0	N225.2	W197.3	年報II
79次	N217.9	W209.7			概報XVI
210次			N211.1	W199.3	概報34
219次	N4.9	W240.8			整理中
49次			N5.8	W229.9	概報34
357次	S43.5	W250.0	S42.5	W236.5	概報X X II
135次			S78.0	W241.9	概報XIV
367次	S166.3	W266.3	S163.1	W263.4	概報X X II
150次			S172.2	W256.0	整理中
68次	S248.3	W279.4	S264.6	W268.6	概報27
93次	S285.5	W285.1	S287.7	W273.8	概報XIV
317次			S308.9	W277.2	概報34
418次			S319.2	W279.0	概報34

第2表 道路A側溝検出調査区一覧

(北から順、単位はm、座標は武蔵国分寺局地座標系)

道路Aの方向性を計測すると、崖線下では僧寺中軸線北に対して約 $9^{\circ}19'$ 東偏するライン上にほぼ全ての側溝が乗るのに対し、崖線下では約 $8^{\circ}25'$ となる。この約 $1^{\circ}$ の方向の差は、崖線区域を挟んで別々に道路を施工したことに起因すると考えられる。

道路Bは、旧鉄道学園跡地においては、東側溝のみが新たに掘削され、西側溝は道路Aの西側溝を再利用したものと考えられていたが、旧鉄道学園跡地の南側の旧第四小学校跡地(第616次調査:整理中)では道路Aの西側溝の外側にこれと並行する溝が確認された。第217次調査区でもこれに対応する溝が検出されており、道路Bも部分的には両側溝を完備した道路であったことが判明した。道路Bの範囲は、北は旧鉄道学園跡地から南は第182次調査区までは確実であるが、崖線区域及び崖線下では確認できておらず、崖線上に限った側溝掘削であった可能性もある。ただし、旧鉄道学園跡地では約9mであった道幅が第217・263次調査区では道路Aとほぼ等しい約11m幅となるように、道路Bは道路Aほど密な直線道路ではない。また側溝の深さも浅く、道路Aほど特徴的な形態を呈さないこともあり、推定通過ラインを外れているとすれば道路Bの側溝と認定することは困難である。

次に各道路跡の年代について。道路Bの年代を示す層位的事実や出土遺物は今回報告の調査

在しない可能性が高い。側溝が伴わない区間は、ちょうど国分寺崖線の傾斜地と崖線下の湧水地点にあたるため、地理的制約から側溝の掘削を行わなかったと考えられる。

側溝が伴わない区間での道路のあり方を示す調査事例として、第37次調査区(国分寺市遺跡調査会1998)では、道路Aの推定通過ライン上において小礫と瓦片を敷き詰めた道路状遺構(SX28)が検出されており、湧水対策の地業の可能性もある。また、本書で報告したように道路面と考えられるSD46溝が、第210・321次調査区では東側溝の推定通過ラインより東に外れた位置で検出されている。こうした事例を考え合わせれば、崖線区域では道路Aの設道当初から直線性や側溝の掘削に拘泥せず、柔軟なルート設定や湧水対策を行っていた可能性が高い。

区では確認されていない。道路Aについては、出土遺物や遺構の切りあい関係から以下の点が指摘できる。

- ①第49次調査区において、SX8地業遺構を切るSI140住居の覆土中よりG25窯式期（服部・福田1979）の坏が出土している（図面26-4）。
- ②第182次調査区において、SD178溝（道路A東側溝）の覆土中より底部糸切り後無調整の坏が出土している（図面26-10）。
- ③第213次調査区において、SK840土坑（調査区外南側において道路A西側溝と切りあう可能性が極めて高い）の覆土中より前内出2号窯式期の坏が6個体出土している（図面27-3～8）。
- ④第278次調査区において、道路A路線内に構築されたSI375住居の床面直上よりG5窯式期の須恵器高台付埴が出土している（図面27-9）。
- ⑤第278次調査区において、SD188溝（道路A西側溝）より武蔵国分寺Ⅱ期の鏡瓦が出土している（図面31-1）。

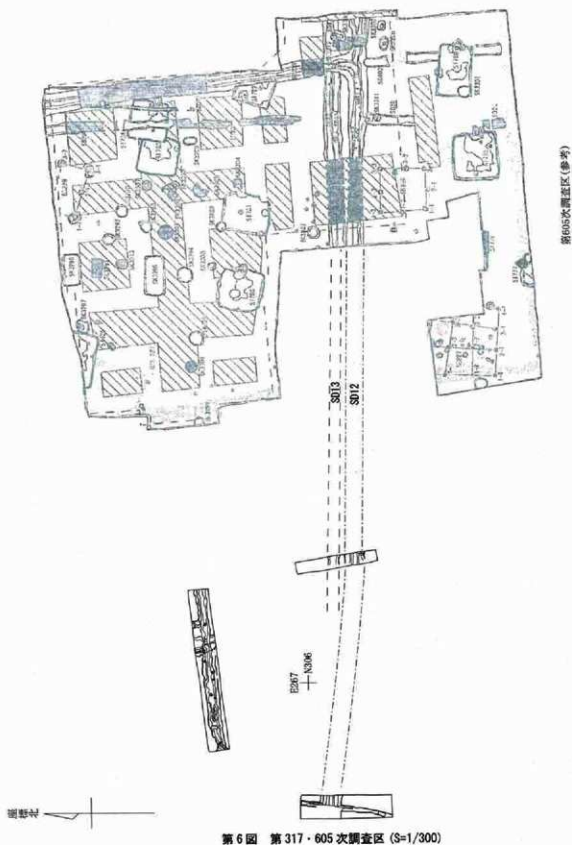
①より、道路AはG25窯式が示す9世紀後半より以前の段階でSX8地業遺構の構築によって機能を停止していたと考えられる。また③のSK840土坑出土土器はいずれもほぼ完形であり、型的にもまとまることから、土坑内に一括で埋納あるいは廃棄されたと考えられる。すなわちSK840土坑の掘削年代は土器群の示す8世紀中葉（酒井1987）とほぼ同時期の可能性が高く、それ以前には道路Aの西側溝は埋没していたと考えられる。しかし②・⑤は、道路Aの側溝が武蔵国分寺Ⅱ期には完全に埋まり切っていなかったことを示唆しており、上記の見解と対立する。当然のことながら、道路のように長大な遺構では箇所が一律に埋没・廃棄の過程をたどるわけではなく、上記①～⑤の事実、あくまで局所的な廃絶年代を示す参考値とすべきである。しかし、③が示すように、武蔵国分寺の創建段階においてすでに道路側溝が埋没し、補修の行われない箇所が存在した点には留意すべきであろう。

次に、第317次調査における東山道武蔵路と僧寺寺院地南辺区画溝の切りあい関係について。この調査に関しては、東山道武蔵路と武蔵国分寺の時期的関係を示すものとして本書の刊行以前から注目されていた。例言で述べたとおり、僧寺寺院地南辺区画溝が西へ延長されるのは武蔵国分寺Ⅱ期と考えられるため、これが東山道武蔵路の側溝を切ってさらに路面部分へ続くという事実は、この時点で東山道武蔵路の機能が停止していたことを示すからである。

ところが、その後に行った第317次調査の東隣での調査（第605次調査：未報告）では、SD12溝とSD13溝との切りあい関係が確認され、SD12溝が新しいことが判明した（第6図）。これによって、SD13溝が当初の僧寺寺院地南辺区画溝である可能性が浮上してきたため、第317次調査の成果から武蔵国分寺Ⅱ期に東山道武蔵路が廃絶していたとは判断できなくなっ

IV 小結

た。しかし、なぜSD12溝が東山道武蔵路東側溝との交点部分においてやや北へ振れるのかは不明である。



第6図 第317・605次調査区 (S=1/300)

## V 総 括

昭和51年度より平成14年度にかけて実施した発掘中、特に成果が得られたのは、武蔵国分二寺の寺院地および伽藍地に関する知見、僧寺僧坊跡の発掘による規模確認、東山道武蔵路の調査所見であった。

二寺の寺院地については、すでに南辺においては東の僧寺から西の尼寺に向けて東西方向の溝の存在が推定され、また、僧寺の東辺には南北方向の溝が、同じく北辺においては僧寺の伽藍地溝と重複して東西方向の溝が存在することが知られてきた。これらの溝の掘削設置年代については、南・東・北の各辺における状況より時間差の存在が推定されてきたが、それはポイント把握の連結推定であり、必ずしもライン設定によるものではなく、問題が残されていた。また、僧寺伽藍地をめぐって設置されている溝が、構成堂宇を囲むかのように存在していたか否かの確認も不十分であった。さらに、尼寺伽藍の南方域において南門の未確認の状況に鑑み、その存在区域の推定についての手掛かりが期待されていた。

これら諸問題の解決を意図した発掘の結果、寺院地北辺の区画溝の状態に関する従前認定の再確認、僧寺伽藍地を区画する溝が存在していたことを推定させる所見、尼寺伽藍における南門推定区域についての所見などを得ることが出来た。

僧寺の東僧坊は、一坊3間の桁行15間(45m)の礎石建物であったことが確実となった。かかる規模は、西僧坊(現在、墓地のため未発掘)も同様と推定され、既発掘の尼寺に坊跡の規模とも一致する。出雲国分寺(9×4)より大きく、陸奥国分寺(19×3)より小さな僧坊であったと推定されよう。

武蔵国分二寺の中間に南北方向に設道されていた東山道武蔵路の状態についても知見を得た。台地上における道路側溝は、国分寺崖線の傾斜地と崖下の地点においてはそれが認められず、道路敷設にあたり自然状態によって側溝の存否があったことが明らかにされた。低湿地における道路の敷設にあたって造作がなされていることは、すでに北方域の恋ヶ窪の谷戸通過の事例で知られていたが、国分寺崖線下においても同様な工事が行われたことが推定された。また、武蔵国分僧寺の創建段階における武蔵路は側溝が埋まりかけていたが、武蔵国分寺Ⅱ期においても同様であったかは判断が難しく、その段階で武蔵路が廃絶していたかは未確定となった。これらの点については今後の調査所見を得ることによって解決されていくであろう。

以上の結果については、継続中の武蔵国分僧寺跡の整備に伴う調査の所見ともども、今後とも活用され検討されることになるであろう。

(調査団長 坂詰 秀一)

## 参考文献

- 有吉重蔵 1993「武蔵国分寺の創建期瓦」『考古学ジャーナル』364
- 有吉重蔵 2001「軒先瓦、文字瓦から探る武蔵国分寺」『多摩のあゆみ』103 たましん地域文化財団
- 飯田充晴 1991「埼玉県所沢市東の上遺跡」『日本考古学年報』42 日本考古学協会
- 国分寺市遺跡調査会 1982『武蔵国分寺遺跡調査会年報Ⅱ』
- 国分寺市遺跡調査会 1989『武蔵国分寺跡発掘調査概報XⅣ』
- 国分寺市遺跡調査会 1990『武蔵国分寺跡発掘調査概報XⅥ』
- 国分寺市遺跡調査会 1998『武蔵国分寺跡発掘調査概報XⅩⅡ』
- 国分寺市遺跡調査会 2001『武蔵国分寺跡発掘調査概報25』
- 国分寺市遺跡調査会 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報27』
- 国分寺市遺跡調査会 2003『武蔵国分寺跡発掘調査概報29』
- 国分寺市編纂委員会 1986『国分寺市史上巻』
- 国分寺市教育委員会 1995『武蔵国分尼寺跡Ⅱ 平成5年度発掘調査概報』
- 酒井清治 1987「武蔵国における須恵器年代の再検討」『研究紀要』9、埼玉県立歴史資料館
- 佐原 真 1972「平瓦桶巻き作り」『考古学雑誌』58-2
- 東京都埋蔵文化財センター 2003『武蔵国分寺北方地区-西国分寺地区土地区画整理事業に伴う調査-』
- 西国分寺地区遺跡調査会 1999『日影山遺跡・東山道武蔵路』
- 服部敬史・福田健司 1979「南多摩窯址群出土の須恵器とその編年」『神奈川考古』6
- 福田信夫 1993「武蔵国分寺の規模」『考古学ジャーナル』364
- 福田信夫 1997「武蔵国分寺と古代道路」『古代文化』49-8

# 出土遺物一覽表

## 土器一覧

国産 図録 遺物番号	調査 次数	地別 器種	出土 位置	口縁 高 直径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考	
25-1 11-1 49-F101	49	土 坪	S1140 覆土	(11.0, 0) 3.8 5.2	体部成筒的に立ち上がる。	口縁部内面滑ナデ。体部外面 下平指順成あり。底部手持ち ヘラ削り整形。	遺存成1/3。黄褐色。やや軟質。雲母微量 混入。内面口縁部厚付着。	
25-2 11-2 49-F102	49	土 坪	S1140 覆土	(14.8) (5.7)	口縁コの字状。	口縁部ナデ。体部外面上部、 横位のヘラ削り整形。	遺存成口縁部1/4残存。褐色色。砂粒や や多数混入。	
25-3 11-3 213-F101	213	土 坪	S1330 床直	— (3.6)	— (5.9)	体部下平や内湾気味な立ち上 がり。	体部外面下平・底部手持ちへ ラ削り。内面全面ヘラ磨き。	遺存成底部へ胴部下半1/3。暗黄褐色へ 黒褐色。やや軟質。雲母少量混入。内面 黒色処理。
25-4 11-4 213-F102	213	土 壺	S1335 カマド内	(19.6) (6.1)	口縁コの字状。	口縁部横ナデ。体部外面上部 横位ヘラ削り整形。	遺存成口縁部2/5残存。明褐色。雲母微 量混入。	
25-5 11-5 213-F103	213	土 壺	S1330 カマド内	24.8 (21.4)	口縁コの字状。最大径は胴 部上半にあるが磨りはやや 割い。	口縁部外面横ナデ。口縁へ体 部外面面滑ナデ・押しさへ。 体部外面上へ下平横位のヘラ	口縁へ胴部1/6欠損。褐色へ暗褐色。や や軟質。雲母微量混入。体部外面保存着。	
25-6 11-6 213-F104	213	土 壺	S1335 カマド内	18.8 (24.0)	口縁コの字状。最大径は胴 部上半にある。	口縁部横ナデ。体部外面斜位 ヘラ削り。	1/5欠損。褐色。やや軟質。砂粒少量混 入。胴部外面上平保存着。	
25-8 11-8 303-F101	303	土 壺	S1338 床直	(20.5) 27.4 5.0	口縁ややコの字状。最大径は 胴部上半にあるが磨りはや や割い。	口縁へ体部内面滑ナデ。口 縁へ体部外面滑ナデ・押しさ へ。体部下平横位のヘラ削	1/4欠損。褐色へ暗褐色。やや軟質。雲 母微量混入。胴部外面保存着。	
25-7 11-7 414-F101	414	土 坪	SK1646 覆土	(2.7) 6.7	体部下平や内湾気味な立ち上 がり。	口縁コ調整。体部外面下平及 び底部回転へラ削り整形。	遺存成体部へ底部1/3。薄黄褐色。軟 質。砂粒微量混入。	
26-1 11-6 19-F101	19	灰 A 壺	S027 覆土	16.6 2.9 7.3	体部成筒的に立ち上がり、 口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	口縁部1部欠損。灰色色。硬質。砂粒微量 混入。	
26-2 11-7 19-F102	19	灰 A 坪	SK131 覆土	13.0 4.1 5.0	体部成筒的に立ち上がり、 口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	完形。灰色色。硬質。粘土混入。	
26-3 11-8 49-F101	49	灰 A 坪	S1140 覆土	(13.4) 5.6 5.8	体部下平や内湾気味な立ち上 がり。口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁部横ヘラ削り。	遺存成2/3。灰色。白色粒子・海綿骨針 やや多数混入。	
26-4 11-10 49-F102	49	灰 A 坪	S1140 覆土	(12.0) 5.6 (6.8)	体部下平や内湾気味な立ち上 がり。口縁部やや外反。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	遺存成1/2。灰色。白色粒子やや多数混 入。	
26-5 11-11 49-F103	49	灰 A 坪	S1140 覆土	(12.0) 3.9 (5.6)	体部下平や内湾気味な立ち上 がり。	ロクロ調整。底部回転系切り 後無調整。	遺存成1/6。灰白色。やや軟質。海綿骨 針少量混入。	
26-6 11-9 49-F104	49	灰 A 壺	遺構外	(31.4) (13.6)	口縁部成筒的に立ち上り、 口縁部外反。	ロクロ調整。口縁部強くナ デ。	高台厚底部へ胴部1/7。暗褐色へ赤褐 色。胴部外面降伏状。	
26-7 11-12 49-F105	49	灰 A 壺	遺構外	18.7 4.7	天井部へ口縁部まで内湾気 味。歪んでいる。	内外面ともロクロ調整。そ の後天井部ヘラ削り。	遺存成3/4。灰色。白色粒子・海綿骨針 やや多数混入。内面全面降伏状。	
26-8 11-13 182-F101	182	灰 A 坪	S1313 覆土	— (3.1) 5.7	体部下平や内湾気味な立ち 上がり。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。底部回転へラ削 り整形。高台貼り付け。	遺存成底部へ体部下平。暗灰色・硬質。 粘土混入。	
26-9 11-14 182-F102	182	灰 A 坪	S1313 覆土	— (1.2) (8.0)	—	—	遺存成底部1/2。暗灰色。やや軟質。 海綿骨針少量混入。	
26-10 11-15 182-F103	182	灰 A 坪	S0178 覆土	— (2.3) (7.0)	—	—	遺存成底部1/6。暗灰色。やや軟質。 海綿骨針少量混入。	
26-11 12-1 182-F104	182	灰 A 壺	S0178 覆土	— (2.3) (5.0)	体部下平や内湾気味な立ち 上がり。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存成高台部1/5。暗赤褐色。硬質。粘 土混入。	
27-1 12-2 213-F101	213	灰 A 坪	S1330 床直	14.0 8.8 6.2	体部下平や内湾気味。口 縁部やや外平。高台部への 字状に広がる。断面形は角形	ロクロ調整。高台貼り付け。	口縁1/6欠損。灰色。硬質。粗砂粒多数 混入。	
27-2 12-3 213-F102	213	灰 A 壺	S1335 カマド内	(12.6) 3.0 6.7	体部下平や内湾気味。口 縁部外平。高台部への字状 に広がる。断面形は角形。	ロクロ調整。高台貼り付け。	遺存成1/4。灰赤褐色。軟質。粗砂粒や や多数混入。	
27-3 12-4 213-F103	213	灰 A 坪	SK840 覆土	12.6 3.6 6.9	体部下平や内湾気味に立ち 上がり。口縁部やや外平。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁部へラ削り整形。	完形。灰色色。硬質。粘土混入。	
27-4 12-5 213-F104	213	灰 A 坪	SK840 覆土	12.5 3.6 7.4	体部下平や内湾気味に立ち上 がる。	ロクロ調整。底部回転系切り 後、周縁部へラ削り整形。	完形。灰色色。硬質。粘土混入。	



調査 区画 位置 番号	調査 次数	種別 器種	出土 位置	口徑 高さ 底径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
27-5 12-6 213-FK05	213	須 A	SK840 覆土	14.2 3.8 8.4	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後周縁へテ削り整形。	口縁～体部1/6欠損。灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。
27-8 12-7 213-FK06	213	須 A	SK840 覆土	13.0 3.9 7.2	体部やや内湾気味に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後周縁へテ削り整形。	口縁～体部1/4欠損。灰白色。硬質。粘土層状。底部外周部黒山あり。
27-7 12-8 213-FK07	213	須 A	SK840 覆土	12.8 3.8 7.1	体部やや内湾気味に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後周縁へテ削り整形。	口縁部1/3欠損。灰色。硬質。海綿骨針多量混入。
27-8 12-9 213-FK08	213	須 A	SK840 覆土	12.4 3.7 7.7	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後周縁へテ削り整形。	口縁1/8欠損。暗灰色～薄赤褐色。硬質。粘土層状。
27-9 12-10 278-FK02	278	須 B	SI375 深底	— (5.6) 7.3	体部下内湾気味に立ち上がり。高台部への字状に広がる。高台部断面角形。	口口調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	口縁部欠損。淡黄褐色。やや軟質。砂粒微量混入。
27-10 12-11 278-FK03	278	須 B	SI375 覆土	— (6.0) 6.6	体部内湾気味に立ち上がり。高台部への字状に広がる。高台部断面角形。	口口調整。底部回転糸切り後高台貼り付け。	体部～底部2/3。黄褐色。やや軟質。砂粒微量混入。
27-11 12-12 281-FK01	281	須 B	SD23 覆土	(11.2) 4.2 6.2	体部内湾気味に立ち上がり。口縁部外反する。	口口調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。暗灰褐色。硬質。粘土層状。
28-1 13-1 281-FK02	281	須 A	SD23 覆土	(12.5) 3.9 5.2	体部内湾気味に立ち上がり。口縁部外反する。	口口調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰白色。硬質。砂粒微量混入。
28-2 13-2 281-FK03	281	須 A	SD23 覆土	12.5 3.8 5.8	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度1/2。灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。煤片付。
28-3 13-3 281-FK04	281	須 A	SD23 覆土	(16.2) 8.3 7.6	体部内湾気味に立ち上がり。口縁部やや外反する。高台の断面形は角形。	口口調整。底部糸切り後高台貼り付け。	遺存度1/4。硬質。粗砂粒少量混入。
28-4 14-8 303-FK01	303	須 B	SI396 覆土	(11.5) 3.1 (5.8)	体部内湾気味に立ち上がり。口縁部やや外反する。	口口調整。	遺存度1/4。軟質。粘土層状。黒炭(豆二上)。
28-5 14-9 303-FK02	303	須 B	SI396 覆土	— (1.9) (7.6)	体部下平直線的に立ち上がる。	口口調整。底部糸切り後無調整。	底部1/2残存。薄褐色。砂粒少量混入。底部黒炭1層1?
28-6 14-10 303-FK03	303	須 A	遺構外	— (1.7) 5.4	体部下やや内湾気味に立ち上がる。	口口調整。底部糸切り後無調整。	底部のみ残存。灰色。硬質。粘土層状。底部黒炭1層1?
28-7 13-4 414-FK01	414	須 A	SD26 覆土	(13.2) 4.3 5.4	体部内湾気味に立ち上がり。口縁部外反する。	口口調整。底部糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰白色。硬質。砂粒微量混入。
28-8 13-5 414-FK02	414	須 A	SD26 覆土	12.4 4.4 4.7	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度2/3。灰白色～暗褐色。やや硬質。砂粒やや多量混入。
28-9 13-6 414-FK03	414	須 B	SD26 覆土	12.7 4.4 4.5	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	ほぼ完形。暗褐色。やや硬質。砂粒少量混入。
28-10 13-7 414-FK04	414	須 B	SD26 覆土	12.5 4.2 4.7	体部直線的に立ち上がる。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	体部～口縁部4/5。暗褐色。硬質。砂粒少量混入。
28-11 13-8 414-FK05	414	須 B	SD26 覆土	11.7 4.5 4.1	体部若干内湾した立ち上がり。体部下半に砂がみあり。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	口縁部1/5欠損。暗褐色～暗褐色。硬質。砂粒微量混入。
28-12 13-9 414-FK06	414	須 B	SD26 覆土	(12.7) 3.4 (4.2)	体部若干内湾した立ち上がり。口縁部外反する。	口口調整。底部回転糸切り後無調整。	遺存度1/4。暗褐色。硬質。粘土層状。底部内面煤片付。
28-13 13-10 438-FK01	438	須 A	SP10 P-4	(6.1)	頸部外半湾気味に立ち上がる。	口口調整。	頸部片。暗灰色～明灰色。硬質。砂粒少量混入。内外面降灰状。
28-14 13-11 438-FK02	438	須 A	SP10 P-5	(2.0)	—	—	体部内外面テラ調整。
28-15 — 438-FK03	438	須 A	SP10 P-5	(2.2)	—	—	体部内外面テラ調整。
29-1 13-12 438-FK04	438	須 A	SP10 P-5	— 3.3 (10.6)	高台部への字状に広がる。断面形は角形。	口口調整。高台貼り付け。	遺存度底部1/10。灰白色～灰色。砂粒少量混入。硬質。
29-2 13-13 438-FK05	438	須 A	SP10 P-5	— (2.7) (10.0)	高台部断面形は角形。	口口調整。高台貼り付け。	遺存度底部1/6。赤褐色～灰白色。硬質。粗砂粒やや多量混入。外面降灰状。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	種別 種別	出土 位置	口径 容高 底径	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
29-3 — 458-PE06	438	遺構外 — —	— — —	(10.4) — —	—	—	—
29-4 13-14 213-PI01	213	土師質 高台付 杯	SI330 床直	14.0 6.5 9.4	体部直線的に立ち上がり 口縁外反。高台部断面形は丸 みを帯びた角形。	口タロ調整。口縁部肥厚。高 台貼り付け。	口縁～高台部一部欠損。褐色色。やや 硬質。粗砂粒少量混入。
29-6 13-15 213-PI02	213	土師質 高台付 杯	SI330 床直	13.8 4.2 6.0	体部直線的な立ち上がり。	口タロ調整。底部回転糸切り 後無調整。	口縁一部欠損。褐色。やや硬質。底部筋 盤混入。
29-6 13-16 265-PI03	265	土師質 高台付 杯	— — —	13.0 2.3 6.2	体部外反して立ち上がる。	口タロ調整。底部回転糸切り 後無調整。	口縁部1/4欠損。褐色。やや軟質。胎土 粗密。
29-7 14-1 414-PI01	414	土師質 高台付 杯	SD26 覆土	— (1.8) (8.2)	高台部への字状に広がる。 断面形は角形。	口タロ調整。	遺存度高台部の1/2。薄黄褐色。やや 軟質。胎土粗密。
29-8 14-2 414-PI02	414	土師質 高台付 杯	— — —	(14.2) 5.3 (7.6)	体部直線的な立ち上がり。 高台部は断面形は三角形。	口タロ調整。底部回転糸切り 後高台貼り付け。	遺存度2/3。桃褐色。やや軟質。
29-9 14-3 210-PN01	210	灰 高台付 杯	SD46 覆土	— (10.8) (3.1)	頸部直線的な立ち上がり。 口縁部強く外反。	口タロ調整。	遺存度口縁～頸部上半1/7。灰白色。や や硬質。胎土粗密。口縁内面陥凹。
29-10 14-4 213-PN01	213	灰 高台付 杯	SI330 床直	(13.2) 4.1 6.6	体部内湾気味に立ち上がり。 口縁部若干外反。高台部 断面形は半月形。	口タロ調整。底部回転糸切り 後高台貼り付け。	遺存度2/3。灰白色。硬質。胎土粗密。
29-11 14-5 265-PN02	265	灰 高台付 杯	— — —	— (2.2) (10.0)	高台部の断面形は半月形。 口縁部外反。	口タロ調整。底部回転糸切り 後高台貼り付け。	胎部～体部下半1/6残存。灰白色。硬 質。胎土粗密。体部内面陥凹。
29-12 14-6 390-PN01	390	灰 高台付 杯	SD34 覆土	(11.0) (2.1)	—	口タロ調整。	口縁部1/6残存。灰白色。硬質。胎土粗 密。内外面陥凹。
29-13 — 213-PI01	213	線輪 高台付 杯	— — —	(1.0) — —	—	口タロ調整。高台貼り付け。	遺存度1/10。灰白色。輪周黄褐色。内 外面陥凹。底部内面凹窪文様あり。
29-14 14-7 303-PI01	303	線輪 高台付 杯	SI391	— (1.6) 7.4	高台部の断面形は角形。	口タロ調整。高台貼り付け。	遺存度底部のみ。暗灰色。輪周黄褐色。 内外面陥凹。硬質。

種一覽

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	直径	内区				外区				全長	備考		
				中房 形態	溝子数	弁区幅 弁幅	弁数 弁形	幅	内縁 幅	外縁 幅	高			文様	
30-1 — 19-KA01	19	SD27 覆土	(7.7)	7.2 A1	—	(4.7) 3.3	(1) SC	1.8	—	—	—	a	(8.4)	技法B-II。黄灰白色～暗褐色。 やや軟質。粗砂粒少量混入。 瓦当裏面ヘラナデ。瓦当裏面ナデ。	
30-2 15-1 19-KA04	19	遺構外	(6.4)	—	—	(3.7) 2.8	(1) SC	2.1	0.7	a	1.4	(0.7)	—	(4.4)	灰白色～黄灰白色。軟質。輪周 骨針微量混入。瓦当側面・瓦当 裏面ヘラナデ。
30-3 15-2 117-KA01	117	遺構外	(6.7)	(2.8) B1	—	(3.3) (1.7)	(2) SR	—	—	—	—	—	—	(1.8)	黄褐色。軟質。粗砂粒少量混 入。瓦当裏面ナデ。
30-4 15-3 213-KA01	213	SD136 覆土	(10.7)	(3.5) B1	(4)	(7.7) (3.0)	(2) SC	2.9	0.6	a	1.8	0.9	a	(2.6)	明灰色。硬質。胎土粗密。瓦当 裏面ナデ。
30-5 — 265-KA01	265	遺構外	(9.0)	(2.4) B1	(1)	(5.9) 3.7	(1) SC	2.8	1.0	a	1.7	(1.0)	a	(8.6)	灰色～暗黄褐色。粗砂粒少量混 入。瓦当裏面ナデ。
30-6 — 265-KA03	265	遺構外	(7.6)	(4.3) B1	(2)	(7.6) (3.7)	(1) SC	—	—	—	—	—	—	(2.1)	灰赤褐色。硬質。胎土粗密。瓦 当裏面ナデ。
31-1 — 278-KA01	278	SD169 覆土	(5.2) B1	(3)	(9.5) (3.9)	(2) SC	2.9	0.9	a	1.9	1.0	a	(2.3)	灰色～暗赤褐色。硬質。胎土粗 密。瓦当裏面ナデ。	
30-7 15-6 281-KA01	281	SD23 覆土	20.2	6.1 A1	—	16.8 3.7	8 SC	2.7	0.8	a	1.8	0.5	a	(3.6)	技法C-I。硬質。粗砂粒・薄 砂骨針少量混入。瓦当外縁・側 面ヘラナデ。胎部上開介が推定さ れる。
30-8 15-6 281-KA02	281	SD2 覆土	19.7	5.0 A1	1+5	15.5 3.8	8 SC	2.3	0.8	a	1.4	1.7	a	(3.5)	技法C-I。硬質。輪周骨針不 少の量混入。瓦当外縁・側面ヘ ラナデ。胎部上開介が推定さ れる。
31-2 15-7 281-KA03	281	SD72 覆土	(17.5)	(7.2) A1	—	(17.0) 4.0	(5) SC	—	—	—	—	—	—	(9.9)	技法B-II。硬質。粗砂粒少量混 入。瓦当側面ヘラナデ。瓦当裏 面ナデ。

国庫 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	直径	内区				外区					全長	備考	
				中径 形態	弁区 形態	弁区 幅	弁区 厚	幅	内縁		外縁				
									幅	文様	幅	高さ			文様
31-3 15-4 281-KA01	281	S072 覆土	(9.8)	(1.5) A1	(1)	(4.6) 3.1	(3) SC	-	-	-	-	-	(2.2)	暗褐色～黄灰白色。やや軟質。 海綿骨針少量混入。	
31-5 15-8 281-KA05	281	遺構外	(10.2)	(1.2) A1	-	(8.7) 6.9	(4) T	1.3	-	-	-	1.1	a	(2.3)	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。互当外縁・側面へラ削り。互当裏面ナシ。
31-4 15-9 281-KA06	281	遺構外	(8.9)	-	-	(6.8) 3.1	(2) SC?	1.9	0.4	a	1.5	-	-	(4.6)	灰色～暗赤褐色。やや硬質。海綿骨針やや多量混入。互当側面へラ削り。
31-7 - 281-KA07	281	遺構外	(7.9)	-	-	(4.1) (3.9)	(1) SC	(2.1)	(0.8)	-	(1.3)	-	-	(7.8)	黄灰白色。軟質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。互当側面・裏面へラ削り。
31-6 - 281-KA08	281	遺構外	(4.4)	-	-	(3.7)	(1) SB	-	-	-	-	-	-	(1.8)	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。互当裏面へラ削り。
31-8 - 303-KA01	303	S1391 覆土	(8.0)	-	-	(6.3) (5.1)	(1) SA	-	-	-	-	-	-	(2.9)	灰色。硬質。砂粒少量混入。互当裏面隅叩き痕あり。
32-1 16-1 303-KA02	303	S023 覆土	(16.5)	7.1 A1	-	(14.6) 3.4	(7) SC	2.1	0.2	a	1.5	(0.7)	-	(7.8)	注法B-II。暗褐色～黄灰白色。やや軟質。海綿骨針微量混入。互当側面へラ削り。裏面ナシ。
32-2 - 303-KA03	303	S023 覆土	(6.6)	-	-	(3.8) (3.8)	(1) SC	(2.8)	1.0	a	(1.8)	-	-	(2.4)	暗褐色～灰色。砂粒少量混入。
32-3 - 303-KA04	303	S023 覆土	(5.4)	-	-	(4.5) 3.5	(2) SC	-	-	-	-	-	-	(2.4)	明灰色。硬質。砂粒やや多く混入。
32-4 - 303-KA06	303	S023 覆土	(5.0)	-	-	(2.4) (2.8)	(1) SC	3.0	1.0	a	2.0	1.0	a	(6.0)	灰色。硬質。胎土緻密。互当面降灰痕。
32-5 16-2 303-KA06	303	遺構外	(9.3)	(1.8) B1	(3)?	(7.7) 3.3	(3) SA	0.9	-	-	-	0.7	a	(2.3)	暗赤褐色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。互当裏面隅叩き痕ナシ。
32-6 - 303-KA10	303	遺構外	(11.3)	(2.5) B1	(1)	(11.3) (3.9)	(2) SC	-	-	-	-	-	-	(2.1)	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。互当裏面隅叩き痕あり。
32-7 - 303-KA11	303	遺構外	(6.1)	-	-	(3.7) (3.1)	(1) SC	1.8	-	-	-	1.3	a	(3.3)	暗褐色～橙色。軟質。砂粒少量混入。互当外縁・側面へラ削り。
32-8 - 303-KA12	303	遺構外	(6.8)	(1.0) B1	-	(6.2) 2.8	(1) SA	-	-	-	-	-	-	(2.0)	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。互当側面・裏面へラ削り。
32-9 16-3 303-KA13	303	遺構外	(15.6)	5.9 B1	1+(3)	12.9 2.6	(3) SA	1.8	-	-	-	1.3	a	(3.9)	灰色。硬質。砂粒少量混入。互当外縁・側面・裏面隅叩き痕あり。
32-10 16-4 303-KA15	303	遺構外	(7.9)	-	-	(5.1) 2.4	(3) SC	2.3	0.8	a	1.8	0.6	a	(2.8)	暗灰色～暗赤褐色。やや硬質。粗砂粒少量混入。
33-1 - 303-KA18	303	遺構外	(8.3)	-	-	(3.2) 3.8	(1) SC	1.8	0.6	a	1.2	(1.1)	-	(2.8)	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。互当側面・裏面へラ削り。
33-2 - 303-KA17	303	遺構外	(6.5)	-	-	(3.2) 3.6	(1) SC	2.4	0.8	a	1.9	1.4	a	(2.9)	黄灰白色。軟質。粗砂粒やや多量混入。互当側面・裏面へラ削り。
33-3 - 303-KA19	303	遺構外	(2.4)	-	-	(2.2) (2.9)	(1) SB	-	-	-	-	-	-	(1.9)	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。
33-4 16-5 414-KA01	414	SK1546 覆土	(11.4)	(4.8) B1	1+(2)	(9.1) 4.6	(2) SC	2.0	0.7	a	1.3	1.1	a	(2.8)	灰色～暗赤褐色。硬質。砂粒少量混入。互当側面へラ削り。互当裏面隅叩き痕あり。

宇瓦一覽

国庫 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	上・下 笠瓦幅 弧径	厚さ	内区		外区				全長	備考			
					厚さ	文様	上		下						
							厚さ	文様	厚さ	文様					
33-5 17-1 19-KD01	19	S027 覆土	(6.6) (7.0) (0.8)	6.4	3.5	HK	1.5	a	1.4	a	1.4	a	0.4	(7.0)	注法D。頸の形態C-1。頸面傾位置印さ (L11本)。灰黄白色。やや軟質。砂粒少量混入。
33-7 17-2 19-KD02	19	SK130 覆土	(12.9) (13.5) (2.8)	3.7	2.5	HK	0.6	a	0.6	a	1.3	a	0.1	(24.0)	注法D。頸の形態S2-a。頸面傾位置印さ 灰色。硬質。胎土緻密。布目27×28

国産 産地 遺物番号	調査 次数	出土 位置	上・下 法層編 号	厚さ	内区		外区				編区	文様 深さ	全長	備考		
					厚さ	文様	上		下							
							厚さ	文様	厚さ	文様						
33-6 19-KB03	19	SX1 覆土	(4.8)	(3.8)	(2.4)	KK	-	-	1.0	a	-	-	0.2	(7.1)	前面・女瓦凸面斜格子叩き。灰色～暗灰色。硬質。砂粒少量混入。	
34-1 19-KB04	19	遺構外	(6.6) (10.0) (1.0)	(2.8)	(1.3)	KK	1.0	a	-	-	(1.7)	a	0.4	(10.0)	技法D。頸の形態C1-a。前面・女瓦凸面縦位置叩き(1.7本)。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒少量混入。	
34-2 19-KB06	19	遺構外	(5.6)	(3.1)	(1.5)	KK	-	-	1.4	b	-	-	0.3	(4.3)	技法D?頸面へう削り。灰黄白色。硬質。砂粒少量混入。	
34-3 17-3 213-KB01	213	S1330 カマド	(14.6) (14.8) (3.0)	5.8	3.5	HK	1.0	a	1.3	a	1.2	a	0.3	(11.2)	技法D。頸の形態C1-c。頸面縦位置叩き(1.6本)。灰黄白色。やや軟質。粗砂粒やや多量混入。	
34-4 213-KB02	213	S1335 覆土	(8.5) (11.8) (1.5)	6.3	3.0	KK	1.5	a	1.6	a	(3.0)	-	0.2	(8.5)	技法D。頸の形態C1-a。前面・瓦当裏面へう削り。灰色。やや硬質。粘土混雜。布目23×24	
34-6 283-KB01	283	遺構外	(5.4) (5.8) (0.5)	4.5	2.9	KK	-	-	1.2	a	-	-	0.3	(10.2)	技法D。頸の形態B1-a。前面・女瓦凸面縦位置叩き(1.9本)。暗灰色。硬質。砂粒少量混入。布目23×28。	
34-5 17-5 281-KB01	281	遺構外	(4.7) (4.0)	(3.1)	-	3G	-	-	-	-	-	-	-	0.5	(7.5)	技法D。頸の形態B1-a。灰色。硬質。砂粒少量混入。
34-7 303-KB01	303	S1392 覆土	(10.2) (12.0) (1.0)	5.0	3.1	HK	0.8	a	0.8	a	0.6	a	0.6	(10.7)	技法B?頸の形態B2-a。頸面へう削り。やや軟質。黄褐色～薄赤褐色。砂粒少量混入。布目23×20。	
34-8 17-4 303-KB05	303	S1396 覆土	(6.5) (7.7) (1.4)	5.1	3.6	HK	0.9	a	0.6	a	1.2	a	0.5	(8.4)	技法D。頸の形態C2-a。灰色。硬質。砂粒やや多量混入。	
34-9 17-6 303-KB03	303	SD23 覆土	(15.1) (15.1) (4.6)	(4.6)	(4.6)	HK	-	-	-	-	(0.8)	-	0.3	(11.3)	技法B?女瓦凸面へう削り。灰色。硬質。海綿骨針やや多量混入。	
34-10 303-KB04	303	SD23 覆土	-	(3.3)	(3.2)	KK	-	-	-	-	-	-	-	0.3	(16.2)	硬質。灰白色。粗砂粒少量混入。
35-1 16-6 303-KB05	303	SX388 覆土	(23.5) (28.0) (4.5)	5.7	4.4	HK	0.5	a	0.6	a	1.0	a	0.1	36.5	技法D?頸の形態C1-a。灰色～灰白色。硬質。砂粒少量混入。女瓦凸面へう削り文字「部」あり。	
35-2 17-7 303-KB06	303	遺構外	(10.3) (11.3) (1.2)	(4.6)	2.8	KK	(6.9)	b	1.0	b	2.0	a	-	(8.0)	技法B。頸の形態C1-a。黄灰色。やや軟質。粗砂粒少量混入。女瓦凸面縦位置叩き(1.7本)。	
35-3 303-KB07	303	遺構外	(11.3) -	(2.1)	(1.1)	HK	0.4	a	-	-	-	-	-	0.4	(7.9)	技法D?硬質。暗灰色～灰色。粗砂粒多量混入。
35-4 303-KB08	303	遺構外	(5.6)	(3.3)	(1.6)	HK	-	-	1.4	a	-	-	-	0.5	(4.5)	技法D?頸の形態B3-a?頸面縦位置叩き(1.1本)。硬質。暗灰色。粗砂粒やや多量混入。布目23×28。
35-5 17-8 303-KB09	303	遺構外	(9.7) (10.8) (2.5)	6.7	3.5	HK	1.6	a	1.5	a	2.5	a	0.6	(21.5)	技法D。頸の形態B3-b。前面・女瓦凸面縦位置叩き(1.0本)。硬質。暗灰色～暗赤褐色。粗砂粒やや多量混入。布目29×30。	
35-6 303-KB10	303	遺構外	(9.8) (0.5)	(2.9)	(2.0)	HK	0.6	a	-	-	-	-	-	0.4	(18.8)	技法D?頸裏面へ薄層褐色。軟質。粘土混雜。布目25×25。
35-7 303-KB11	303	遺構外	(3.8) (5.8) -	5.7	3.3	SK	1.7	-	1.2	-	1.0	-	0.3	(5.6)	技法B?頸の形態B2。灰白色。硬質。砂粒多量混入。	
35-1 303-KB12	303	遺構外	(10.7) (11.0) (1.5)	5.1	3.8	HK	0.8	a	0.7	a	0.9	a	0.4	(10.8)	技法B?頸の形態B2-a。前面・女瓦へう削り。硬質。灰色。砂粒・海綿骨針少量混入。	
35-2 17-9 303-KB13	303	遺構外	(19.6) (18.5) (1.7)	5.1	2.9	KK	0.9	a	0.9	a	1.0	a	0.4	(8.1)	技法D。頸の形態B3-a。前面へう削り。硬質。暗灰色。自然結着。海綿骨針少量混入。布目23×25。	
35-3 303-KB14	303	遺構外	-	(3.5)	(3.5)	HK	-	-	-	-	-	-	-	(6.1)	技法D?硬質。暗灰色。粗砂粒多量混入。海綿骨針少量混入。	
35-4 303-KB15	303	遺構外	(7.4) (8.6) (1.0)	8.0	4.0	HK	0.5	a	0.5	a	0.5	a	0.4	(12.7)	技法D。頸の形態C1-a。前面・女瓦凸面縦位置叩きへう削り。硬質。灰色～灰白色。自然結着。砂粒・海綿骨針少量混入。布目23×25。	
35-5 303-KB16	303	遺構外	(14.7) (15.2) (2.3)	4.6	3.4	HK	0.7	a	(6.7)	-	-	-	-	0.3	(15.4)	技法D?頸の形態B2-a。前面・瓦当裏面斜格子叩き。硬質。暗灰色～暗灰色。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。布目24×25。
35-6 17-10 303-KB17	303	遺構外	(9.2) (14.9) (2.6)	6.2	3.8	HK	0.8	a	1.6	a	-	-	0.3	(15.5)	技法D。頸の形態B2-a。前面・女瓦凸面へう削り。女瓦凸面縦位置叩き(1.6本)。硬質。明灰色。砂粒少量混入。	

調査 年度 遺物番号	調査 次数	出土 位置	上・下 張強弱 強弱	厚さ	内区			外区			縁区		文様 濃さ	全長	備考	
					厚さ	文様	上		下		幅	文様				
							厚さ	文様	厚さ	文様						
36-7 17-11 303-KR18	303	遺構外	(8.5) (12.0) (1.2)	(4.0)	3.3	KK	0.6	a	-	a	-	-	0.4	(14.4)	技法D、頸の形態B2-a。顔面へツ削り。女 瓦部斜格子印き。硬質。別灰色。粗砂粒少 量混入。	
36-9 - 303-KR19	303	遺構外	(6.3)	-	5.2	-	KK	-	-	1.1	d	-	d	0.3	(7.0)	技法B7頸の形態B2-a?顔面斜位調印き (L11本)。灰色。硬質。粗砂少量混入。
36-9 - 303-KR20	303	遺構外	(6.9)	-	(3.5)	(2.7)	KK	-	-	0.8	a	-	-	0.2	(5.9)	技法D、頸の形態1-a。顔面・瓦当裏面へ ツ削り。灰色。硬質。粗砂・海綿骨針や中 多量混入。
36-10 - 317-KR01	317	SD12 覆土	(8.0) (9.1) (2.0)	5.2	3.0	KK	1.0	a	1.0	a	1.2	a	a	0.2	(10.8)	技法D、頸の形態B2-a。顔面斜位調印き。 女瓦部斜位調印き(L10本)。灰色。硬質。 粗砂少量混入。布目21×16。
36-11 - 374-KR01	374	遺構外	(8.6) (8.4) (2.5)	(4.0)	(3.2)	KK	0.8	a	-	-	-	3.9	a	0.2	(12.7)	技法D、頸の形態B2-a?顔面全面・瓦当 裏面へツ削り。女瓦部斜位調印き(L7本)。灰 色。硬質。粗砂粒多量混入。布目28×27。

別頁一覽

調査 年度 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狹端 広端 全長	厚さ	成・彫形の特徴							備考
					前面		凸面		端面		備考	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴		
46-1 - 19-KC01	19	SB38 据え方	(13.5)	1.4	-	23×22	-	-	23×22	叩き「唐」 (逆字)。	-	黄褐色。やや軟質。海綿骨針多量混 入。凸面押印文字「唐」(逆字)あ り。
- - 19-KC03	19	SD27 覆土	(10.8) (20.0)	1.2	粘土 板?	24×22	不明朱墨書	-	-	-	-	灰色～灰黄色。硬質。粘土板。面 面不明朱墨書あり。
- - 19-KC06	19	SD27 覆土	(4.1) (19.7)	1.1	粘土板	23×16	狭・側端縁へ ツ削り。不明 朱墨書。	-	狭・側端 面へツ削 り。	狭・側端 面一面へ ツ削り。	狭・側端 面一面へ ツ削り。	技法12-A1。黄灰色。硬質。粗砂粒 少量混入。凹面不明朱墨書あり。
37-1 - 19-KC10	19	SD27 覆土	11.4 23.5 37.0	1.7	粘土板	23×23	広・側端縁へ ツ削り及び面取 り。	-	調印き後へ ツアテ。側端 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	技法13-A1。灰色～灰白色。硬質。 粗砂粒少量混入。凹面に微書文字。 「十一」?あり。
- - 19-KC13	19	SK130 覆土	(10.8)	1.3	粘土 板?	20×23	不明朱墨書	-	-	-	-	灰黄色。やや軟質。海綿骨針少 量混入。凹面不明朱墨書あり。
37-2 - 19-KC15	19	SK130 覆土	(6.0) (27.2)	1.3	粘土板	23×22	へツアテ後(凸面 裏面、狭・側端 縁へツ削り及び面 取り)。	-	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	技法13-A1。灰色～黄灰色。硬質。 粗砂粒少量混入。凹面にへツア テ「上」。不明朱墨書あり。
- - 19-KC16	19	SK131 覆土	(9.9) (12.2)	1.3	-	23×20	不明朱墨書	-	狭・側端 面へツ削 り及び 面取り。	狭・側端 面一面へ ツ削り。	狭・側端 面一面へ ツ削り。	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。 凹面不明朱墨書あり。
46-2 19-8 19-KC17	19	SK131 覆土	(14.4)	1.9	-	21×20	-	-	へツ削 り。	押印「中」。	-	灰色～灰黄色。やや軟質。粗砂粒 少量混入。凸面押印文字「中」あ り。
51-5 - 19-KC18	19	SK131 覆土	(7.3)	1.6	-	18×18	-	-	不明へツ削 り。	不明へツ削 り「口」?	-	灰黄色。やや軟質。粗砂粒少量混 入。凸面不明へツ削文字「口」?あ り。
51-6 21-2 19-KC19	19	SK131 覆土	(10.0)	1.6	-	24×20	へツ削「花」。	へツ削 り。	-	-	-	灰白色。やや軟質。粘土板。凹面 へツ削文字「花」あり。
51-7 - 19-KC20	19	SK131 覆土	(8.7) (13.2)	1.0	-	28×19	-	-	調印き後へ ツ削り。	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	黄褐色。軟質。粗砂粒多量混入。凸 面にへツ削文字「十」あり。
46-3 19-10 19-KC21	19	SK131 覆土	(7.8)	1.6	-	24×20	側端縁へツ削 り及び面取 り。	-	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	灰色～灰白色。やや軟質。海綿骨針 多量混入。凸面押印文字「金」あ り。
51-8 - 19-KC22	19	SK131 覆土	(12.0)	1.7	-	18×16	へツ削文字「 上」。	-	調印き後へ ツ削り。	-	-	灰色～灰黄色。やや軟質。粗砂粒少 量混入。凹面へツ削文字「上」あり。
51-10 - 19-KC23	19	SK131 覆土	(8.0)	1.7	-	20×22	側端縁へツ削 り。	-	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	側端面一 面へツ削 り。	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。 凸面へツ削文字「三」あり。
51-9 - 19-KC34	19	遺構外	(5.6)	1.2	-	23×22	へツ削「久」?	-	-	-	-	灰白色。やや軟質。粗砂粒少量混 入。凹面へツ削文字「久」?あり。
46-4 - 19-KC36	19	遺構外	(7.9)	1.5	-	17×19	-	-	-	不明押印。	-	灰色。やや軟質。海綿骨針やや多量 混入。凸面不明押印あり。
46-5 18-8 19-KC38	19	遺構外	(9.1)	1.3	-	24×18	-	-	-	押印 「上」。	-	灰色～灰白色。やや軟質。海綿骨針 多量混入。

回函 取次 遺物番号	調査 回数	出土 位置	狭径 全長	厚さ	底・彫刻の跡						備考		
					凹面		凸面		彫面				
					面材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴			
46-6 19-KC40	19	遺構外	(5.2) — (7.3)	1.7	—	21×20	—	—	—	金面ヘラ削り	押印「中」	灰白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。狭径面押印文字「中」あり。	
46-7 19-KC41	19	遺構外	(8.3) — (12.2)	1.7	—	21×27	—	—	—	狭径縁ヘラ削り。押印「壺」。	狭径面一面ヘラ削り	黄灰白色。やや軟質。海綿骨針やや多量混入。凸面押印文字「壺」?	
47-10 117-KC01	117	遺構外	— — (5.2)	1.9	—	(12×15)	—	—	—	不明押印。	—	明質褐色。軟質。粗砂粒少量混入。凸面不明押印あり。	
— 117-KC02	117	遺構外	— — (10.3)	1.9	—	18×21	—	—	—	ヘラ書「高」。	—	灰黄白色。やや軟質。新土層混。凸面ヘラ書文字「高」あり。	
38-2 117-KC03	117	遺構外	— — (10.3)	1.5	—	17×21	—	—	—	赤黒書「寺」。	—	技法13-0の増黄灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面朱書書「寺」?あり。	
51-12 117-KC04	117	遺構外	— — (17.0) — (28.0)	1.6	—	23×23	—	—	—	広・側縁ヘラ削り及び面取り。	全面ヘラ削り。	広・側縁一面ヘラ削り	技法13-A1。灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。凹面にヘラ書
47-12 19-3 117-KC05	117	遺構外	— — (12.7)	1.4	—	17×23	—	—	—	側縁ヘラ削り及び面取り。広縁縁ヘラ削り。	押印「男」。	側縁一面ヘラ削り	技法A1。黄褐色〜暗褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面押印文字「男」あり。
47-11 19-8 278-KC01	278	遺構外	— — (10.0)	1.3	—	24×18	—	—	—	押印「児玉」。	—	—	灰色〜暗灰色。硬質。粗砂粒やや多く含む。凸面押印文字「児玉」あり。
48-2 303-KC02	303	SI391 塚土	— — (4.0)	1.5	—	27×31	—	—	—	押印「壺」。	—	—	灰色〜暗灰色。硬質。海綿骨針やや多量混入。押印文字「壺」あり。
48-3 18-14 303-KC03	303	SI392 塚土	— — (6.6) — (7.1)	2.3	—	16×18	—	—	—	側縁縁一面ヘラ削り及び面取り。	—	押印「父重」。	灰色。やや硬質。粗砂粒・海綿骨針少量混入。
48-4 19-1 303-KC04	303	SD23 塚土	— — (16.9)	1.6	—	28×32	—	—	—	側縁縁一面ヘラ削り及び面取り。	ヘラ削り。押印「壺」。	側縁一面ヘラ削り	薄黄褐色〜暗褐色。砂粒・海綿骨針やや多量混入。凸面押印文字「壺」あり。
48-5 18-11 303-KC05	303	SD23 塚土	— — (6.2) — (7.9)	2.0	—	27×30	—	—	—	狭・側縁縁ヘラ削り。	ヘラ削り。押印「壺」。	狭・側縁一面ヘラ削り	灰黄白色。やや軟質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面押印文字「壺」あり。
38-1 303-KC06	303	SD23 塚土	10.6 — 19.0 — 38.9	1.5	—	23×17	—	—	—	広・側縁縁ヘラ削り及び面取り。	広・側縁縁ヘラ削り。	狭・広・側縁縁一面ヘラ削り	技法13-A1。黄褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面ヘラ書文字「大山」あり。
52-3 303-KC07	303	SD23 塚土	— — (8.0) — (20.2)	1.5	—	16×19	—	—	—	広・側縁縁ヘラ削り及び面取り。	—	側縁縁一面ヘラ削り	技法12-A1。灰白色〜黄褐色。やや軟質。砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「壺」あり。
52-4 303-KC08	303	SD23 塚土	— — (12.2)	1.3	—	21×20	—	—	—	側縁縁一面ヘラ削り及び面取り。	—	側縁縁一面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凸面ヘラ書文字「大口」あり。
48-6 18-1 303-KC09	303	SD23 塚土	— — (7.7)	1.6	—	28×31	—	—	—	押印「壺」。	—	—	灰色。やや硬質。粗砂粒・海綿骨針少量混入。
48-7 18-2 303-KC10	303	SD23 塚土	— — (13.4)	1.5	—	27×30	—	—	—	押印「壺」。	—	側縁縁一面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。
52-5 21-3 303-KC11	303	SI358 塚土	— — (4.2) — (16.6) — (40.2)	2.3	—	30×30	—	—	—	広・側縁縁ヘラ削り及び面取り。	ヘラ削り	広・側縁縁一面ヘラ削り	技法13-A1。灰色。硬質。新土層混。凸面ヘラ書文字「都」あり。
39-1 18-15 303-KC12	303	SK1128	— — 9.8 — 21.0 — 37.4	1.7	—	19×19	—	—	—	側縁縁ヘラ削り及び面取り。	押印「文」。	側縁縁一面ヘラ削り	技法13-A1。灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凸面押印文字「文」あり。
52-6 303-KC13	303	遺構外	— — (11.7)	1.4	—	29×26	—	—	—	ヘラ書「久」。	—	全面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「久」あり。
53-1 303-KC14	303	遺構外	— — (5.0)	1.4	—	28×24	—	—	—	—	—	全面ヘラ削り	灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「立」?あり。
38-3 303-KC15	303	遺構外	— — 6.4 — (24.1)	1.5	—	24×27	—	—	—	側縁縁ヘラ削り及び面取り。	—	側縁縁一面ヘラ削り	技法13-0の赤褐色〜暗褐色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面朱書「寺」あり。
48-9 303-KC16	303	遺構外	— — (5.4)	1.7	—	24×26	—	—	—	—	—	—	灰白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。凸面押印「壺」?あり。
52-7 303-KC18	303	遺構外	— — (8.5)	1.6	—	29×28	—	—	—	—	—	ヘラ書「壺」。	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。凸面ヘラ書文字「壺」あり。

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狹輪 広輪 全長	厚さ	成・形状の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	志目	特徴	凹凸	特徴	特徴	
52-8 303-EC19	303	遺構外	(5.8) (16.2)	1.3	粘土 紐?	21×26	凹輪縁へラ削 り。へラ書 「大」?	-	全面へラ削 り。へラ書 「口」?	狭・側輪 一面へラ 削り。	灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面へ ラ書文字「大」?あり。
303-EC21	303	遺構外	(8.3)	1.9	-	24×21	不明朱墨書。	-	-	-	灰白色。硬質。粘土繊維。凹面不 明朱墨書あり。
52-9 303-EC22	303	遺構外	(5.5)	1.3	-	20×26	-	-	全面へラ削 り。へラ書 「口」?	-	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや 多量混入。凸面へラ書文字「山」?あ り。
50-11 303-EC23	303	遺構外	(5.4) (6.6)	1.8	-	20×23	狭輪縁へラ削 り。	押型	凹輪縁へラ削 り及び海綿 骨針。粗面 文字「口」。	-	淡茶褐色。やや軟質。海綿骨針やや 多量混入。凸面押型文字「大」あ り。
52-11 303-EC27	303	遺構外	(10.6)	1.4	-	29×31	-	-	全面へラ削 り。左側へラ 書「口」。	-	灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや 多量混入。凸面不明へラ書「口」あ り。
53-3 303-EC29	303	遺構外	(3.2) (30.6)	1.5	粘土 板?	21×17	狭・側輪縁へ ラ削り。左側 へラ書「山 口」?	-	全面へラ削 り。	側輪面一 面へラ削 り。	技法12-A1灰色。やや軟質。砂粒 少量混入。凹面不明へラ書文字「山 口」?あり。
52-10 303-EC30	303	遺構外	(5.0)	1.8	-	15×15	-	-	全面へラ削 り。へラ書 「五」?	-	薄緑褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨 針やや多量混入。凸面へラ書「五」? あり。
48-10 18-6 303-EC35	303	遺構外	(9.8) (6.7)	1.9	粘土紐	27×25	-	-	-	押型 「中」?	増褐色〜黄褐色。やや軟質。海綿骨 針少量。砂粒多量混入。
303-EC48	303	遺構外	(6.2)	1.0	-	21×18	不明朱墨書。	-	-	-	増灰色。硬質。粘土繊維。凹面不明 朱墨書。
37-4 303-EC50	303	遺構外	(10.2) (11.3)	2.0	-	-	不明朱墨書。	-	-	-	明灰色。硬質。砂粒やや多量混入。 凹面不明朱墨書。
53-2 303-EC51	303	遺構外	(18.8) (18.1)	2.0	粘土 紐?	23×30	広・側輪縁へ ラ削り。へラ 書「山」?	-	広・側輪 面一面へラ 削り。	-	技法12-A1。灰色。硬質。海綿骨針 多量混入。凸面へラ書文字「入」あ り。
53-4 303-EC54	303	遺構外	(7.7)	1.9	-	19×22	-	-	全面へラ削 り。左側へ ラ書「口」。	-	灰白色。やや軟質。砂粒少量混入。 凸面不明へラ書「口」あり。
50-6 19-2 374-EC01	374	遺構外	(8.5)	2.4	-	21×18	-	-	押型「豊」。	-	黄褐色。軟質。粘土繊維。押型文字「 豊」。
37-3 414-EC01	414	SD26 覆土	9.9 (19.2)	1.5	粘土 板?	22×15	側輪縁へラ削 り。不明朱墨 書。	-	全面薄灰 粉。	側輪面一 面へラ削 り。	技法13-8。灰色。硬質。粘土繊維。 凹面不明朱墨書。

女瓦一覽

図面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狹輪 広輪 全長	厚さ	成・形状の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	志目	特徴	凹凸	特徴	特徴	
39-2 19-KD02	19	SD27 覆土	(13.0) (16.8)	1.8	粘土 板?	39×40	狭・側輪縁へ ラ削り。左側 朱墨書。	異目 18本	狭・側輪 面一面へ ラ削り。	狭・側輪 面一面へ ラ削り。	技法11-8。灰色〜黄灰色。硬質。 粗砂粒やや多量混入。凹面不明朱墨 書あり。
46-9 19-23 19-KD03	19	SD27 覆土	(8.3) (24.6)	2.5	粘土紐	22×24	狭・側輪縁へ ラ削り。押型 「豊」。	異目 11本	側輪面一 面へラ削 り。	押型「豊」。	技法11-A1。灰黄色。やや軟質。 砂粒少量混入。
46-11 18-17 19-KD04	19	SD27 覆土	(7.8) (13.2)	2.7	粘土紐	18×24	側輪縁へラ削 り。押型 「在」。	斜格子	押型文 「在」。	側輪面無 調整。	技法11-A1。灰黄色。やや軟質。 粗砂粒やや多量。凸面押型文字「在」 あり。
39-4 19-KD06	19	SD27 覆土	(11.9) (17.2) 37.2	2.0	粘土板	40×41	狭・側輪縁へ ラ削り。朱墨 書「中」?	異目 18本	側輪縁へラ 削り。	側輪面一 面へラ削 り。	技法11-8。灰白色。やや軟質。粗 砂粒やや多量混入。凹面朱墨書 「中」?あり。
46-8 19-KD06	19	SD27 覆土	(4.5) (16.2)	1.8	粘土 板?	18×24	狭輪縁へラ削 り。押型 「豊」。	異目 13本	-	側輪面一 面へラ削 り。	技法11-8の灰色。硬質。粗砂粒・海 綿骨針やや多量混入。凹面押型文字 「中」あり。
41-4 19-KD07	19	SD27 覆土	(6.8) (33.1)	1.7	粘土紐	29×21	広輪縁へラ削 り。朱墨書 「中」?	異目 13本	-	-	技法11-A1。灰黄色。硬質。粘土 繊維。凹面朱墨書「中」?あり。不明 へラ書あり。
46-10 19-KD08	19	SD27 覆土	(18.8) (20.0)	2.0	粘土板	ナゲ薄 し	押型「那」。	異目 18本	-	側輪面一 面へラ削 り。	技法11-8。灰黄色。やや軟質。 粗砂粒・海綿骨針少量混入。凹面押 型文字「那」あり。
47-7 19-9 19-KD09	19	SD27 覆土	(5.2) (23.4)	2.3	粘土板	33×20	狭・側輪縁へ ラ削り。押型 「那」。	斜格子	-	側輪面一 面へラ削 り。	技法11-8。灰色。硬質。粗砂粒や や多量混入。凹面押型文字「那」あ り。

国産 版取 遺物番号	調査 次数	出土 位置	装束 広端 全長	厚さ	成・形状の特徴						備考
					凹面		凸面		端面		
					素材	寸目	特徴	寸目	特徴	特徴	
40-1 19-KD10	19	Sz27 覆土	(12.9) (15.2) 37.7	2.3	粘土板	26×26	狭・広・側端 縁へラ削り。 不明朱墨書。	罫目 L9本	—	狭・広・ 側端面一 面へラ削	技法目1-R。灰色へ灰質白色。硬質。粗砂少量混入。凹面不明朱墨書あり。
40-4 19-KD11	19	Sz27 覆土	(12.9) (14.2) 36.8	1.8	粘土板	40×40	狭・広・側端 縁へラ削り。 不明朱墨書。	罫目 L14本	—	狭・広・ 側端面一 面へラ削	技法目1-R。灰色へ灰質白色。硬質。粗砂やや多量混入。凹面不明朱墨書あり。凹面不明復書あり。
— 19-KD12	19	Sz27 覆土	(13.1) — (16.6)	2.0	粘土板	23×19	狭・側端縁へ ラ削り。不明 朱墨書。	罫目 L12本	側端縁へラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面へラ削	技法目1-R。灰質白色。硬質。海綿骨針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
— 19-KD13	19	Sz27 覆土	(11.3) — (20.5)	1.8	粘土板	23×18	狭・側端縁へ ラ削り。不明 朱墨書。	罫目 L13本	側端縁へラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面へラ削	技法目1-R。灰質白色。硬質。粗砂多量混入。凹面不明朱墨書あり。
41-1 19-KD14	19	Sz27 覆土	(13.3) — (18.4)	2.1	粘土 板?	40×44	側端縁へラ削 り。不明朱墨 書。	罫 R15本	—	狭・側端 面一面へ ラ削り。	技法目1-A1。明灰色へ黄灰色。硬質。粗砂やや多量混入。凹面不明朱墨書あり。
— 19-KD15	19	Sz27 覆土	— — (18.6)	2.1	粘土板	29×20	側端縁へラ削 り。不明朱墨 書。	罫目 L12本	側端縁へラ 削り。	狭・広・ 側端面一 面へラ削	技法目1-R。灰質白色。硬質。海綿骨針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
41-2 19-KD16	19	Sz27 覆土	— (14.6) (17.9)	2.1	粘土 板?	26×18	広・側端縁へ ラ削り。不明 朱墨書。	罫目 L14本	側端縁へラ 削り。	広・側端 面一面へ ラ削り。	技法目1-1。灰質白色へ明灰色。硬質。粗砂少量混入。凹面不明朱墨書あり。
47-1 19-15 19-KD17	19	SK130 覆土	— — (7.7)	2.0	—	18×23	不明押印。	斜格子	—	—	灰白色。軟質。粘土硬質。凹面不明押印あり。
41-3 19-KD18	19	SK130 覆土	— (7.1) (22.7)	1.7	粘土紐	21×19	側端縁へラ削 り。朱墨書 「X」?	罫目 L12本	側端縁へラ 削り。	広・側端 面一面へ ラ削り。	技法目1-A1。明灰色へ黄灰色。硬質。粘土硬質。凹面朱墨書「X」?あり。
54-10 19-KD19	19	SK130 覆土	— — (9.5)	2.0	—	22×19	模倣「造幣」。	罫目 L10本	側端縁へラ 削り。	側端面一 面へラ削	灰白色。軟質。粘土硬質。凹面模倣文字「造幣」あり。
39-3 19-KD24	19	SK130 覆土	— (14.8) (17.4)	1.8	粘土 板?	21×20	不明朱墨書。	罫目 L13本	—	広・側端 面一面へ ラ削り。	技法目1-B。明灰色へ黄灰色。硬質。粗砂・海綿骨針少量混入。凹面不明朱墨書あり。
40-2 19-KD25	19	SK130 覆土	— — (11.1)	2.0	粘土 板?	26×20	不明朱墨書。	罫目 L8本	—	側端面一 面へラ削	技法目1-1。初灰色。やや軟質。粗砂少量混入。凹面不明朱墨書。不明へラ削りあり。
46-12 19-KD26	19	SK130 覆土	— (14.0) (26.5)	2.2	粘土 板?	22×21	側端縁へラ削 り及び面取 り。押印「地」。	罫目 L9本	—	側端面一 面へラ削	技法目1-1。初灰色。粗砂多量混入。凹面押印文字「地」あり。
41-5 19-KD27	19	SK130 覆土	— (11.9) (21.2)	2.0	粘土 板	23×30	広・側端縁へ ラ削り及び面 取り。	罫目 L8本	—	広・側端 面一面へ ラ削り。	技法目1-B。灰色へ黄褐色。やや軟質。粗砂少量混入。凹面朱墨書「幸」?あり。
47-2 18-10 19-KD28	19	SK130 覆土	— — (7.7)	2.0	—	18×19	押印「地」 「造幣」。	罫目 L13本	—	—	暗赤褐色へ灰色。やや軟質。粗砂・海綿骨針少量混入。凹面押印文字「地」「造幣」。
61-11 21-4 19-KD30	19	SK130 覆土	— — (14.0)	2.1	—	20×23	—	罫目 L9本	へラ書 「造幣」	側端面一 面へラ削	灰色。軟質。粗砂やや多量混入。凹面へラ書文字「本」あり。
47-3 19-KD31	19	SK131 覆土	— — (5.2)	(2.7)	—	—	押印「在」?	—	—	—	技法目1。灰白色。軟質。粗砂やや多量混入。凹面押印文字「在」?あり。
47-4 19-7 19-KD33	19	SK1 覆土	— — (5.1)	2.1	—	—	—	正格子	押印「足 玉」(「造幣」)	—	暗褐色へ黒褐色。やや軟質。海綿骨針少量混入。粗砂多量混入。凹面押印「足玉」(「造幣」)あり。
47-5 19-KD34	19	SK1 覆土	— (7.1) (4.4)	2.3	—	—	—	罫目 L8本	—	側端面押 印「中」	灰白色。軟質。粗砂やや多量混入。凹面へラ書文字「在」あり。
51-13 19-KD36	19	遺構外	— — (6.3)	1.7	—	18×18	へラ書 「造幣」	斜格子	—	—	灰色。軟質。粗砂やや多量混入。凹面へラ書文字「在」あり。
54-11 19-KD39	19	遺構外	— — (7.4)	2.2	—	20×18	不明模倣。	罫目 L12本	—	—	灰褐色。やや軟質。粗砂少量混入。不明模倣文字あり。
47-8 18-18 19-KD40	19	遺構外	— — (9.6)	1.6	—	ナデ直し	押印「在」。	正格子	罫目 L12本	—	灰色。硬質。海綿骨針やや多量混入。凹面押印文字「在」あり。
47-6 18-6 19-KD41	19	遺構外	— — (5.1)	(1.6)	—	24×21	押印「地」。	—	—	—	灰質白色。やや軟質。海綿骨針少量混入。凹面押印文字「地」あり。
28-3 19-KD42	19	遺構外	— — (8.8)	1.7	—	17×16	—	押印	押印文字 「交」	—	灰色。硬質。海綿骨針少量混入。凹面押印文字「交」あり。



調査 遺物 番号	調査 次数	出土 位置	検出 深度 cm	厚さ	成・彫刻の特徴						備考	
					面			凸				
					素材	寸法	特徴	寸法	特徴	特徴		
40-3 — 19-KD44	19	遺構外	(12.9) (18.8)	2.3	粘土板?	24×24	狭・側縁縁ヘラ削り。不彫赤朱書。	罫目 L8本	—	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-B?灰色。硬質。粘土紋 理。面彫不明朱書あり。	
50-8 — 19-KD45	19	遺構外	(10.8)	2.4	粘土 板?	—	—	—	—	押印「文」?	技法Ⅱ1-A1?灰色。硬質。砂粒・海 綿骨針少量混入。凸面押印文字 「文」あり。	
— — 19-KD46	19	遺構外	(5.6)	1.9	—	—	—	—	—	押型 押型文字「 文」。	灰白色。やや軟質。海綿骨針少量混 入。凸面押型文字「文」あり。	
56-1 — 49-KD01	49	S1133 覆土	(15.4)	2.2	—	33×32	横書文字 「上」。	罫目 L11本	—	—	明灰色。やや軟質。砂粒少量混入。 凹面横書文字「中」あり。	
50-16 20-2 49-KD02	49	S1140 覆土	(11.9) (18.3)	2.0	—	20×17	側縁縁ヘラ削り 及びび面取 り。	—	20×17	押型 押型文字 「文」。	側面一 面ヘラ削 り。	黄褐色～淡褐色。軟質。海綿骨針 少量混入。凸面押型文字「文」あ り。
47-9 — 117-KD01	117	SK674 覆土	(8.9)	2.5	—	20×25	側縁縁ヘラ削り。 押印「 書」。	罫目 L8本	—	側面一 面ヘラ削 り。	暗赤褐色～暗灰色。やや硬質。砂 粒・海綿骨針やや多量混入。凹面 押印文字「書」あり。	
47-13 19-8 117-KD02	117	遺構外	(14.7) (32.6)	2.9	粘土板	22×22	押印「 風」。	罫目 L8本	—	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-B。やや軟質。黄灰色。 海綿骨針・砂粒少量混入。凹面押 印文字「書」あり。	
46-1 19-11 117-KD03	117	遺構外	(9.9)	2.1	粘土 板?	ナヅ消 し	側縁縁ヘラ削り 及びび面取 り。	罫目 L10本	—	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-A1。灰色。硬質。砂粒少量 混入。凹面押印文字「上」あり。	
51-15 22-3 117-KD05	117	遺構外	(13.2)	2.8	粘土 板?	25×22	側縁縁ヘラ削り 及びび面取 り。	罫格子	—	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-A1?暗赤褐色。やや硬質。 粘土紋理。凹面にヘラ書文字「 上」?あり。	
— — 210-KD01	210	SD46 覆土	(10.3) (7.6)	2.4	—	18×18	—	—	—	押型 押型文字 「在」。	灰白色。軟質。粗砂粒少量混入。凸 面押型文字「在」あり。	
43-3 — 213-KD01	213	S1235 覆土	(13.6) (13.6)	1.5	粘土板	16×16	横書文字 「上」(逆 字)。	罫目 L12本	—	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	技法Ⅱ1-B。やや軟質。灰白色。砂 粒少量混入。凹面横書文字「上」 (逆字)。(不明朱書あり)	
44-2 21-1 213-KD02	213	S1330 覆土	(15.4) (23.9) 34.8	2.5	粘土板	28×27	狭・広・側 縁縁ヘラ削り。	罫目 L8本	—	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-A1。海綿骨針～薄黄色。 やや軟質。砂粒・海綿骨針やや多 量混入。凹面にヘラ書文字「文」 あり。	
46-1 — 213-KD03	213	S1335 覆土	(12.2) (23.9) 34.8	2.6	粘土板	30×25	狭・側縁縁 ヘラ削り。 ヘラ書「 風」。	罫目 L13本	—	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	技法Ⅱ1-B。灰色。硬質。砂粒やや 多量混入。凹面にヘラ書文字「 書」?あり。	
44-1 — 213-KD04	213	S1330 覆土	26.5 27.5 37.5	2.0	粘土板	21×25	狭・広・側 縁縁ヘラ削り。 横書「上」。	罫目 L9本	—	狭・広・側 縁縁一面 ヘラ削り	技法Ⅱ1-B。黄褐色～暗褐色。硬 質。砂粒少量混入。凹面横書文字 「上」(逆字)。	
56-2 — 263-KD04	263	遺構外	(8.1)	1.7	粘土板	25×24	狭・広・側 縁縁ヘラ削り。 横書「上」。	罫目 L10本	—	—	暗褐色～暗灰色。硬質。やや硬 質。凹面横書文字「上」あり。	
50-9 20-7 283-KD05	263	遺構外	(9.4)	2.0	—	27×24	側縁縁ヘラ削り。	—	27×24	押型 押型文字 「在」。	側面二 面ヘラ削 り。	灰白色。やや軟質。粘土紋理。凸 面押型文字「在」あり。
52-1 — 263-KD06	263	遺構外	(11.2)	2.7	粘土 板?	19×20	不明ヘラ書 「口」。	—	—	正格子	—	灰色。やや硬質。海綿骨針少量混 入。面彫不明ヘラ書文字「口」あり。
— — 263-KD07	263	遺構外	(9.2)	2.6	—	19×20	—	—	—	押型 押型文字 「在」。	—	灰色。硬質。砂粒少量混入。凸面 押型文字「在」あり。
42-1 — 281-KD03	281	SD72 覆土	(7.2) (15.8)	1.8	粘土板	17×17	側縁縁ヘラ削り 及びび面取 り。	罫目 L14本	—	側面一 面ヘラ削 り。	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-B。灰赤褐色～海綿骨針。 やや硬質。砂粒やや多量混入。凹 面不明ヘラ書文字「口」あり。
42-2 17-12 281-KD05	281	SD72 覆土	(8.9) (18.3)	2.3	粘土板	20×27	側縁縁ヘラ削り 及びび面取 り。	罫格子	—	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	技法Ⅱ1-A1。赤褐色。軟質。砂粒多 量混入。
42-3 — 281-KD06	281	SD72 覆土	(12.9) (17.3)	2.5	粘土板	22×19	狭・側縁縁 ヘラ削り。	罫目 L8本	—	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-B。灰白色～黄灰色。やや 硬質。海綿骨針少量混入。
41-6 — 281-KD07	281	SD72 覆土	(13.6)	2.0	粘土板	19×21	側縁縁ヘラ削り。	—	—	正格子	—	技法Ⅱ1-B。灰色～黄灰色。やや硬 質。海綿骨針少量混入。
42-4 — 281-KD08	281	SD72 覆土	(18.0) (11.3)	2.3	粘土板	16×16	不明ヘラ書 「口」。	罫目 L14本	—	狭・側縁 縁一面ヘ ラ削り。	側面一 面ヘラ削 り。	技法Ⅱ1-B。暗灰色。硬質。粗砂粒 少量混入。網目とし。凹面不明 ヘラ書文字「口」あり。
50-10 — 281-KD09	281	遺構外	(6.8) (5.8)	2.0	—	20×24	側縁縁ヘラ削り。	—	—	押型 押型文字 「在」。	側面一 面ヘラ削 り。	灰白色。軟質。砂粒少量混入。凸 面押型文字「在」あり。

国産 取寄品 品番	調主 次数	出土 位置	検出 回数 全数	厚さ	底・彫形の特徴						備考	
					凹面			凸面		海面 特徴		
					裏材	布目	特徴	叩き	特徴			
— — 303-KD03	— — 303	S1391 覆土	— (7.9) (14.7)	2.3	粘土板	—	側端縁ヘラ削り及び面取り	押型	押型文字「在」。	凹面へラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B, 灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。全面凹状縁。凸面押型文字「在」。
48-8 18-16 303-KD04	— — 303	S1392 覆土	— (14.9) (18.4)	2.4	粘土板?	23×17	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り	罫目 L8本	—	狭・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B, 硬質。灰色。砂粒少量混入。凹面押型文字「交」あり。
53-8 21-5 — 303-KD05	— — — 303	SD23 覆土	— (21.5) (24.8) 38.8	2.1	粘土板	26×22	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り	正格子	—	狭・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-A1, 灰色。やや軟質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面へラ書文字「雄」あり。
49-1 — 303-KD06	— — 303	SD23 覆土	— (27.2) (28.5) 36.9	2.2	粘土板?	20×18	狭・広・側端縁ヘラ削り及び面取り	罫目 L10本	—	狭・広・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B? 灰白色。やや軟質。粗砂粒・海綿骨針やや多量混入。凹面押型文字「雄」あり。
49-2 18-13 — 303-KD07	— — — 303	SD23 覆土	— (26.6) (19.4)	2.6	粘土板?	ヘラナデ?	側端縁ヘラ削り。押印「上」。	罫目 L10本	—	広・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B? 暗灰色。硬質。砂粒微量混入。凹面押型文字「前」あり。
53-5 — 303-KD08	— — 303	SD23 覆土	— (—) (14.8)	2.1	粘土板	32×32	不明ヘラ書文字「口」。	罫目 L13本	—	—	—	灰色～暗褐色。硬質。粗砂粒多量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
— — 303-KD09	— — 303	SD23 覆土	— (7.3) (11.1)	2.1	—	—	指ナゲあり。	押型	押型文字「在」。	—	—	暗灰色～暗褐色。硬質。砂粒少量混入。全面凹状縁。凸面押型文字「在」あり。
— — 303-KD10	— — 303	SD23 覆土	— (7.3) (11.1)	1.4	—	29×31	側端縁ヘラ削り及び面取り	押型	押型文字「在」。	狭・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	暗灰色～暗褐色。硬質。粗砂粒多量混入。凸面凹状縁。押型文字「在」あり。
49-2 18-9 — 303-KD11	— — — 303	SD23 覆土	— (18.5) (17.6)	3.2	粘土板?	31×24	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り	正格子	—	広・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B, 灰色。硬質。砂粒少量混入。全面凹状縁。凸面不明ヘラ書文字「口」あり。
— — 303-KD12	— — 303	SD23 覆土	— (16.9) (14.6)	2.6	粘土板	—	狭・側端縁ヘラ削り及び面取り	押型	押型文字「在」。	側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法1? A1, 暗灰色～灰黒褐色。硬質。粗砂粒やや多量混入。全面凹状縁。凸面不明ヘラ書文字「在」あり。
54-1 22-2 — 303-KD13	— — — 303	SD23 覆土	— (16.8) (26.2)	2.6	粘土板	21×20	狭・側端縁ヘラ削り	罫目 L11本	側端縁一面ヘラ削り。凸面不明ヘラ書文字「在」。	狭・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-A1, 灰色。硬質。砂粒少量混入。凸面ヘラ書文字「鳥」あり。
53-7 22-4 — 303-KD14	— — — 303	SD23 覆土	— (6.4) (12.6)	2.8	粘土板	19×22	側端縁ヘラ削り。ヘラ書「多下」。	斜格子	—	—	—	技法目1-A1, 灰色。硬質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「多」あり。
48-11 18-5 — 303-KD15	— — — 303	SX58 覆土	— (—) (18.6)	2.0	—	ナゲ削し。	押印「雄」。	罫目 L10本	—	—	—	暗灰色。硬質。砂粒微量混入。凹面押型文字「雄」あり。
48-12 — 303-KD16	— — 303	遺構外	— (9.0)	2.0	—	ナゲ削し。	押印「中」。	—	—	—	—	技法1? 黄褐色～赤褐色。砂粒少量混入。凹面押型文字「中」あり。
53-8 — 303-KD17	— — 303	遺構外	— (5.6)	2.0	—	29×28	不明ヘラ書「口」。	罫目 L10本	—	—	—	灰色～黄褐色。硬質。砂粒少量混入。凹面不明ヘラ書文字「口」あり。
50-12 28-6 — 303-KD21	— — — 303	遺構外	— (4.7)	1.7	—	—	押型文字「大井」。	—	—	—	—	灰色。硬質。海綿骨針多量混入。凹面押型文字「大井」あり。
54-4 — 303-KD28	— — 303	遺構外	— (7.3)	2.1	—	21×21	ヘラ書「交」。	—	—	—	—	黄灰色。やや軟質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「交」あり。
49-1 18-7 — 303-KD30	— — — 303	遺構外	— (10.9) (8.8)	2.7	—	18×18	側端縁ヘラ削り	罫目 L10本	—	側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	暗灰色～暗赤褐色。硬質。砂粒・海綿骨針多量混入。側面に押型文字「中」あり。
49-5 — 303-KD31	— — 303	遺構外	— (6.7)	2.1	—	19×23	押印「男」。	正格子	—	—	—	暗灰色。硬質。砂粒・海綿骨針少量混入。全面凹状縁。押型文字「男」あり。
54-2 — 303-KD32	— — 303	遺構外	— (6.8)	2.0	—	17×18	ヘラ書「交」。	罫目 L9本	—	—	—	灰白色。やや軟質。砂粒少量混入。凹面ヘラ書文字「交」あり。
50-1 18-4 — 303-KD34	— — — 303	遺構外	— (15.4)	2.6	粘土板?	19×22	側端縁ヘラ削り及び面取り	正格子	—	側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-B, 淡黄灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面押型文字「交」あり。
— — 303-KD35	— — 303	遺構外	— (16.6) (12.7)	3.4	粘土板	21×20	側端縁ヘラ削り及び面取り	押型	押型文字「在」。	狭・側端縁一面ヘラ削り	凹面へラ削り	技法目1-A1, 灰白色。やや軟質。粘土硬質。凸面押型文字「鳥」あり。
55-4 — 303-KD36	— — 303	遺構外	— (15.4)	2.8	粘土板	15×18	横書「十」。不明朱墨痕。	罫目 L11本	—	—	—	技法目1-B, 灰色。硬質。粗砂粒やや多量混入。凹面横書文字「十」。不明朱墨痕あり。
55-6 — 303-KD37	— — 303	遺構外	— (12.6)	1.9	粘土板	24×25	側端縁ヘラ削り。横書「上」(逆字)。	罫目 L8本	—	—	—	技法目1-B, 灰色。硬質。粘土硬質。凹面横書文字「上」(逆字)あり。

国庫 図録 遺物番号	調査 次数	出土 位置	竪堀 広さ 全長	厚さ	底・蓋部の特徴				備考		
					内面		外面	周面			
					素材	布目				特徴	
50-4 19-12 303-KD38	303	遺構外	(20.1)	2.4	粘土板	ナズ柄 飾線へつ削り 「高」	罫目 1.8本	-	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1. 暗褐色～黄灰色。やや軟質。粗砂粒少量混入。内面押印文字「高」あり。	
60-13 20-5 303-KD39	303	遺構外	(14.6)	2.7	粘土板?	飾線へつ削り 及び二面 取り	18×23	押型	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1. 灰色。硬質。粘土織布。凸面押印文字「在」あり。	
- 303-KD40	303	遺構外	(11.3) (14.6)	2.7	粘土板	20×24	-	押型	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1. 灰色。硬質。粘土織布。凸面押印文字「在」あり。	
303-KD41	303	遺構外	(5.5)	2.6	-	21×24	-	押型	-	灰色。硬質。砂粒やや多量混入。凸面押印文字「在」あり。	
54-3 22-1 303-KD42	303	遺構外	(6.3) 15.7	2.9	-	32×31	へつ書「刀 高」	罫目 1.8本	-	側面 一面へつ削り	赤褐色。軟質。粗砂粒多量。内面にへつ書文字「刀高」あり。
48-13 19-4 303-KD43	303	遺構外	(12.9)	2.8	粘土板?	18×23	飾線へつ削り 及び片面 取り	罫目 1.1本	-	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1-A1? 灰色～灰赤白色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。内面押印文字「高」あり。
43-1 18-12 303-KD44	303	遺構外	(17.4)	2.6	粘土板?	18×24	押印「高」	罫目 1.9本	-	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1-A1? 暗褐色～薄黄褐色。やや軟質。砂粒・海綿骨針多量混入。内面押印文字「高」あり。
54-5 303-KD45	303	遺構外	(7.6)	2.0	-	15×21	飾線へつ削り 及び片面 取り	罫目 1.0本	-	側面 一面へつ削り	明灰色。硬質。砂粒・海綿骨針やや多量混入。内面へつ書文字「在」あり。
50-2 303-KD49	303	遺構外	(4.2)	2.5	-	-	押印「高」	-	-	-	黄褐色。軟質。砂粒少量混入。内面押印文字「高」あり。
50-7 19-13 303-KD50	303	遺構外	(16.0) (17.7)	2.9	粘土板?	18×20	押印「高」	斜格子	-	-	技法Ⅱ-1-A1? 暗褐色～薄黄褐色。やや軟質。砂粒多量混入。内面押印文字「高」あり。
55-8 303-KD51	303	遺構外	(7.0) (11.5)	1.6	粘土板?	30×31	横書文字「 高」	罫目 1.0本	飾線へつ削り	側面 一面へつ削り	技法Ⅱ-1-B1? 灰赤白色。やや軟質。粘土織布。横書文字「高」あり。
50-14 20-1 303-KD52	303	遺構外	(9.8)	2.0	-	20×14	-	押型	押印文字「 高」	-	黄褐色。軟質。砂粒少量混入。凸面押印文字「高」あり。
55-7 303-KD53	303	遺構外	(7.2)	2.0	-	26×18	横書文字「上」 (逆字)	罫目 1.0本	-	-	灰色。硬質。砂粒少量混入。内面「上」(逆字)あり。
50-15 20-8 303-KD56	303	遺構外	(12.5)	2.9	粘土板?	21×24	-	押型	押印文字「 入瓦」	-	技法Ⅱ-1. 灰色～灰白色。軟質。海綿骨針多量混入。凸面押印文字「入瓦」あり。
50-3 19-14 303-KD56	303	遺構外	(12.9)	2.8	-	19×23	押印「加 高」	罫目 1.8本	-	-	黄褐色～暗褐色。やや軟質。海綿骨針多量混入。内面押印文字「加瓦」あり。
42-5 303-KD58	303	遺構外	(7.5)	2.3	粘土板?	21×23	不明朱書き	罫目 1.1本	-	-	技法Ⅱ-1-? 灰赤白色。硬質。砂粒やや多量。海綿骨針少量混入。内面不明朱書きあり。
58-5 303-KD60	303	遺構外	(7.1) (11.9)	2.3	-	25×30	横書文字「 高」	罫目 1.0本	-	側面 一面へつ削り	明灰色。硬質。粗砂粒少量混入。内面「高」あり。
54-8 303-KD63	303	遺構外	(7.0)	1.8	-	18×22	不明へつ書「 高」	罫目 1.0本	-	-	灰色。やや軟質。砂粒少量混入。内面へつ書文字「高」あり。
58-9 303-KD65	303	遺構外	(10.5)	1.6	-	16×14	横書「山方」不明 朱書き	罫目 1.12本	-	-	暗灰色～薄黄褐色。硬質。砂粒やや多量混入。内面横書文字「山方」。不明朱書きあり。
43-2 303-KD71	303	遺構外	(5.9) (26.8)	2.1	粘土板	27×26	横書文字「 上」。不明 朱書き	罫目 1.1本	-	-	技法Ⅱ-1. 灰色～灰赤白色。硬質。砂粒やや多量混入。内面横書文字「上」。不明朱書きあり。
61-1 303-KD72	303	遺構外	(7.3)	2.0	-	18×19	-	押型	押印文字「 高」	-	灰白色。軟質。粘土織布。凸面押印文字「高」あり。
65-3 303-KD74	303	遺構外	(8.0)	1.6	-	20×20	横書文字「上」 (逆字)	罫目 1.9本	-	-	灰色。硬質。砂粒微量混入。内面横書文字「上」(逆字)あり。
54-7 303-KD75	303	遺構外	(9.9)	1.9	-	23×22	へつ書文字「 高」	罫目 1.0本	-	-	灰白色。やや硬質。粗砂粒やや多量混入。内面へつ書文字「高」あり。
61-2 20-4 303-KD80	303	遺構外	(9.6) (14.3)	2.1	粘土板?	15×18	広・飾線へつ削り 及び片面 取り	押型	押印文字「 高」	-	技法Ⅱ-1-A1? 灰色。硬質。粗砂粒少量混入。凸面押印文字「高」あり。

国面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭域 広域 全長	厚さ	成・彫刻の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴		
— 303-K085	303	遺構外	(6.2) — (6.8)	2.6	—	—	狭域線へラ削り。	押型	押型文字「佳」。	側面一面へラ削り。	暗灰色。硬質。砂粒やや多量混入。凸面押型文字「佳」あり。
— 303-K086	303	遺構外	— — (14.3)	2.3	粘土 線?	22×24	側面一面へラ削り及び面取	押型	押型文字「佳」。	側面一面へラ削り。	灰注目I-A1? 灰白色。軟質。粗砂粒少量混入。凸面押型文字「佳」あり。
50-5 18-19 303-K091	303	遺構外	— — (11.7)	1.8	粘土 板?	18×20	凹面「佳」。	正格子	—	—	灰色。やや硬質。海綿骨針やや多量混入。凹面押型文字「佳」あり。
51-3 20-9 303-K093	303	遺構外	— — (6.4)	(0.7)	—	—	—	—	押型文字「鮎」(池田?)	—	灰白色。軟質。粘土麻布。凸面押型文字「鮎」の逆字あり。
54-8 — 303-K094	303	S1392 覆土	— — (4.3)	(2.5)	粘土 板?	24×24	不明へラ削り 「口」。	正格子	—	側面一面へラ削り。	灰注目I-B。灰色～灰黄色。硬質。粗砂粒・海綿骨針多量混入。凹面不明へラ削り文字「口」あり。
45-3 414-K001	414	SD26 覆土	(13.0) — (22.6)	2.1	粘土板	28×24	不明朱墨書。	罫目 L10本	—	広・側面一面へラ削り。	灰注目I-B。灰白色。硬質。粗砂粒少量混入。凹面不明朱墨書あり。
54-9 414-K002	414	SD26 覆土	— — (12.5)	2.1	粘土板	19×20	不明へラ削り 「口」。	罫目 L11本	—	—	灰注目I-B。黄褐色～暗褐色。粗砂粒・海綿骨針少量混入。凸面不明へラ削り文字「口」あり。
51-4 — 427-K001	427	SP1 覆土	— — (6.2)	2.1	—	26×23	—	押型	押型文字「大井」。	側面一面へラ削り。	暗褐色～暗赤褐色。粗砂粒多量。海綿骨針少量混入。凸面押型文字「大井」あり。

型斗互一覧

国面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	狭域 広域 全長	厚さ	成・彫刻の特徴						備考
					凹面			凸面		端面	
					素材	布目	特徴	叩き	特徴		
45-4 — 278-K001	278	SD188 覆土	(11.5) — (18.4)	3.0	粘土板	18×17	狭・側面線へラ削り及び面取	正格子	—	側面一面へラ削り。	黄褐色～灰白色。やや軟質。海綿骨針やや多量混入。
46-2 — 303-K001	303	遺構外	6.7 — (14.0)	1.6	粘土板	22×20	側面線へラ削り及び面取	—	全面へラ削り。	狭・側面一面へラ削り。	灰白色。粗砂粒・雲母多量混入。やや軟質。凹面へラ削り文字「久」あり。

瓦互一覧

国面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	寸法			備考
45-8 17-13 117-K001	117	遺構外	最大長 (10.9) 最大幅 (10.5) 最大厚 (4.3)			灰黄白色～明灰色。硬質。粗砂粒少量混入。

埴一覽

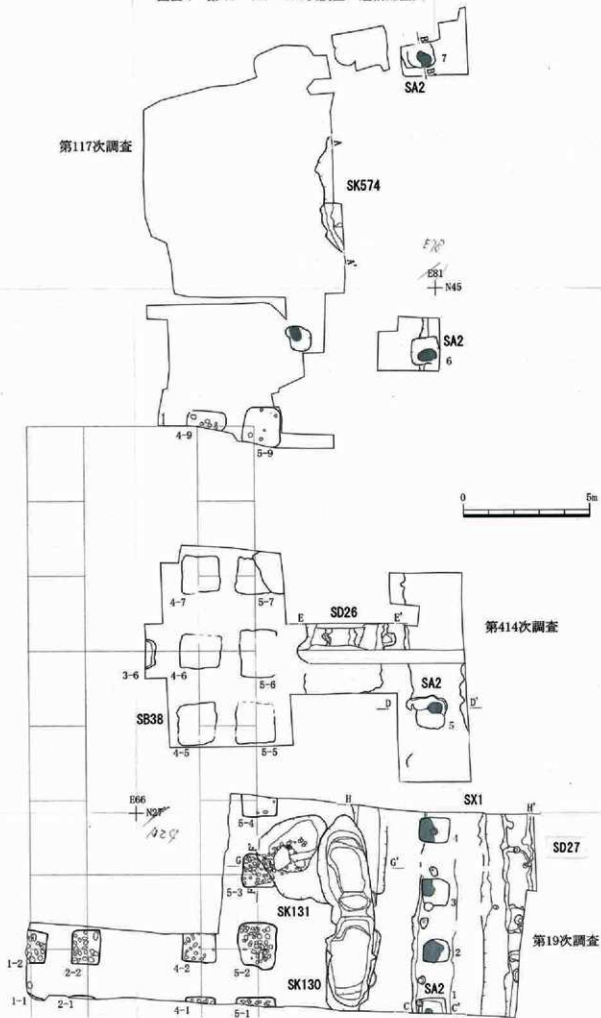
国面 図版 遺物番号	調査 次数	出土 位置	素材	成・彫刻の特徴			備考
				上 面		側 面	
				上 面	下 面		
52-2 — 281-K001	281	遺構外	粘土板	へラ削り。 長辺(10.6) 短辺(9.7)	—	へラ削り。へラ 曇「前」?	灰色～暗灰色。硬質。海綿骨針多量混入。凹面へラ削り文字「前」あり。

石製品一覧

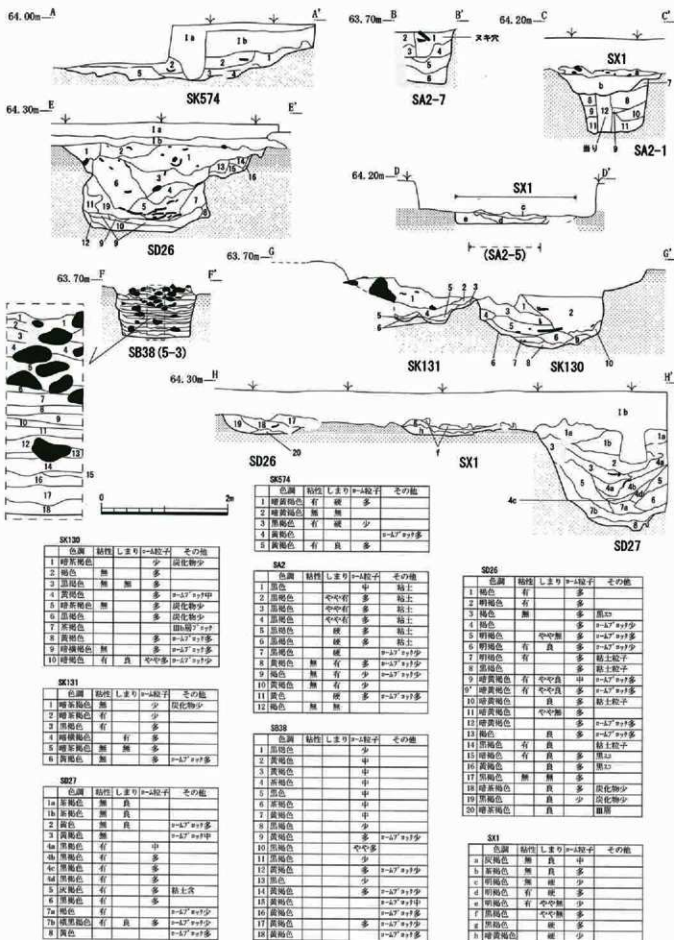
国面 図版 遺物番号	調査 次数	種別	出土 位置	寸法	備考
56-10 22-5 303-G001	303	石幣	S1392 覆土	最大長2.4 最大幅3.4 最大厚0.6	—

圖 面

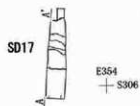
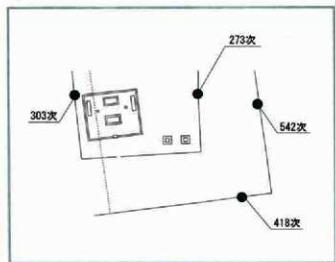
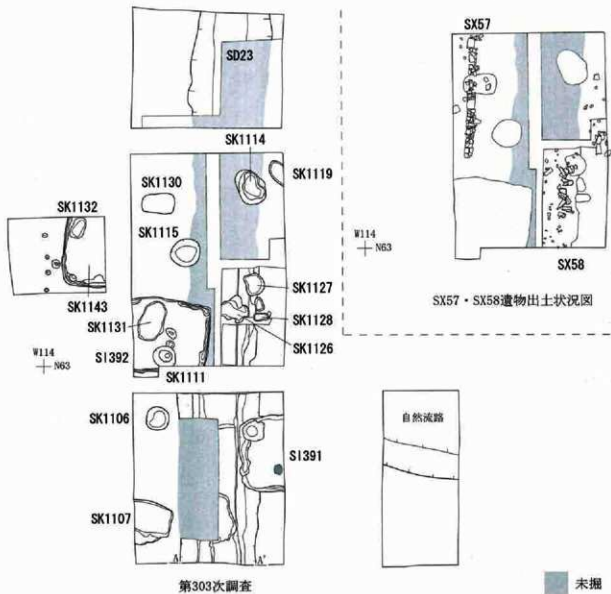
図面1 第19・117・414次調査 遺構配置図



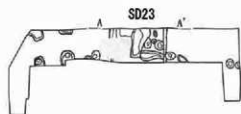
図面2 第19・117・414次調査 SB38、SA2、SD26・27、SK130・131・574、SX1



図面3 第303・418次調査 遺構配置図



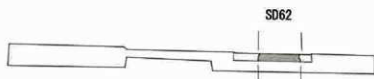




E258  
+ N18



第273次調査



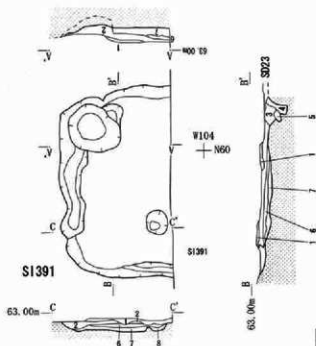
E432  
+ S33



第542次調査

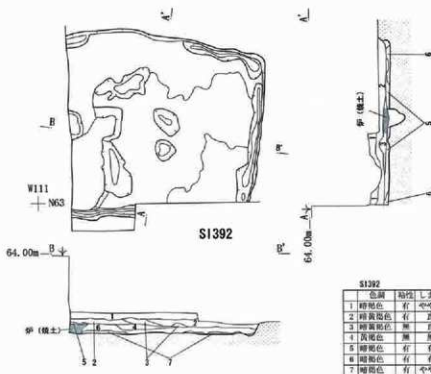
■ 未掘





S1391

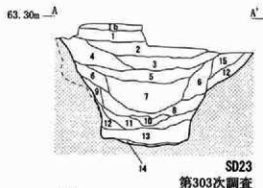
色調	粘性	しまり	中-大粒子	中-小	その他
1 暗褐色	真				粘土
2 黒褐色	真				粘土粒
3 黒褐色	有	中々真		少	
4 暗黄褐色	有	中々真			
5 暗褐色	有	中々真			
6 黄褐色	有	中々真			粘土粒多
7 暗褐色	有	真			粘土粒少
8 暗黄褐色	有	中々真			粘土粒多



S1392

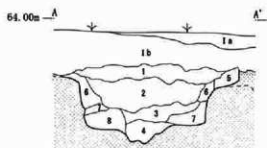
色調	粘性	しまり	中-大粒子	中-小	その他
1 暗褐色	有	中々真			粘土粒・炭化物少
2 暗黄褐色	有	真			粘土・炭化物多
3 暗黄褐色	無	真			粘土・炭化物多
4 黄褐色	無	真			
5 暗褐色	有	有			
6 暗褐色	有	有			
7 暗褐色	有	中々真			





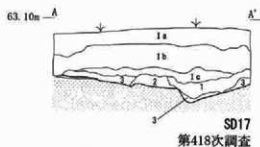
SD23

色調	粘性	しまり	0-4粒/子 20分	その他
1 暗褐色	有	やや良	多	
2 黒褐色	有	やや良	多	
3 黒褐色	有	やや良	多	炭化物
4 褐色	有	やや良	少	
5 黒色	有	良		
6 灰褐色	有	やや良		細化炭粒少
7 灰褐色	有	良		細化炭粒少
8 黒褐色	有	良	多	細化炭粒少
9 黒褐色	有	良	少	細化炭粒少
10 暗赤褐色	有	やや良	多	
11 黄褐色	有	良		0-1.7 0.7多
12 暗褐色	有	良	多	細化炭粒多
13 黒色	有	やや良	少	
14 黄褐色	有	良		0-1.7 0.7多
15 黒褐色	有	やや良	少	少



第273次調査 SD23

色調	粘性	しまり	0-4粒/子 20分	その他
1 暗褐色	有	やや良	多	多
2 暗褐色	有	やや良	少	
3 黒褐色	有	良	やや多	
4 黒黄褐色	有	良	多	0-1.7 0.7多
5 黄褐色	有	やや良		0-1.7 0.7多
6 暗赤褐色	無	やや無	少	細0.7 0.7多
7 黒黄褐色	有	やや良	多	細0.7 0.7多
8 黒黄褐色	有	やや良	多	細0.7 0.7多



SD17

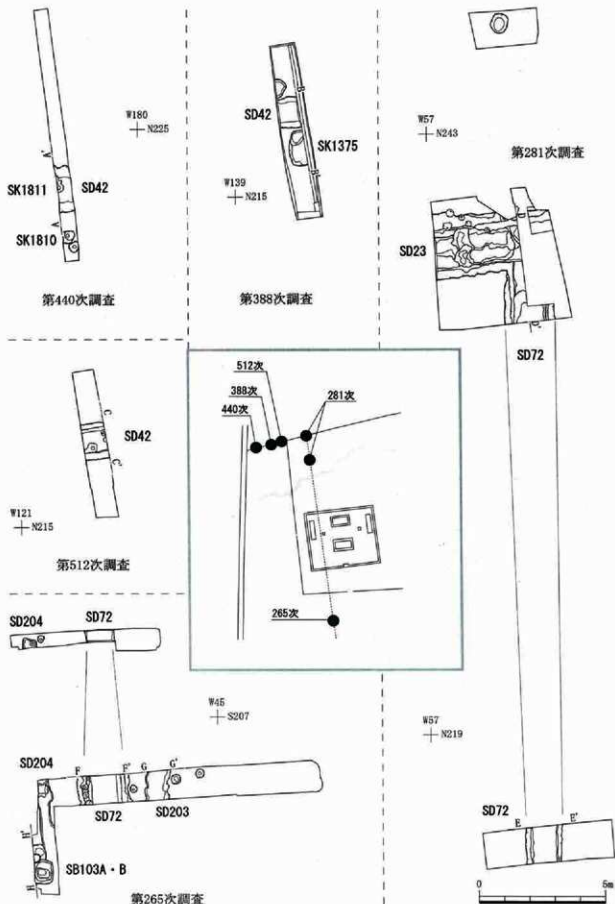
色調	粘性	しまり	0-4粒/子 20分	その他
1 暗褐色	有	やや無		
2 暗褐色	有	良		
3 赤褐色	有	やや良		

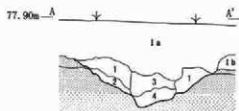


SX58

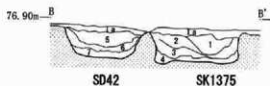


図面 7 第 265・281・388・440・512 次調査 遺構配置図

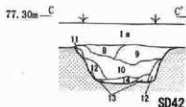




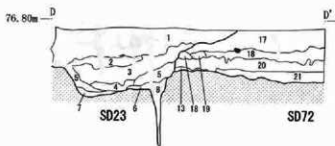
SD42



SD42 SK1375

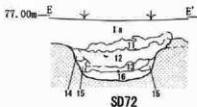


SD42

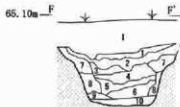


SD23

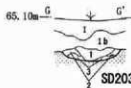
SD72



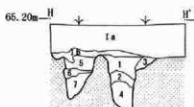
SD72



SD72



SD203



SB103A - B



SD42

色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 黒褐色	無	やや多	少	
2 黒褐色	有	多		
3 暗茶褐色	有	中	多	砂・砂子多
4 暗茶褐色	有	中	多	砂・砂子少
5 黒褐色	有	中	少	
6 黒褐色	有	中	少	
7 黄褐色	有	中	多	砂・砂子多
8 黒色	無	中	少	
9 黒色	無	中	多	砂・砂子多
10 黒色	無	中	多	砂・砂子多
11 暗茶褐色	無	中	多	砂・砂子多
12 暗茶褐色	無	無		砂・土多
13 暗茶褐色	無	無		砂・砂子多
14 暗茶褐色	無	無		砂・砂子多

SD72

色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 暗茶褐色	有	多	多	砂・砂子多
2 暗茶褐色	有	多	多	砂・砂子少
3 暗茶褐色	有	多	多	砂・砂子多
4 暗茶褐色	有	多	多	砂・砂子多
5 暗茶褐色	無	中	少	砂・砂子多
6 暗茶褐色	無	中	少	砂・砂子多
7 暗茶褐色	有	中	多	砂・砂子多
8 暗茶褐色	有	中	多	砂・砂子多
9 暗茶褐色	無	中	多	砂・砂子多
10 黄褐色	有	多	多	砂・砂子多
11 黄褐色	有	多	多	砂・土多
12 黒色	有	多	多	砂・土多
13 黒色	有	多	多	砂・土多
14 黒色	有	多	多	砂・土多
15 黄褐色	有	多	多	砂・砂子多
16 黄褐色	有	多	多	砂・砂子多
17 黒色	有	多	多	砂・土多
18 黒色	有	多	多	砂・土多
19 黒色	有	多	多	砂・土多
20 暗茶褐色	有	多	多	砂・土多
21 黄褐色	有	多	多	砂・砂子多

SK1375

色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 暗茶褐色	無	無		砂・砂子多
2 暗茶褐色	有	中	少	
3 暗茶褐色	有	中	少	
4 暗茶褐色	無	無		砂・土多

SD203

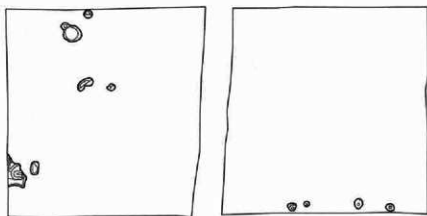
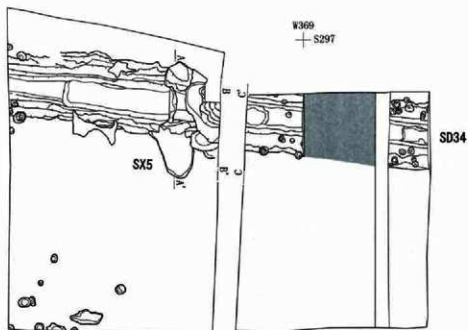
色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 暗茶褐色	有	中	少	砂・砂子多
2 暗茶褐色	有	中	少	砂・砂子多
3 暗茶褐色	有	中	少	砂・砂子多

SD23

色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 暗茶褐色	有	多	多	灰化層・灰
2 暗茶褐色	有	多	多	
3 黒色	有	多	多	
4 黒色	有	多	多	砂・土
5 黒色	無	少	砂・土	
6 黒色	有	多	多	砂・砂子多
7 暗茶褐色	有	多	多	砂・砂子多
8 暗茶褐色	無	多	多	砂・砂子多

SB103A - B

色調	粘性	しまり	砂・砂子	その他
1 黄褐色	有	中	多	砂・土少
2 暗茶褐色	有	中	多	砂・土
3 暗茶褐色	有	中	少	
4 暗茶褐色	有	中	少	砂・土・砂
5 暗茶褐色	有	中	少	砂・土・砂
6 暗茶褐色	有	中	少	砂・土・砂
7 黄褐色	有	中	多	砂・砂子多



第346次調査

■ 未掘



第356次調査

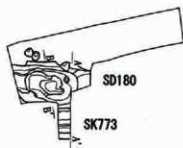


第379次調査



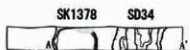


W339  
+ S255

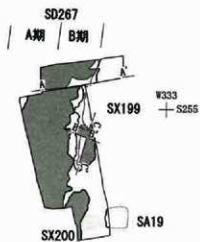


第187次調査

W452  
+ S282

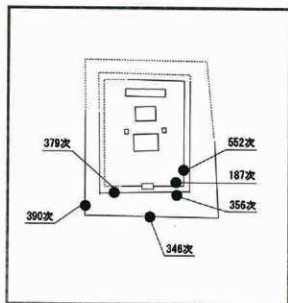


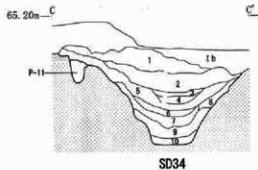
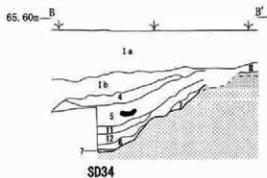
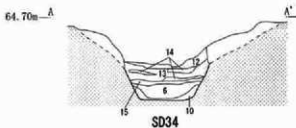
第390次調査



第552次調査

■ 未掘

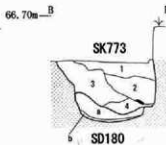
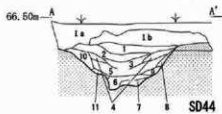
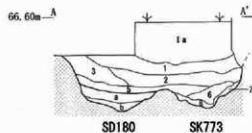




SD34

色調	粘性	しまり	中-粗粒子	砂計	その他
1 深褐色	有	良	少	少	
2 深褐色	有	良	少	少	炭化物塊
3 深褐色	有	良	少	少	
4 深褐色	有	良	中	良	
5 深褐色	有	良	少	少	炭化物塊
6 深褐色	有	良	中	少	中-大? 砂計少
7 深褐色	有	良	多	多	中-大? 砂計少
8 暗茶褐色	有	中	多	少	
9 暗褐色	有	中	多	多	
10 暗褐色	有	中	良	多	中-大? 砂計多
11 暗褐色	有	良	多	多	
12 暗褐色	有	良	少	少	
13 黄褐色	有	良	多	多	
14 黄褐色	有	良	多	多	
15 黄褐色	有	良	多	多	中-大? 砂計少

第346次調査



第356次調査

第187次調査

SD180

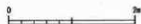
色調	粘性	しまり	中-粗粒子	砂計	その他
a 深褐色	無	中	多	少	
b 黄褐色	有	良	少	少	中-大? 砂計多

SK773

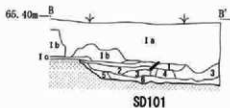
色調	粘性	しまり	中-粗粒子	砂計	その他
1 暗褐色	有	良	中	多	
2 暗褐色	有	中	多	多	中-大? 砂計少
3 暗茶褐色	有	中	多	中	中-大? 砂計多
4 暗茶褐色	有	中	中	中	中-大? 砂計少
5 暗茶褐色	有	中	中	中	中-大? 砂計少
6 暗褐色	有	良	少	少	
7 暗茶褐色	有	良	中	中	中-大? 砂計多
8 黄褐色	有	良	中	中	中-大? 砂計多

SD44

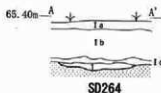
色調	粘性	しまり	中-粗粒子	砂計	その他
1 深褐色	無	無	多	少	
2 深褐色	無	無	多	少	
3 暗茶褐色	有	中	中	中	黒色土
4 暗茶褐色	無	無	中	中	
5 暗茶褐色	有	良	中	良	
6 茶褐色	有	硬	少	少	中-大? 砂計多
7 暗褐色	有	硬	少	少	黒色土
8 黄褐色	無	無	少	少	中-大? 砂計多
9 茶褐色	無	無	少	少	中-大? 黒色土
10 黄褐色	有	良	中	中	中-大? 砂計多
11 黄褐色	有	良	中	中	中-大? 黒色土





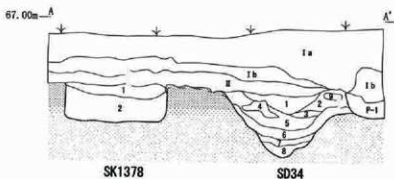


SD101	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 暗黄褐色	無	良	少		0-27% 多
2 暗茶色	無	良	少		
3 暗黄褐色	無	良	少		0-27% 多
4 暗茶色	無	良	少		
5 暗茶色	有	中や良	少		
6 暗黄褐色	有	中や良	少		



SD264	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 暗黄褐色	無	良	少		0-4・ 暗土層

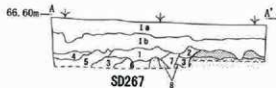
第379次調査



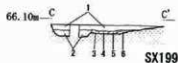
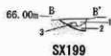
SK1378	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 黒褐色	良	良	少		
2 黒褐色	良	中や良	中や多		0-47% 多

SD34	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 黒褐色	有	良	少		炭化物少
2 黒褐色	有	良	少		炭化物少
3 黒褐色	有	中や無	少		中 炭化物少
4 黄褐色	無	中や無	少		多 炭化物少
5 暗褐色	有	中や良	多		
6 黄褐色	有	中や良	多		0-47% 多
7 黄褐色	有	中や良	多		0-47% 多
8 黄褐色	有	中や良	多		0-47% 多
9 黄褐色	有	無	多		

第390次調査



SD267	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 暗黄褐色	無	中や良	多		
2 暗黄褐色	無	中や良	中		
3 暗茶色	有	中や良	中		
4 暗黄褐色	無	無			0-27% 多
5 暗黄褐色	有	中や良	少		
6 黄色	有	中や良	多		0-27% 多
7 灰色	無	無	多		
8 暗黄褐色	有	無	多		0-27% 多

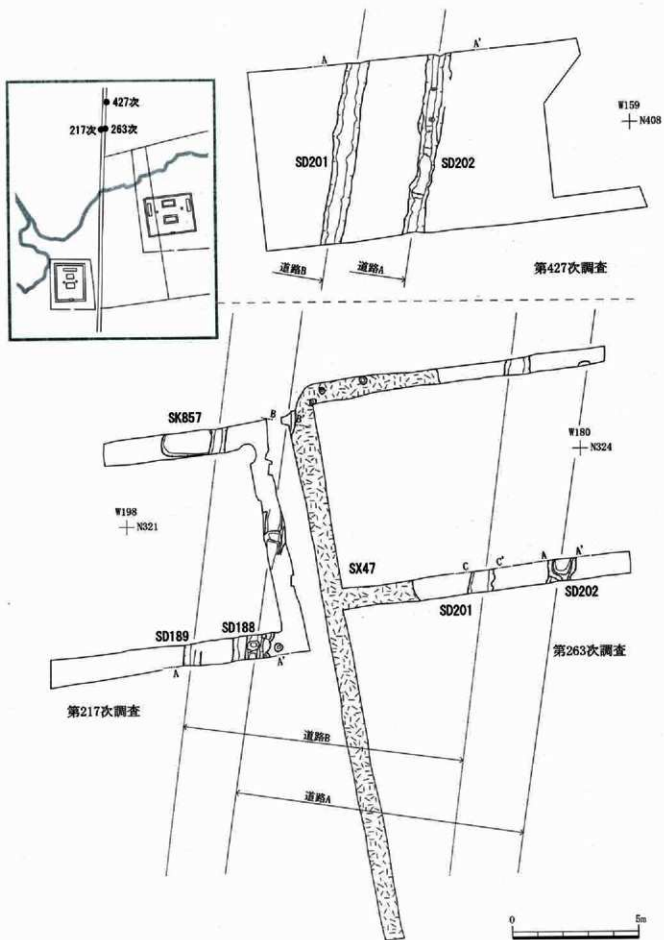


SX199	色調	粘性	しまり	0-4粒/100g	その他
1 暗黄褐色	無	良	多		0-27% 多
2 暗茶色	有	中や良	中		
3 暗茶色	有	中や良	中		
4 黒色	有	中や良	少		
5 暗茶色	有	良	少		暗土層
6 暗黄褐色	有	良	多		0-27% 多

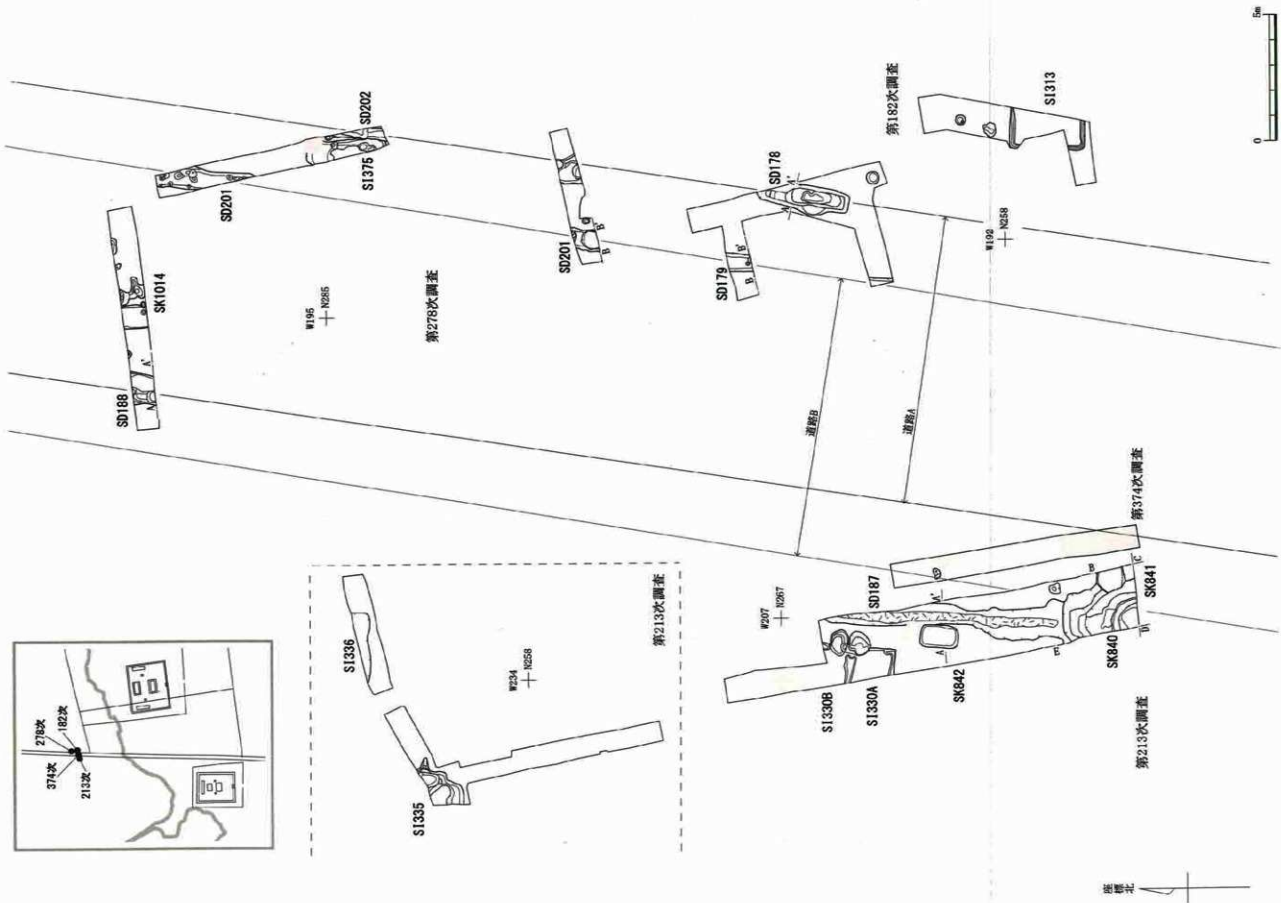
第552次調査



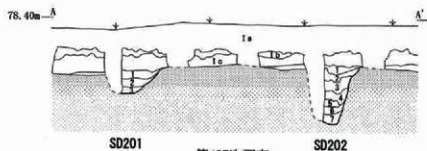
図面 13 第 217・263・427 次調査 遺構配置図



圖面14 第182・213・278・374次調査 遺構配置圖



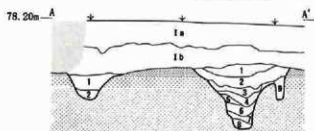




SD201

SD202

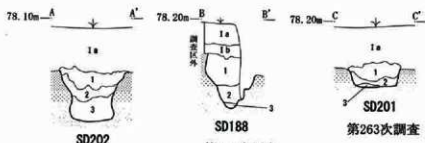
第427次調査



SD189

SD188

第217次調査



SD202

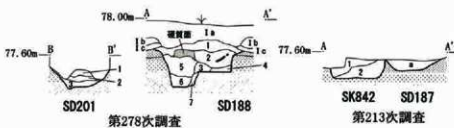
SD188

SD201

第263次調査

第263次調査

第263次調査



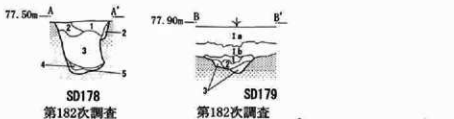
SD201

SD188

SK842 SD187

第278次調査

第213次調査



SD178

SD179

第182次調査

第182次調査

第213次調査

SK840					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	やや良	少	少	細b
2 暗褐色	有	良	少	少	細b
3 暗褐色	有	無	多	少	
4 黒色	有	無	多	多	
5 暗褐色	無	無	多	多	
6 暗褐色	無	無	多	多	μ-47 μ17多
7 暗褐色	無	無	多	多	μ-47 μ17多
8 黄褐色	有	有	μ-47 μ17多	多	

SK841					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	無	無	多	少	
2 暗褐色	無	無	少	少	
3 暗褐色	有	良	少	少	

SK842					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	無	無	多	少	細b
2 暗褐色	有	良	少	少	

SD187					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
a 暗褐色	有	硬	多	多	

第427次調査

SD201					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	硬			細b
2 暗褐色	有	やや良			
3 暗褐色	有	やや良			細c μ17多

SD202					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 10YR3/2	無	良			細b
2 10YR3/4	無	良			
3 10YR2/2	無	良			
4 10YR2/2	無	やや良			
5 10YR2/2	無	良	少		
6 10YR3/4	有	良	少		
7 10YR6/5	有	やや良	多		

第217次調査

SD188					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	有	硬			細b μ17
2 暗褐色	有	硬	多		μ-47 μ17
3 暗褐色	有	やや良			細b μ17
4 暗褐色	有	良	多		μ-47 μ17多
5 暗褐色	有	やや良	多		
6 暗褐色	有	やや良			細b μ17
7 暗褐色	有	やや良			細b μ17少
8 黄褐色	無	無			μ-47 μ17多
9 暗褐色	有	やや良	多		μ-47 μ17多

SD189					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	やや良	少		
2 暗褐色	有	良	多		

第263次調査

SD188					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	良			細b
2 暗褐色	有	やや良			
3 暗褐色	有	良	多		細c μ17

SD201					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	有	硬			細b
2 黒褐色	有	良	少		
3 暗褐色	有	やや良			μ-47 μ17

SD202					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	良			細b
2 暗褐色	有	やや良			細c μ17
3 暗褐色	有	良	多		

第182次調査

SD178					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	有	有	少		
2 暗褐色	有	有	少		μ-47 μ17
3 暗褐色	有	やや良	多		μ-47 μ17少
4 黒褐色	有	やや良	多		μ-47
5 黄褐色	有	良	多		μ-47 μ17多

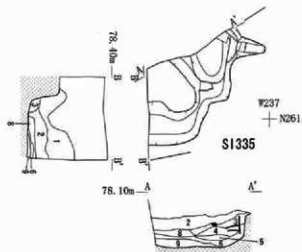
SD179					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	有	有	少		細b μ17多
2 黒褐色	有	やや良			細b μ17
3 暗褐色	無	無			

第278次調査

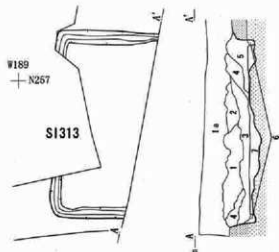
SD188					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 暗褐色	有	やや有	少		細b
2 黒褐色	有	有			細b μ17
3 暗褐色	有	有			細b μ17
4 黒褐色	有	良	少		細b μ17 μ17
5 暗褐色	有	良	少		細b μ17
6 黄褐色	有	良			μ-47 μ17
7 黄褐色	有	良	多		μ-47 μ17多

SD201					
色調	粘性	しまり	μ-4級子	μ17	その他
1 黒褐色	有	硬			細b μ17
2 暗褐色	有	硬			細b μ17多
3 暗褐色	有	良	多		μ-47

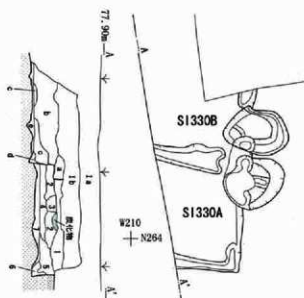




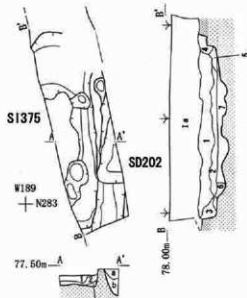
第213次調査



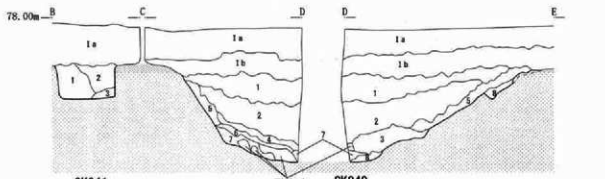
第182次調査



第213次調査



第278次調査

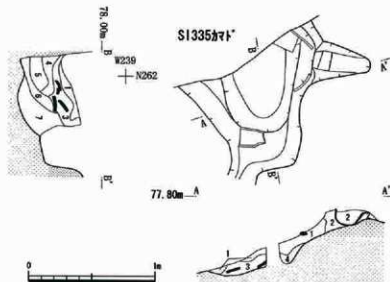
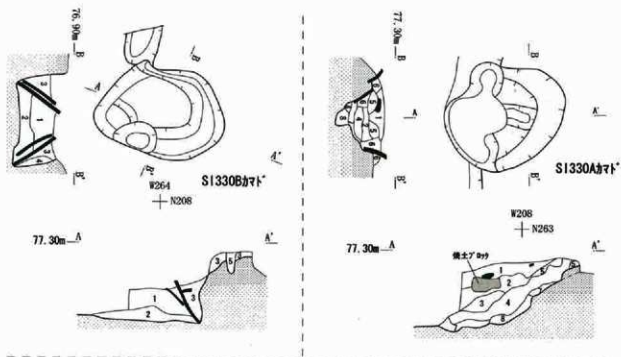


SK841

SK840

第213次調査





S1335

色調	粘性	しまり	α-A粒子	αβγ	その他
1 黒灰褐色	有	やや良	少	少	粘土粒子
2 暗茶褐色	有	やや良	少	少	粘土・黒土粒子
3 灰茶褐色	有	やや良	多	多	白色粘土・焼土
4 灰茶褐色	有	やや良			白色粘土・焼土
5 赤褐色	有	良			焼土
6 黒色	有	良			白色粘土・少
7 暗茶褐色	有	やや良	多	α-Aγγ多	
8 暗茶褐色	有	良			白色粘土・焼土
9 暗茶褐色	有	良			α-Aγγ多

S1313

色調	粘性	しまり	α-A粒子	αβγ	その他
1 暗黒褐色	有	やや良	少	少	真土
2 暗黒褐色	有	やや良	中	中	真土
3 暗茶褐色	有	良	少	少	焼土粒子多
4 暗黒褐色	有	やや良	少	少	焼土γγ多
5 暗黒褐色	有	やや良	少	少	焼土γγ多
6 暗黒褐色	有	やや良	少	少	焼土γγ多
7 暗茶褐色	有	硬			焼土γγ多

S1330a1'

色調	粘性	しまり	その他
1 暗褐色	無	無	焼土粒子・少
2 暗褐色	無	無	焼土粒子・灰白色粘土多
3 黒茶褐色	無	無	焼土粒子
4 赤茶褐色	無	無	粘土粒子・γγ多
5 灰褐色	無	無	粘土粒子・灰白色粘土多
6 灰茶褐色	無	無	灰白色粘土多
7 黄褐色	無	無	
8 黄褐色	無	無	粘土粒子・α-A粒子

S1330a

色調	粘性	しまり	α-A粒子	αβγ	その他
1 暗茶褐色	有	やや良	少	少	
2 暗茶褐色	有	やや良	少	少	炭化物・焼土
3 暗茶褐色	有	やや良	少	少	炭化物・焼土多
4 暗茶褐色	有	やや良			炭化物・焼土多
5 暗茶褐色	有	良	少	少	α-Aγγ多
6 暗茶褐色	有	良	多	多	α-Aγγ多
7 暗茶褐色	有	硬			α-Aγγ多

S1335

色調	粘性	しまり	α-A粒子	αβγ	その他
1 暗茶褐色	有	有	少	少	焼土・粘土粒子
2 暗茶褐色	有	有			焼土・粘土粒子
3 赤褐色	有	やや良			焼土γγ多
4 赤褐色	有	良			焼土粒子多
5 暗茶褐色	有	良			焼土粒子多
6 暗茶褐色	無	無			α-Aγγ多
7 暗茶褐色	有	良			α-Aγγ多

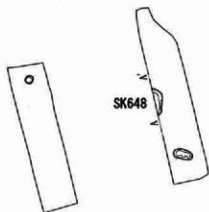
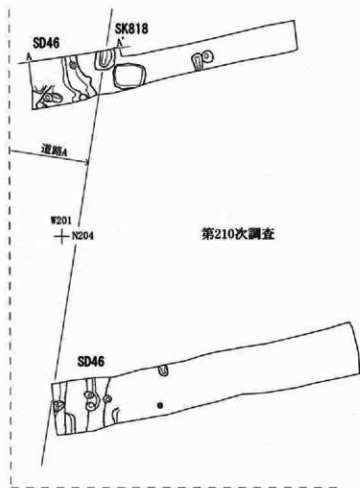
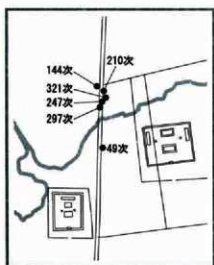
S1330a1'

色調	粘性	しまり	その他
1 暗茶褐色	無	無	焼土粒子・灰白色粘土・少
2 灰白色	有	及	焼土粒子・粘土粒子多
3 灰白色	無	無	灰白色粘土・α-Aγγ多
4 暗茶褐色	無	無	粘土粒子多
5 暗褐色	無	無	

S1330a

色調	粘性	しまり	α-A粒子	αβγ	その他
a 暗褐色	無	やや硬			粘土粒子多
b 暗褐色	無	やや硬	中	中	白色粘土・焼土
c 暗褐色	有	やや良	少	少	
d 暗茶褐色	有	やや良			α-Aγγ多
e 暗茶褐色	有	硬			α-Aγγ多

図面 18 第 144・210・247・297 次調査 遺構配置図



W213  
+ N213 第144次調査



W228  
+ N147

W213  
+ N168

第247次調査

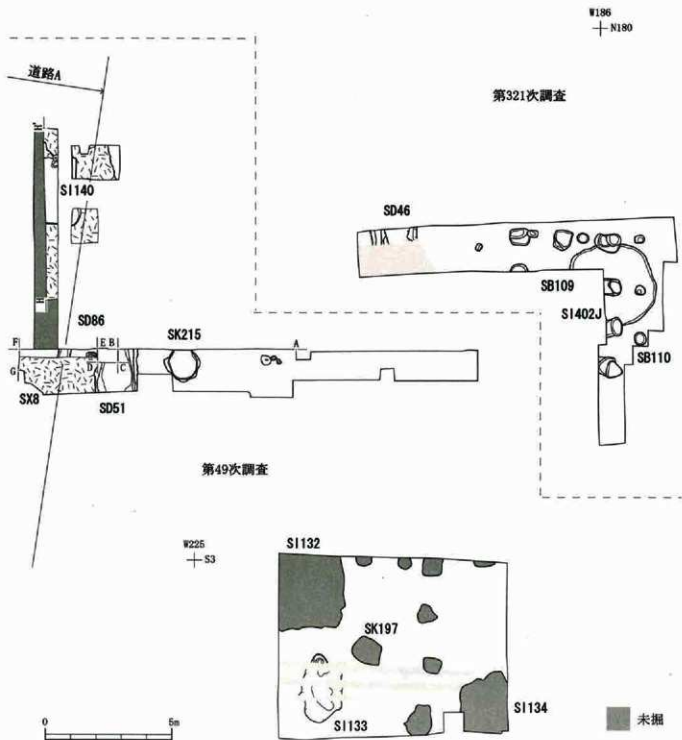
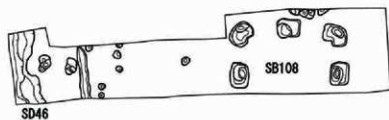


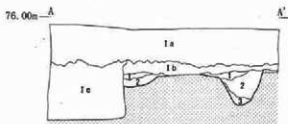
第297次調査





図面 19 第 49・321 次調査 遺構配置図





SD46 SK818

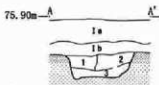
第210次調査

SD46

色調	粘性	しまり	0-4粒/子	20粒	その他
1 暗黒褐色	無	無	少		細b
2 暗褐色	有	有			細b' a?'

SK818

色調	粘性	しまり	0-4粒/子	20粒	その他
1 暗黒褐色	有	有			細b' a?'
2 暗褐色	有	有	少	少	
3 黄褐色	無	やや無	多	a-4? a?'	多

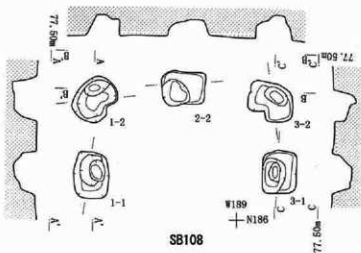


SK648

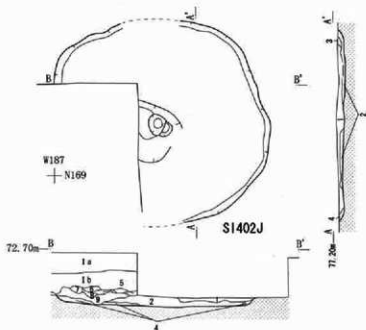
第144次調査

SK648

色調	粘性	しまり	0-4粒/子	20粒	その他
1 暗褐色	無	無			
2 暗褐色	有	やや有		a-4? a?'	少
3 暗褐色	有	やや有	多		細b' a?'



SB108

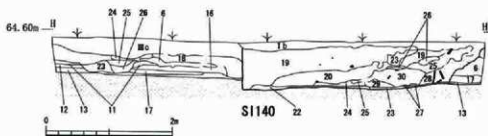
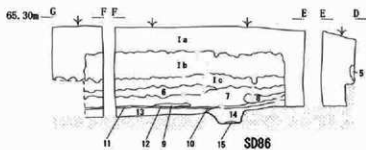
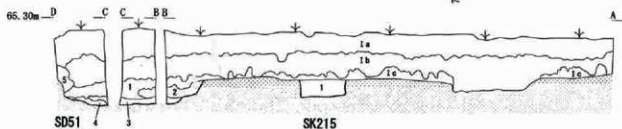
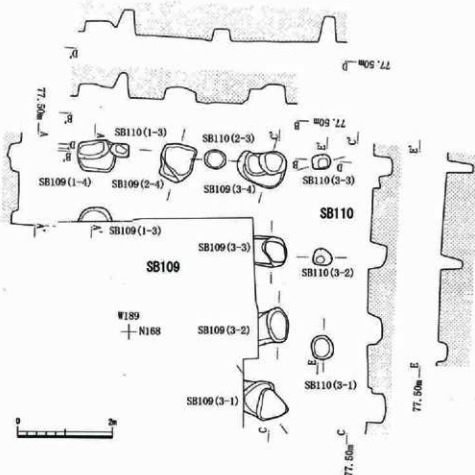


第321次調査

S1402J

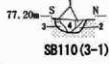
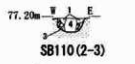
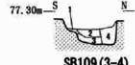
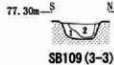
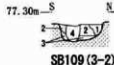
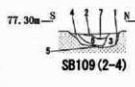
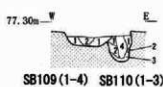
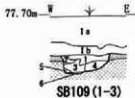
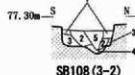
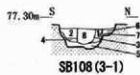
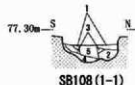
色調	粘性	しまり	0-4粒/子	20粒	その他
1 暗褐色	有	有	少		
2 暗褐色	有	有	少		
3 暗褐色	有	やや有	多	多	a-2? a?'
4 暗褐色	有	有			細b
5 暗褐色	有	有	多	多	
6 暗褐色	有	やや有	多		
7 暗褐色	有	やや有	少		
8 暗褐色	有	有			
9 暗褐色	有	有	少		





SB109・SD51・SD86・S1140・SK215

1	色調	粘性	しまり	α-β粒子	その他
1	黒褐色		点		
2	黒褐色				
3	暗赤褐色			多	α-β 多
4	暗赤褐色			多	α-β 多
5	黒褐色		良		
6	暗赤褐色	硬	少		
7	暗赤褐色	硬	少		
8	暗赤褐色	有 硬	少		
9	暗赤褐色	有 硬	少		
10	暗赤褐色	硬	多		
11	黄褐色	硬	多	α-β 多	
12	暗黄褐色	硬	多	α-β 多	
13	黒褐色	硬	多		
14	黒褐色	無	多	α-β 多	
15	暗赤褐色	無	中	α-β 多	
16	黒褐色	良			
17	黒褐色	有 良	多		
18	黒褐色	有			
19	黒褐色		無		
20	暗赤褐色		無		
21	黒褐色				
22	黒褐色		少		
23	黒褐色		無	少	
24	黒褐色		無		
25	黒褐色				
26	暗赤褐色		多		
27	黄褐色		多		灰土上少
28	暗赤褐色		多		黄土粒多
29	黒褐色		少		
30	黒褐色				



SB108 (1-1)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黒褐色	無	中や良	少		
2 暗黄褐色	有	中や良	多	黒土	
3 暗褐色	有	中や良	少	0-17 中多	
4 黄褐色	無	無	少		黒土
5 暗褐色	無	無	少		

SB108 (1-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	無	中や良	少		
2 黄褐色	有	中や良	多	黒土	
3 暗褐色	有	中や良	少	0-17 中多	
4 黄褐色	有	有			黒土
5 暗黄褐色	有	中や有	少		
6 黄褐色	有	中や有	少	0-17 中多	

SB108 (2-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	有	中や良	多		0-17 中多
2 暗黄褐色	有	中や良	多		黒土
3 黄褐色	有	中や良	多		
4 暗褐色	有	有			0-17 中多
5 暗黄褐色	有	中や有	少		黒土
6 暗黄褐色	有	中や有	少		0-17 中多

SB108 (3-1)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 黄褐色	無	中や良	少		0-17 中多
2 暗褐色	無	無			
3 暗黄褐色	有	有			黒土
4 暗褐色	有	有	少		
5 暗黄褐色	有	有	少		黒土
6 暗黄褐色	有	有	少	0-17 中多	
7 暗黄褐色	有	有	多		
8 暗黄褐色	有	無	少		0-17 中多

SB108 (3-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	無	無	少		
2 暗褐色	無	無			0-17 中多
3 暗黄褐色	有	有			黒土
4 暗黄褐色	有	有			黒土
5 暗褐色	無	中や無	少		

SB109 (1-3)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	無	良	少		
2 暗褐色	無	良	少		
3 暗黄褐色	有	中や良	多		
4 暗褐色	有	中や良	多		0-17 中多
5 暗褐色	有	中や良	多		0-17 中多
6 黄褐色	有	中や良			0-17 中多

SB109 (2-4)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	有	中や良	少		
2 暗褐色	無	中や良	少		0-17 中多
3 暗黄褐色	有	中や良	多		0-17 中多
4 暗褐色	無	無			
5 暗褐色	無	無			0-17 中多
6 暗黄褐色	無	無			0-17 中多
7 暗黄褐色	無	無			0-17 中多
8 暗褐色	無	無	少		

SB109 (3-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	無	中や良	少		
2 暗黄褐色	有	良			黒土
3 暗褐色	有	中や良	多		
4 暗褐色	有	中や良			黒土

SB109 (1-4)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	有	良	多		黒土
2 暗褐色	有	中や良	少		

SB109 (3-1)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	有	良			0-17 中多
2 暗黄褐色	有	良	少		0-17 中多
3 暗黄褐色	有	良	少		黒土
4 暗褐色	有	中や良	少		0-17 中多

SB109 (3-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	有	中や良	少		0-17 中多
2 暗褐色	有	中や良			

SB110 (1-3)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	有	中や良	多		
2 暗褐色	無	無			0-17 中多
3 暗褐色	有	中や良	多		0-17 中多
4 暗褐色	有	中や良	多		

SB110 (2-3)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗褐色	無	中や良	少		
2 暗黄褐色	有	中や良	多		
3 暗黄褐色	有	中や良	多		0-17 中多
4 暗褐色	有	中や良	多		

SB110 (3-1)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	有	良			0-17 中多
2 暗黄褐色	有	良	少		0-17 中多
3 暗黄褐色	有	良	少		黒土
4 暗褐色	有	中や良	少		0-17 中多

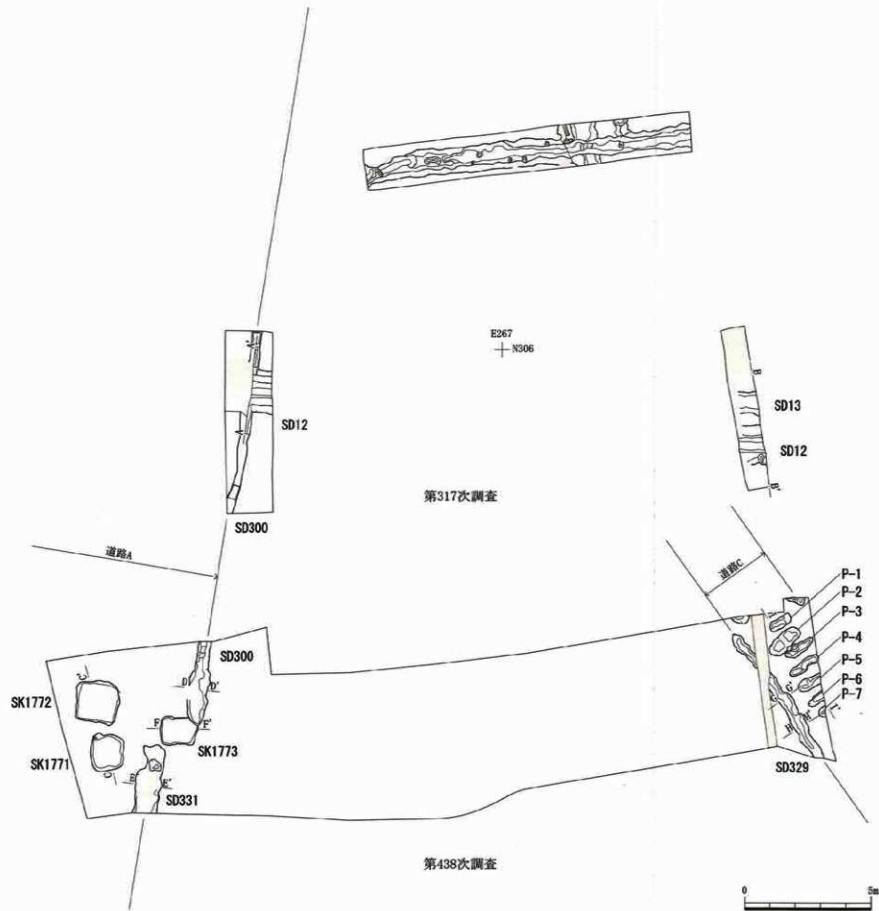
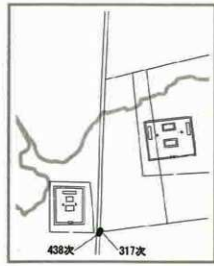
SB110 (3-2)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	有	中や良	中		
2 暗黄褐色	有	中や良	多		
3 暗褐色	有	良	多		0-17 中多
4 暗褐色	有	良	多		

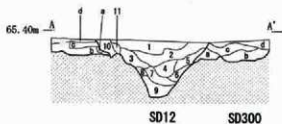
SB110 (3-3)

色調	粘性	しまり	0-4粒子	0.1%	その他
1 暗黄褐色	有	良			黒土
2 暗褐色	無	中や良			
3 暗褐色	有	中や良			0-17 中多

図面23 第317・438次調査 遺構配置図

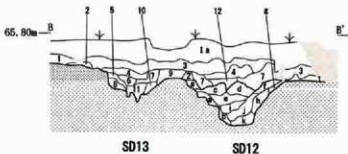






SD12

色調	粘性	しまり	0-4粒径	0.075	その他
1 暗褐色	有	やや良	多		黒土
2 暗黄褐色	無	やや良		多	
3 暗褐色	無	無			0-2.7 0.075少
4 黒色	有	やや良			
5 黒褐色	有	やや良			0-2.7 0.075少
6 黒褐色	有	やや良	多		0-2.7 0.075多
7 黒褐色	有	良	多		多
8 茶褐色	無	無			0-2.7 0.075多
9 黒褐色	有	やや良			0-2.7 0.075多
10 黄褐色	有	やや良	多		
11 黄褐色	有	やや良	多		



SD300

色調	粘性	しまり	0-4粒径	0.075	その他
a 黄色	有	良	やや多		0-4 田畑
b 暗褐色	有				0-2.7 0.075多
c 黒色	無	無			0-2.7 0.075少
d 暗黄褐色	有	やや良	少		

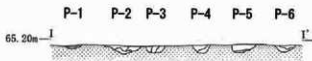
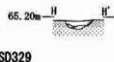
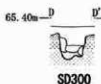
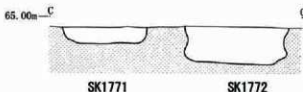
SD13

色調	粘性	しまり	0-4粒径	0.075	その他
1 暗褐色	有	やや良	少		
2 暗黄褐色	有	やや良	少		田畑
3 黒褐色	無	無	多		
4 黒色	有	やや良	多		
5 黒褐色	有	やや良	多		
6 暗黄褐色	有	やや良	多		
7 暗黄褐色	無	やや良	多		
8 黄褐色	無	やや良	多		
9 暗黄褐色	有	やや良	多		
10 暗黄褐色	有	やや良			0-2.7 0.075多
11 黄褐色	有	やや良	少		0-2.7 0.075多
12 暗褐色	無	無	多		

SD12

色調	粘性	しまり	0-4粒径	0.075	その他
a 黄褐色	有	やや良	少		0-2.7 0.075多
b 黄褐色	有	やや良			0-2.7 0.075多
c 暗黄褐色	有	無	多		0-2.7 0.075多
d 黒褐色	有	無			少
e 黒褐色	有	やや良			0-2.7 0.075少
f 暗褐色	有	やや良	少		田畑
g 黄褐色	有	良	多		田畑
h 黒色	有	良	少		
i 棕色	有	やや良	少		
j 暗褐色	有	無	少		少
k 暗褐色	有	やや良	少		

第317次調査



第438次調査





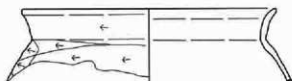
1 49-PH01 SI140



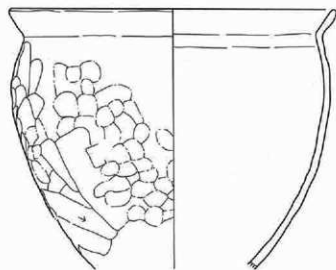
2 49-PH02 SI140



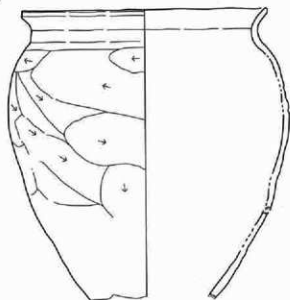
3 213-PH01 SI330



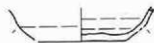
4 213-PH02 SI335



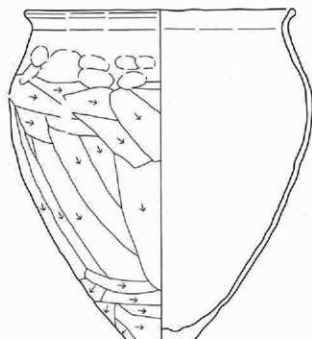
5 213-PH03 SI330



6 213-PH04 SI335



7 414-PH01 SK1546



8 303-PH01 SI396

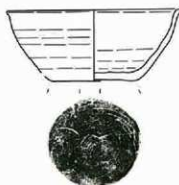




1 19-PK01 SD27



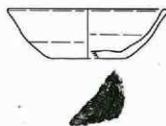
2 19-PK02 SK131



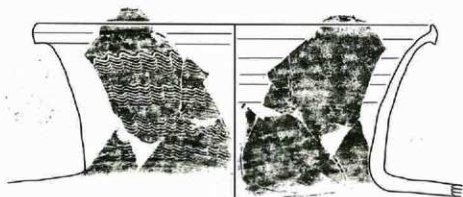
3 49-PK01 SI140



4 49-PK02 SI140



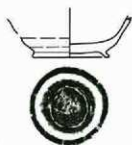
5 49-PK03 SI140



6 49-PK04



7 49-PK05



8 182-PK01 SI313



9 182-PK02 SI313

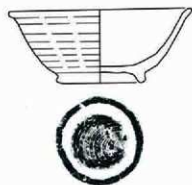


10 182-PK03 SD178



11 182-PK04 SD178

図面 27 須恵器 (2)



1 213-PK01 SI330



2 213-PK02 SI335



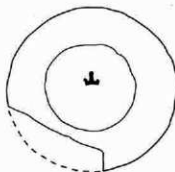
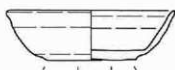
3 213-PK03 SK840



4 213-PK04 SK840



5 213-PK05 SK840



7 213-PK07 SK840



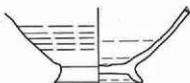
8 213-PK08 SK840



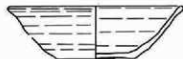
6 213-PK06 SK840



9 278-PK02 SI375



10 278-PK03 SI375



11 281-PK01 SD23

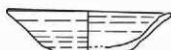
図面 28 須恵器 (3)



1 281-PK02 SD23



4 303-PK01 SI396



2 281-PK03 SD23



5 303-PK02 SI396



3 281-PK04 SD23



6 303-PK03



7 414-PK01 SD26



8 414-PK02 SD26



11 414-PK05 SD26



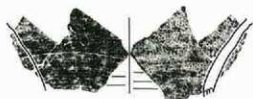
9 414-PK03 SD26



10 414-PK04 SD26



12 414-PK06 SD26



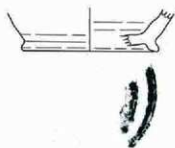
13 438-PK01 SF10 P-4



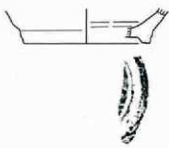
14 438-PK02 SF10 P-5



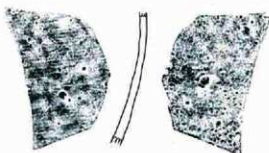
15 438-PK03 SF10 P-5



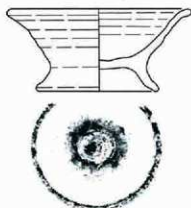
1 438-PK04 SF10 P-5



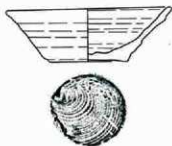
2 438-PK05 SF10 P-5



3 438-PK06



4 213-PL01 SI330



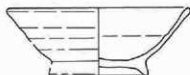
5 213-PL02 SI330



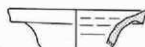
6 265-PL03



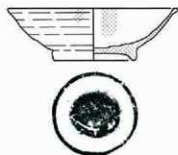
7 414-PL01 SD26



8 414-PL02



9 210-PN01 SD46



10 213-PN01 SI330



11 263-PN02



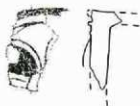
12 390-PN01 SD34



13 213-PP01



14 303-PP01 SI391



1 19-KA01 SD27



2 19-KA04



3 117-KA01



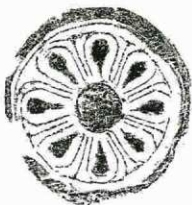
4 213-KA01 SI335



5 263-KA01



6 263-KA03



7 281-KA01 SD23



8 281-KA02 SD72



1 278-KA01 SD188



2 281-KA03 SD72



3 281-KA04 SD72



4 281-KA06



5 281-KA05



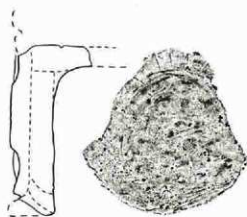
6 281-KA08



7 281-KA07



8 303-KA01 SI391



1 303-KA02 SD23



2 303-KA03 SD23



3 303-KA04 SD23



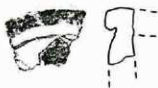
4 303-KA05 SD23



5 303-KA06



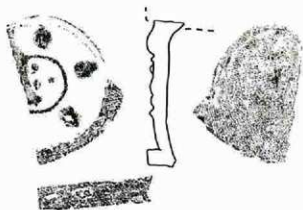
6 303-KA10



7 303-KA11



8 303-KA12



9 303-KA13



10 303-KA15



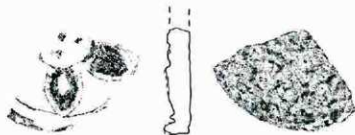
1 303-KA16



2 303-KA17



3 303-KA19



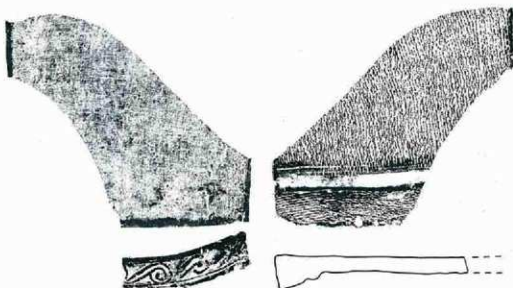
4 414-KA01 SK1546



5 19-KB01 SD27



6 19-KB03 SX1

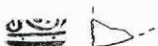


7 19-KB02 SK130





1 19-KB04



2 19-KB06



3 213-KB01 SI330



4 213-KB02 SI335



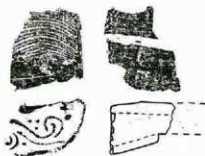
5 281-KB01



6 263-KB01



7 303-KB01 SI392



8 303-KB02 SI396



9 303-KB03 SD23



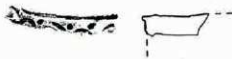
10 303-KB04 SD23



1 303-KB06 SX58



2 303-KB06



3 303-KB07



4 303-KB08



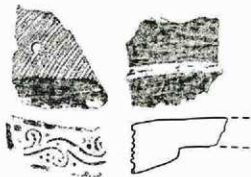
5 303-KB09



6 303-KB10



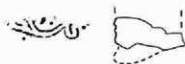
7 303-KB11



1 303-KB12



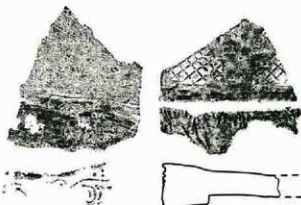
2 303-KB13



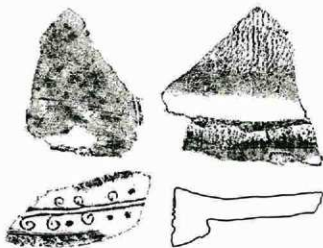
3 303-KB14



4 303-KB15



5 303-KB16



6 303-KB17



7 303-KB18



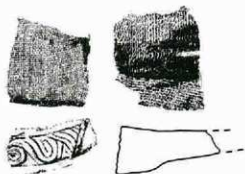
8 303-KB19



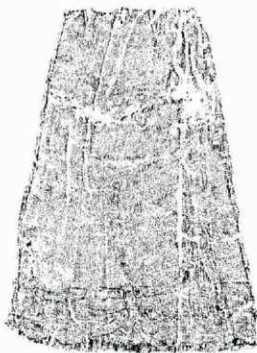
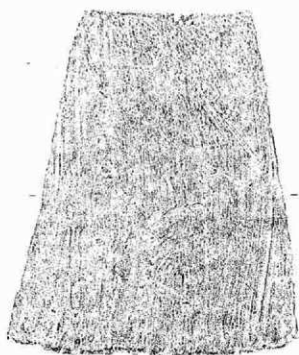
9 303-KB20



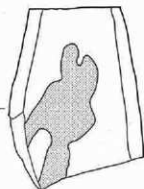
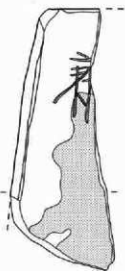
11 374-KB01



10 317-KB01 SD12



1 19-KC10 SD27



3 414-KC01 S



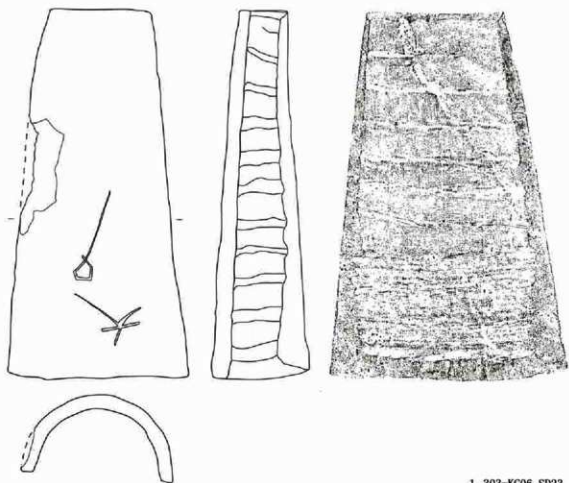
2 19-KC15 SK130



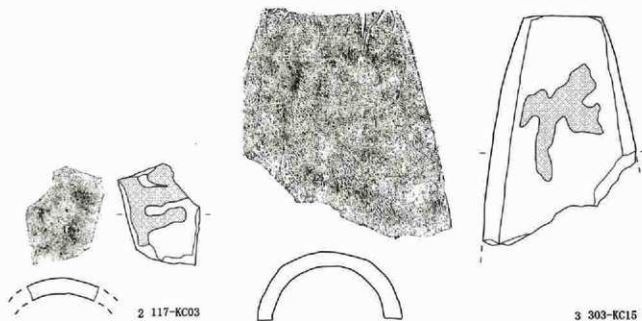
4 303-KC50



图面 38 男瓦 (2)



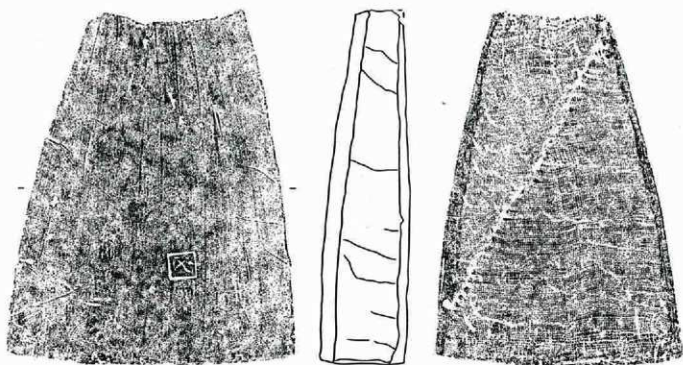
1 303-KC06 SD23



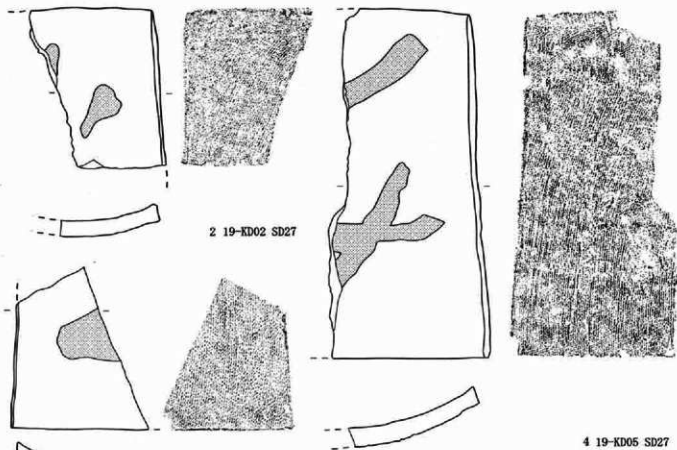
2 117-KC03

3 303-KC15

図面 39 男瓦 (3)、女瓦 (1)



1 303-KC12 SK1128

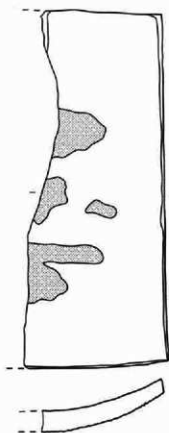


2 19-KD02 SD27

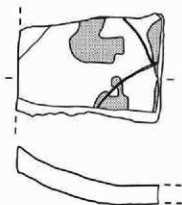
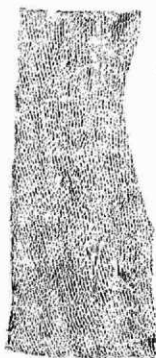
3 19-KD24 SK130

4 19-KD05 SD27

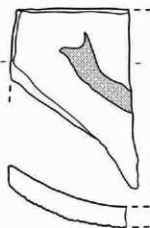
圖面 40 女瓦 (2)



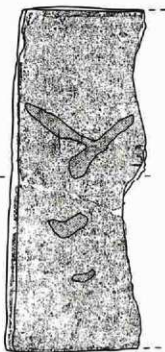
1 19-KD10 SD27



2 19-KD25

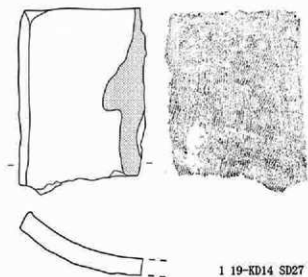


3 19-KD44

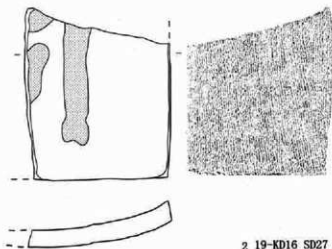


4 19-KD11 SD27

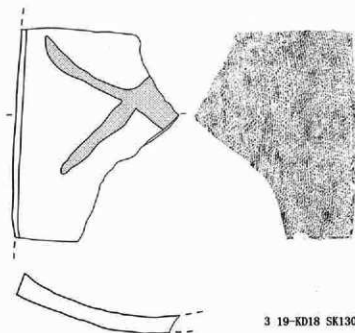




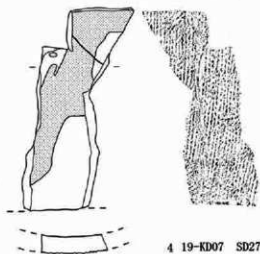
1 19-KD14 SD27



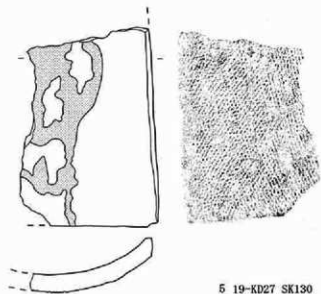
2 19-KD16 SD27



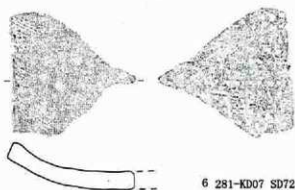
3 19-KD18 SK130



4 19-KD07 SD27



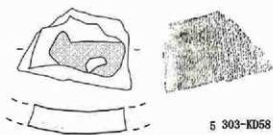
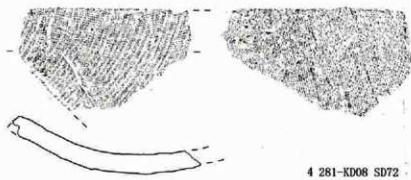
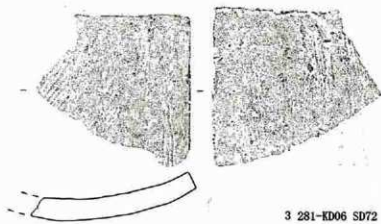
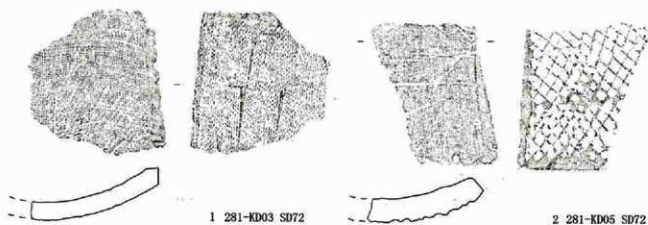
5 19-KD27 SK130



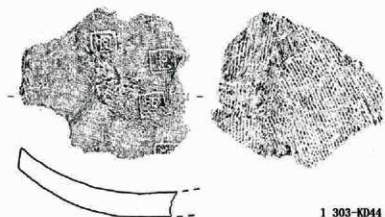
6 281-KD07 SD22



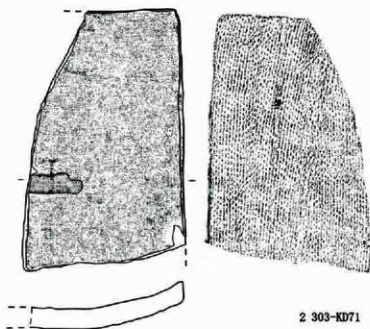
图面 42 女瓦 (4)



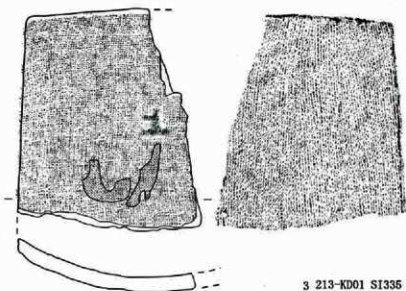
圖面 43 女瓦 (5)



1 303-KD44

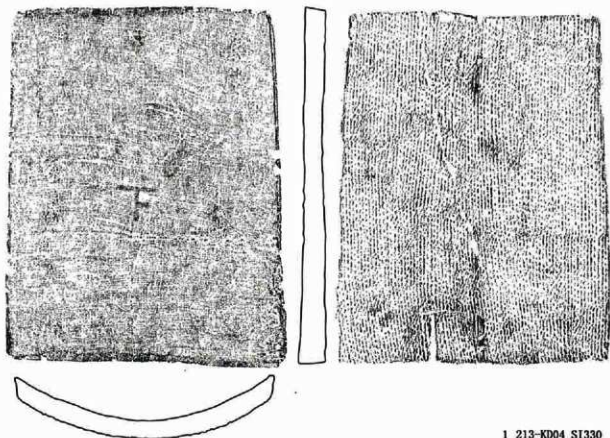


2 303-KD71

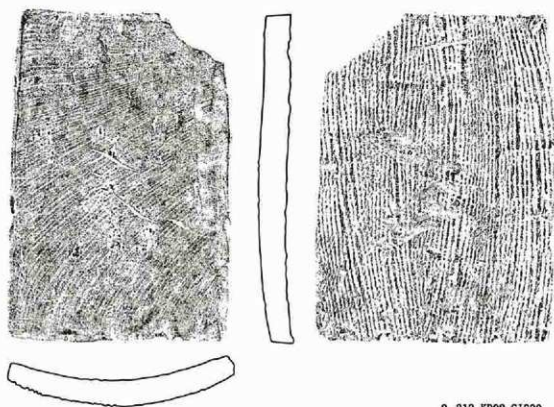


3 213-KD01 SI335

図面 44 女瓦 (6)

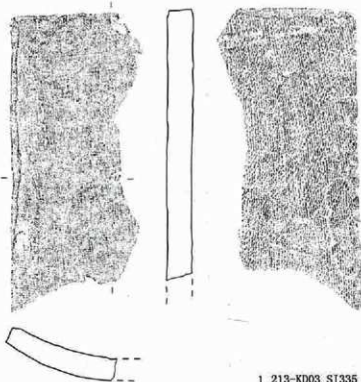


1 213-KD04 SI330

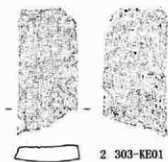


2 213-KD02 SI330

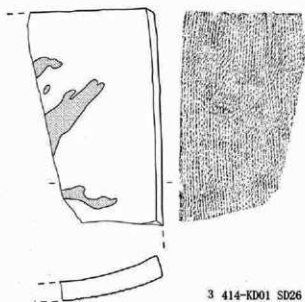
図面 45 女瓦 (7)、甃斗瓦、鬼瓦



1 213-KD03 SI335



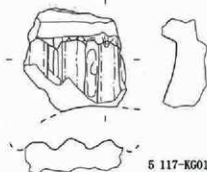
2 303-KE01



3 414-KD01 SD26



4 278-KE01 SD188



5 117-KG01



1 19-KC01 SB38



2 19-KC17 SK131



3 19-KC21 SK131



4 19-KC36



5 19-KC38



6 19-KC40



7 19-KC41



8 19-KD06 SD27



9 19-KD03 SD27



10 19-KD08 SD27



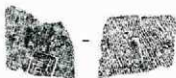
11 19-KD04 SD27



12 19-KD26 SD130



1 19-KD17 SK130



2 19-KD28 SK130



3 19-KD31 SK131



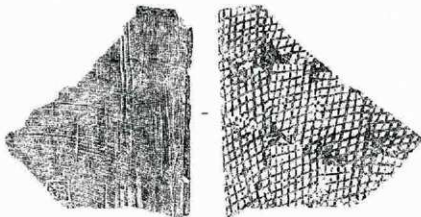
4 19-KD33 SK1



5 19-KD34 SK1



6 19-KD41



7 19-KD09 SD27



8 19-KD40



9 117-KD01 SK574



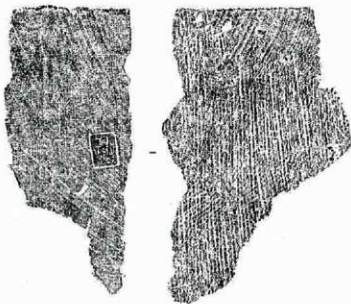
10 117-KC01



11 278-KC01



12 117-KC05



13 117-KD02





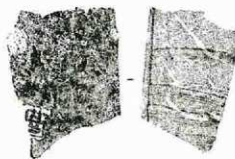
1 117-KD03



2 303-KC02 SI391



3 303-KC03 SI392



4 303-KC04 SD23



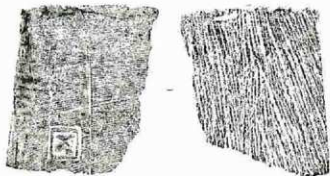
5 303-KC06 SD23



6 303-KC09 SD23



7 303-KC10 SD23



8 303-KD04 SI392



9 303-KC16



10 303-KC35



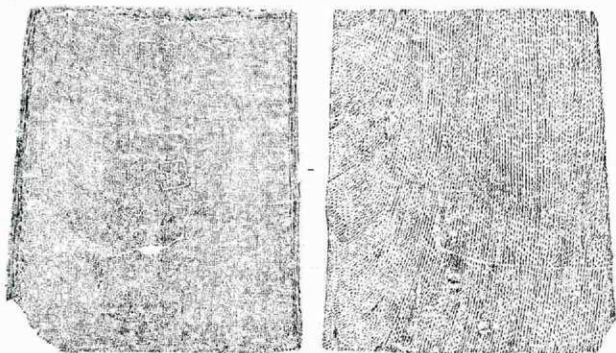
11 303-KD15 SX58



12 303-KD16



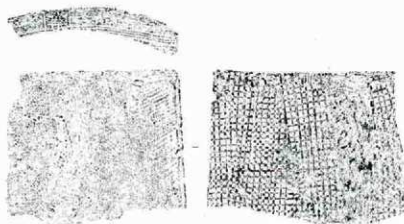
13 303-KD43



1 303-KD06 SD23



2 303-KD07 SD23



3 303-KD11 SD23



4 303-KD30



5 303-KD31





1 303-KD34



2 303-KD49 (S=1/2)



3 303-KD56



4 303-KD38



5 303-KD91



7 303-KD50



6 374-KC01



8 19-KD45



9 263-KD05



10 281-KD09



11 303-KC23



12 303-KD21



13 303-KD39



14 303-KD52



15 303-KD55



16 49-KD02 S1140



1 303-KD72



2 303-KD80



3 303-KD93 (S=1/2)



4 427-KD01 SF1



5 19-KC18 SK131



6 19-KC19 SK131



7 19-KC20 SK131



8 19-KC22 SK131



9 19-KC34



10 19-KC23 SK131



11 19-KD90 SK130



12 117-KC04



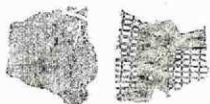
13 19-KD38



14 117-KC02



15 117-KD05



1 263-KD06



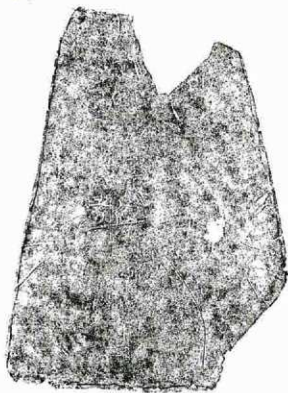
3 303-KC07 SD23



4 303-KC08 SD23



2 281-KH01



5 303-KC11 SX58



6 303-KC13



7 303-KC18



8 303-KC19



9 303-KC22



10 303-KC30



11 303-KC27



1 303-KC14



4 303-KC54



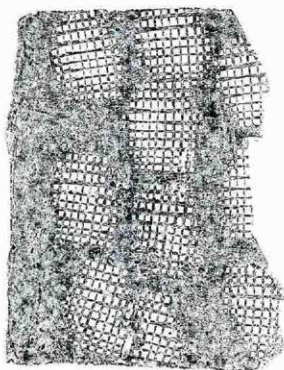
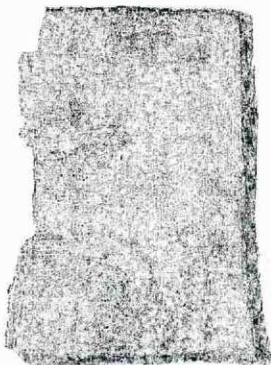
2 303-KC51



3 303-KC29



5 303-KD08 SD23



6 303-KD05 SD23



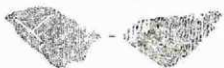
7 303-KD14 SD23



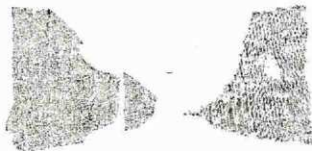
8 303-KD17



1 303-KD13 SD23



2 303-KD32



3 303-KD42



4 303-KD26



5 303-KD45



6 303-KD63



7 303-KD75



8 303-KD94 SI392(S=1/2)



9 414-KD02 SD26



10 19-KD19 SK130



11 19-KD39



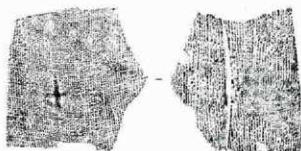
1 49-KD01 SI133



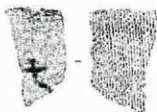
2 263-KD04



3 303-KD74



4 303-KD36



5 303-KD60



6 303-KD37



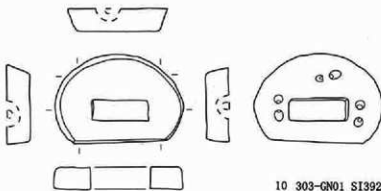
7 303-KD53



8 303-KD51



9 303-KD65



10 303-GN01 SI392

# 圖 版







1. 第19次調査区 東半全景(南から)



2. 第19次調査区 西半全景(東から)



3. 第414次調査区 全景(北から)



4. 第117次調査区 SB38 礎石建物北妻掘え方列(西から)



5. 第19次調査区 SB38 礎石建物掘え方2-2平面(南から)



6. 第19次調査区 SB38 礎石建物掘え方5-3 土層断面(東から)



7. 第19次調査区 SA2 掘立柱礎プラン全景(北から)



1. 第117次調査区 SA2 掘立柱塼柱穴平面(北から)



2. 第19次調査区 SA2 掘立柱塼柱穴アタリ(南から)



3. 第19次調査区 SA2 掘立柱塼・SX1 硬質面土層断面(北から)



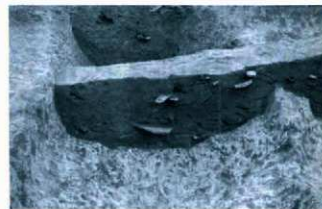
4. 第414次調査区 SD26 溝土層断面(南から)



5. 第19次調査区 SD27 溝土層断面(南から)



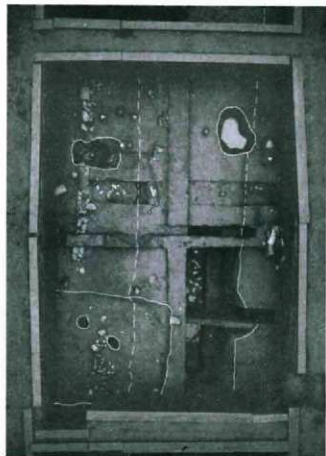
6. 第19次調査区 SK130 土坑遺物出土状況(東から)



7. 第19次調査区 SK131 土坑土層断面(北から)



8. 第19次調査区 SK131 土坑遺物出土状況(東から)



1. 調査区全景



2. SI391 住居全景 (東から)



3. SI392 住居遺物出土状況 (北から)



3. SD23 溝土層断面 (北から)



4. SX57 瓦列プラン全景 (南から)



5. SX57 瓦列接写 (東から)



6. SX58 瓦列遺物出土状況 (東から)



1. 第281次調査区 SD72 溝土層断面(北から)



2. 第281次調査区 SD72 溝遺物出土状況(東から)



3. 第281次調査区 SD23 溝土層断面(東から)



4. 第281次調査区 SD23 溝・SD72 溝交点土層断面(北から)



5. 第512次調査区 SD42 溝土層断面(西から)



6. 第346次調査区 全景(北から)



7. 第346次調査区  
SD34 溝・SX5 通路状遺構土層断面(西から)



8. 第346次調査区 SD34 溝土層断面(西から)



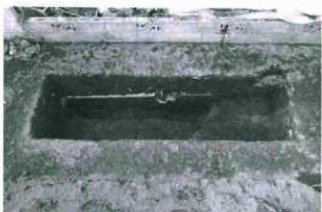
1. 第346次調査区 SD34 溝遺物出土状況(西から)



2. 第187次調査区 SD180 溝全景(東から)



3. 第187次調査区 SD180 溝土層断面(東から)



4. 第552次調査区 A トレンチ全景(南から)



5. 第552次調査区 B トレンチ全景(南から)



6. 第427次調査区 全景(東から)



7. 第427次調査区 SD202 溝硬質面プラン(北から)





1. 第 427 次調査区 SD202 溝土層断面 (南から)



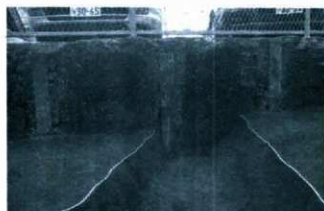
2. 第 427 次調査区 SD201 溝土層断面 (南から)



3. 第 263 次調査区 SD201 溝・SD202 溝全景 (東から)



4. 第 263 次調査区 SD202 溝土層断面 (南から)



5. 第 263 次調査区 SD201 溝土層断面 (南から)



6. 第 217 次調査区 SD188 溝土層断面 (北から)



7. 第 217 次調査区 SD188 溝・SD189 溝全景 (東から)



1. 第217次調査区 SD189 溝土層断面(北から)



2. 第278次調査区 SI375 住居構築時全景(北から)



3. 第278次調査区 SD188 溝全景(南から)



4. 第278次調査区 SD201 溝全景(北から)



5. 第182次調査区 SI313 住居全景(東から)



6. 第182次調査区 SD178 溝全景(北から)



7. 第182次調査区 SD178 溝全景(南から)



8. 第213次調査区 SI330A 住居カマド土層断面(西から)



1. 第 213 次調査区 SD187 溝硬質面プラン (南から)



2. 第 213 次調査区 SK840 土坑土層断面 (北から)



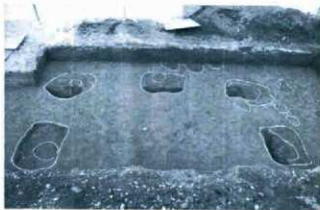
3. 第 210 次調査区 A トレンチ SD46 溝・SK818 土坑全景 (南から)



4. 第 210 次調査区 B トレンチ SD46 溝全景 (南から)



5. 第 210 次調査区 SK818 土坑土層断面 (西から)



6. 第 321 次調査区 SB108 掘立柱建物プラン (南から)



7. 第 321 次調査区 SB108 掘立柱建物全景 (北から)





1. 第321次調査区  
SB109・110 掘立柱建物、SI402Jプラン（東から）



2. 第49次調査区 SI140 住居全景（北から）



3. 第49次調査区 SX8 地業遺構南北土層断面南半（西から）



4. 第49次調査区 SX8 地業遺構南北土層断面北半（西から）



5. 第49次調査区 SD51 溝全景（南から）



6. 第317次調査区 SF1 道路・SD12 溝交点プラン（北から）



7. 第317次調査区 SF1 道路・SD12 溝交点土層断面（東から）



8. 第317次調査区 SD12 溝土層断面（西から）



1. 第 317 次調査区 SD13 溝土層断面 (西から)



2. 第 438 次調査区 SF10 道路全景 (南から)



3. 第 438 次調査区 SF10 道路接写 (北西から)



4. 第 438 次調査区  
SF10 道路内小穴遺物出土状況 (西から)



5. 第 438 次調査区  
SF1 道路・SK1771～SK1773 土坑全景 (北から)



1  
49-PH01



2  
49-PH02



3  
213-PH01



4  
213-PH02



5  
414-PH01



6  
19-PK01



7  
19-PK02



8  
49-PK01



9  
49-PK04



10  
49-PK02



11  
49-PK03



12  
49-PK05



13  
182-PK01



14  
182-PK02



15  
182-PK03



1  
182-PK04



2  
213-PK01



3  
213-PK02



4  
213-PK03



5  
213-PK04



6  
213-PK05



7  
213-PK06



8  
213-PK07



9  
213-PK08



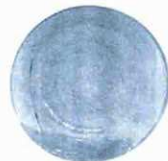
10  
278-PK02



11  
278-PK03



12  
281-PK01





1  
281-PK02



2  
281-PK03



3  
281-PH04



4  
414-PK01



5  
414-PK02



6  
414-PK03



7  
414-PK04



8  
414-PK05



9  
414-PK06



10  
438-PK01



11  
438-PK02



12  
438-PK04



13  
438-PK05



14  
213-PL01



15  
213-PL02



16  
265-PL03



1  
414-PL01



2  
414-PL02



3  
210-PN01



4  
213-PN01



5  
263-PN02



6  
390-PN01



7  
303-PP01



8  
303-PK01



9  
303-PK02



10  
303-PK03



1  
19-KA04



2  
117-KA01



3  
213-KA01



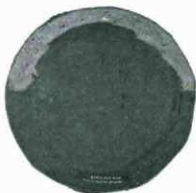
4  
281-KA04



5  
281-KA01



6  
281-KA02



7  
281-KA03



8  
281-KA05



9  
281-KA06



1  
303-KA02



2  
303-KA06



3  
303-KA13



4  
303-KA15



5  
414-KA01



6  
303-KB05





1  
19-KB01



2  
19-KB02



3  
213-KB01



5  
281-KB01



4  
303-KB02



6  
303-KB03



7  
303-KB06



8  
303-KB09



9  
303-KB13



10  
303-KB17



11  
303-KB18



12  
281-KD05



13  
117-KG01



1 棟 303-KC09



2 棟 303-KC10



3 棟 303-KD15



4 棟 303-KD34



5 中 19-KC17



6 中 303-KC35



7 中 303-KD30



8 那 19-KC38



9 那 303-KD11



10 埜 19-KD28



11 埜 303-KC05



12 埜 303-KD44



13 前 303-KD07



14 父瓦 303-KC03



15 父 303-KC12



16 父 303-KD04



17 在 19-KD04



18 在 19-KD40



19 在 303-KD91



20 壘 303-KD03

圖版 19 押印瓦 (2)



1 豊 303-KC04



2 豊 374-KC01



3 男 117-KC05



4 男 303-KD43



5 播瓦 117-KD02



6 播 19-KD41



7 児玉 19-KD33



8 児玉 278-KC01



9 都 19-KD09



10 全 19-KC21



11 入瓦 117-KD03



12 高 303-KD38



13 多 303-KD50



14 加瓦 303-KD50



15 嶋 19-KD17



1 父 303-KD52



2 父 49-KD02



3 父 19-KD42



4 荏 303-KD80



5 荏 303-KD39



6 大井 303-KD21



7 都 263-KD05



8 入瓦 303-KD55



9 粘 303-KD93



1 父美 213-KD02



2 在 19-KC19



3 都 303-KC11



4 本 19-KD30



5 棟 303-KD05



1 刀良 303-KD42



2 高 303-KD13



3 多上 117-KD05



4 多下 303-KD14



5  
303-GN01

報告書抄録

ふりがな	むさしこくぶんじあとほくつちょうさがいほう							
書名	武蔵国分寺跡発掘調査概報34							
副書名	東僧坊・僧尼寺区西溝・東山道武蔵路の調査							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	国分寺市遺跡調査団（団長 坂詰秀一） 小野本 敬							
編集機関	国分寺市遺跡調査会							
所在地	〒185-8501 東京都国分寺市戸倉1丁目6-1 国分寺市教育委員会内 TEL042-325-0111							
発行年月日	2009年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″			
武蔵国分寺跡	東京都	13-214	10-19	35°	139°	昭和51年	2007. 35㎡	寺域確認・ 個人宅造等 に伴う調査
	国分寺市			41′	28′	8月9日		
	西元町			6″	1″	～		
	東元町			～	～	平成14年		
				35°	139°	7月17日		
	41′	29′						
	48″	3″						
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
武蔵国分寺跡	寺院跡 集落跡 道路跡	奈良・ 平安時代	礎石建物 掘立柱建物 竪穴住居 掘立柱榭 築地塀 道路 溝(道路側溝含む) 土坑		土師器・須恵器 土師質土器・灰軸陶器 緑軸陶器・瓦 埴・石製品		東僧坊 僧尼寺区画施設 東山道武蔵路 等を検出	

武蔵国分寺跡発掘調査概報 34

(東僧坊・僧尼寺区画溝・東山道武蔵路の調査)

---

発行日	平成 21 年 3 月 31 日
編著者	国分寺市遺跡調査団 © (団長 坂詰 秀一)
発行所	国分寺市遺跡調査会 国分寺市教育委員会 〒185-8501 国分寺市戸倉 1-6-1 TEL 042-325-0111 (代表)
印刷所	

---

令和 4 年 (2022) 3 月 10 日 デジタル版作成